

ISSN 1344-7920

名古屋大学医学部保健学科

教 育 ・ 研 究 年 報

第 3 卷



*Annual Report
of
Nagoya University School of Health Sciences*

2000

名古屋大学医学部保健学科教育・研究年報第3巻の刊行によせて

名古屋大学医学部保健学科長
伊藤 隆之

名古屋大学医学部保健学科は平成9年10月に創設され、平成10年4月より第一期生200名を受け入れ現在3学年まで進行している。また本年度より3年次編入生30名の受け入れも開始した。明年4月には全学年が揃い学生860名、教官97名の保健学科が完成する。さらに平成14年度には大学院修士課程、平成16年度には大学院博士課程の設置を予定しており、現在全教官・職員で修士課程の申請に取り組んでいる。同時に建物の整備が切望され名古屋大学の重点課題として文部省へ要請中であり、順次改修されるであろう。

さて、年報第3巻では平成11年(1999年1～12月)の1年間の教育・研究の歩みがまとめられている。看護学、放射線技術科学、検査技術科学、理学療法学、作業療法学の5専攻での専攻毎の運営、教育活動、研究活動、対外的な活動など創設2年目の歩みをみることができる。教育面では、保健学科教官は全員強い熱意を持って授業、実習に取り組み、同時に人間関係の構築にも配慮しているので、平成14年3月には医学的専門的知識・技術とともに豊かな人間性と的確な判断力を有する第一期の卒業生を世に送り出せることと信じている。研究面では、保健学科の教官はその出身母体を異にし医師、看護婦(士)、保健婦(士)助産婦、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、薬剤師等の専門職を有する方が多く、卒業の学部も多岐にわたり多能、多彩な才能を有した医療人、職能人より構成されている。その研究内容もそれぞれの背景分野を反映し広範囲におよんでいる。この特性を長所とし共同研究を進め、良い意味での競い合いにより新たな研究を創造すること、このことにより一歩ずつ医学、医療の分野で名古屋大学医学部保健学科の業績として後世の方々より評価を受けるような堅実な足跡を残せることを祈念する。なお、本年7月には大学評価・学位授与機構による大学評価委員会が発足し、項目別評価と総合的評価が行われつつある。そして、本年度は分野別研究評価の対象として、医学系の医学の分野が相当し、各大学、各学部、各学科の教育研究水準の向上が求められている。本誌が名古屋大学医学部保健学科発展の一里塚となれば幸甚です。

目 次

1 . 各専攻の教育・研究活動.....	1
2 . 公開講座.....	13
3 . 業績.....	17
看護学専攻.....	19
放射線技術科学専攻.....	47
検査技術科学専攻.....	61
理学療法学専攻.....	83
作業療法学専攻.....	93

1. 各専攻の教育・研究活動

看護学専攻

1. 専攻の運営

本専攻は基礎看護学、臨床看護学、発達看護学、地域・在宅看護学講座の4大講座によって構成され、教育・研究はそれぞれの必要に応じて協力、連携して行っており、運営上の決定は専攻会議をもって行ってきた。専攻会議は全教官で構成され、月2回を原則として開催し運営してきた。

(1) 人事異動：平成10年4月、基礎看護学講座に任和子講師、江藤真紀助手、発達看護学講座に玉里八重子教授、浅野みどり講師、前嶋七海助手、臨床看護学講座に渡邊あゆみ、北川祐子助手、地域・在宅講座に前川厚子助教授、吉田久美子講師の8名を迎えた。一方、平成11年3月末、鈴木和代助手は愛知医科大学の助教授、奥村太志助手は名古屋市立大学看護学部の講師として転出した。

平成11年4月1日、臨床看護学講座で渡邊憲子助教授が教授に昇格した。

4年制学部教育の2年目である看護学専攻の教官は平成10年度、23名であったが、11年度には教授13、助教授5、講師4、助手7の計29名と一層充実した。

(2) 大学院修士課程準備として、看護学専攻では学部と同様に看護学の学位で申請する方針と、学部の講座にとらわれず、教授の研究テーマの類似性等を勘案して編成することが検討された。また、科目編成としては、共通必須科目6単位、専門科目を24単位(うち、10単位は特別研究)合計30単位とすることなどが検討された。

(3) 教育環境、条件の整備

1) 看護専門委員会：4月(主に短期大学部学生の臨地実習に関連して)と9月(保健学科学生の看護診断学実習の実施に関連して)の2回実施した。医学部保健学科学生に対するはじめての実習であることから、活発な質疑と意見交換が行われ、附属病院での実習をめぐる協力関係を築くために有用な委員会となった。

2) 実習準備：看護学専攻では看護婦のみならず、保健婦の資格教育も同時に行うことになっており、あらたに保健所、保健管理センター等地域・在宅看護の実習地が必要となった。そこで、地域・在宅講座の榊原教授、吉田講師を中心に愛知県内の遠隔地にまでわたる保健所、保健センター等の拠点を訪問し、実習施設として開拓にあたり、学生実習受け入れの見通しがつけられた。

2. 教育活動

(1) 新入生紹介：前期試験受験者46名、後期20名、推薦入試14名の計80名の入学者を迎えた。

(2) 新入生・ガイダンス：基礎看護学講座の教官が中心となって企画し、4月中旬の土曜日を使って愛知県青年公園で行い、屋外炊飯やゲーム等行い交流を深めた。学生からは教官と親しく接することができた、学生同士でも親しくなるきっかけができたなどの意見が聞かれた。

(3) 編入学試験：初めての3年編入学試験は9月に実施され、受験者は100名、10.0倍という高倍率となった。

(4) 講義：平成11年度には学部教育の2年目として、以下のような専門科目が開講された。看護学専攻看護援助論、看護技術学演習、急性期看護論、フィジカルアセスメント、慢性期看護論、生活環境論、病態生理学、公衆衛生学、医療情報学、後期には生涯発達看護論、看護診断学、臨床心理学、コミュニケーション技術論、生体防御学、放射線医学、医療英語、急性期看護論、家族発達看護論、看護診断学実習、地域看護論、環境医学、バイオエシックス論、保健薬理学、医用情報学実習。

(5) 実習：特色ある実習の一つである、看護診断学実習Aは後期に毎木曜日午後、名古屋大学附属病院の17病棟でおこなわれた。これは学生4~6名が1グループとなり患者と接し、フィジカルアセスメントと会話を通して看護問題のアセスメントをする実習である。これと連携させて、月曜日に看護診断の講義時間でまとめを行い、学生の積極的な態度と、臨床指導者、教官の協力も重なり充実した実習となった。

(6) 短期大学部学生：3年生と専攻科学生の卒業と進路：医療技術短期大学部最終学年である看護学科学生3年生80名は全員卒業した。卒業生の進路は名古屋大学医学部附属病院28名(うち助産専攻科学生は1名)、その他の大学病院4名(同2名)、その他の国公立病院22名(同11名)、その他の病院23名(同5名)進学19(同1)名、未定が4名であった(平成12年3月27日現在)。

3. 研究活動：

(1) 専攻科内のセミナー： 昨年度に引き続き教官の研究テーマを紹介する会をもち、専攻会議の前30～60分でプレゼンテーションと質疑からなるセミナーを4月から翌年1月まで開催し、教授、助教授、講師のすべての教官、および鈴木和代助手の博士号取得の研究が紹介された。

(2) 日本看護医療学会の開催： 昨年度から、本専攻と静岡県立大学看護学部、名古屋保健衛生大学衛生学部衛生看護学科等が中心になり、学会設立のための準備を進めていたが、平成11年9月30日、第1回日本看護医療学会が本専攻の石黒彩子教授を学会長として、名古屋市内今池ガスホールで開催された。当日「アレルギー看護からケアシステムの構築へ」と題する会長講演が行われた。その後、「看護の知の創造」と題するシンポジウムが、田中靖代、石原美智子、高橋光宣、水野金一郎先生をシンポジストとして開催された。学会総会では、本学会会則、役員が決定された。その結果、理事長に石黒彩子教授、学会誌編集委員長として渡邊憲子教授が承認された。なお、平成11年12月には日本看護医療学会雑誌の創刊号が出版された。

4. 対外的な活動など

(1) 看護相談外来： 無料の看護相談外来は11年6月から隣接の大幸医療センターで開始した。全国的に看護の教官には独自の実践の場がないことが教育と研究のための問題となっているが、この問題を解決し、同時に地域の人々との連携を持つことを意図したフィールド活動として位置づけている。毎週火曜日の午前中に実施し、3月末までに約40名の来談者があった。内容は、対人関係や精神的な問題（家族関係の悩みや教員の生徒との関係／退職後の不安症状他）慢性疾患のケア相談（糖尿病／高血圧／脳卒中／皮膚トラブル他）乳幼児育児相談（アトピー性皮膚炎、喘息、発育不全等の乳幼児・学童に関するもの）女性健康相談（妊娠中の心身のコントロールや母乳栄養相談、生理不順・更年期女性の健康管理など）在宅介護相談（痴呆や介護家族のケア等）であった。今後、看護学専攻における修士以上の実践教育と研究の場としてまた、保健医療の連携システムの構築などめざし充実させたいと考えており、名古屋市、東区、守山区、千種区の保健所および矢田学区・砂田橋学区に協力を依頼し、情報宣伝活動を行った。

3月10日には地元新聞にも掲載され、他県からの相談者が訪れるなどの成果がみられた。

(2) 全国国立大学助産婦教育専任教官会議の開催： 平成11年6月24（木）・25（金）の両日にわたって、名古屋大学が当番校となり大幸会館大会議室で開催された。北海道大学から長崎大学医療技術短期大学部まで26の医療技術短期大学部の代表者等、計36名の教官が参集し、SCS 利用による交換授業の推進、要望事項などが検討された。また、文部省高等教育局医学教育課、看護教育専門官である正木治恵先生による、「看護学の高等教育化に期待すること」と題する講演も行われ、最近の大学、大学院教育に関する急激な改革に関する基本的な考え方、独立法人等についても質問が出され熱気ある会となった。

(3) その他、看護系四年制大学協議会（東京）愛知県看護教育推進懇話会（名古屋日赤病院）などの関係会議や日本看護協会総会など関係団体での活躍も続けている。

（主任： 水溪雅子）

放射線技術科学専攻

1. 前文

X線CT等の放射線医療機器、磁気共鳴画像診断装置のような物理的方法により画像描画する新しい概念の医療機器が使用されている。これらの医療機器を駆使して高度な医療を行うために応用力のある診療放射線技師、医療機器の研究開発に携わる診療放射線技師、後進への指導者・教育者等の育成を目指している。

2. 運営

本専攻は2つの大講座(教官総数15名)によって構成しているが、活動は講座ごとでなく専攻として行っている。

(1) 基礎放射線技術学講座

医療の対象となる人体の構造・機能、健康障害時の人間の反応、医療と社会との関係、臨床画像の人体構造との対応、放射線等の測定法、医療で使われる機器の原理・構造、医用機器のコンピュータ制御、医用情報の解析方法等、放射線技術を医学・医療に応用する上の基礎となる事項について教育・研究を行う。

(2) 医用放射線技術学講座

放射線の医学・医療への主な応用分野である画像診断(放射線による画像の形成と画像の評価・解析と画像処理技術を含む)、核医学診断及び放射線治療に対応する技術学と放射線の障害を最小限に防ぐ方法について教育・研究を行う。

3. 教育活動

正規のカリキュラムを基礎放射線技術学講座・医用放射線技術学講座で別れることなく専攻全体で分担している。それ以外に教育の効果を高めるために以下のような活動を加えた。

新入生ガイダンス：4月17日

4月に40名の新入学生を迎えた。新入学生は今までの高校とは環境の大きく異なる大学に入学して、色々とまどいもある。診療放射線技師という専門職や専門科目や国家試験などについてガイダンスを行うとともにスポーツを通じて教官と学生との交流をはかった。1・2年の間は全学共通教育のため東山で受講することが多いので専攻の教官との懇談の機会を早期に設定した。

医療技術短期大学部連絡協議会 放射線専門委員会：1月26日、10月5日

学生の臨床実習を有効に実施するため、実習を担当する先生方と実習の計画や実習学生の評価などの実習内容について相談をした。

医療技術短期大学部卒業式：3月28日

診療放射線技術学科として最後の学生42名が卒業し、社会に輩出した。

特別講義

9月1日「MR検査について」 櫻井康雄先生(名大附属病院)

9月3日「X線CT検査について」 早川紀和先生(名大附属病院)

9月6日「最近の放射線治療について」 近藤 悟先生(名大附属病院)

9月7日「ポジトロン核医学の基」 西野正成先生(名大附属病院)

9月9日「眼底写真撮影装置の操作法と実技」 田辺 章先生(トプコンメディカルジャパン)

12月20日「画像評価の基礎」 杜下涼次先生(京都医療技術短期大学助教授)

「コンピュータ支援診断システムの現状と将来」 藤田広志先生(岐阜大学教授)

講義の中で十分に扱うことのできなかつた項目、新しい分野で講義の中にまだ取り込めていない項目などについて、臨床実習の補いも含めて特別講義として実施した。

特別講演

1月22日「放射線医学におけるコンピュータ支援診断の開発」 土井邦雄先生(シカゴ大学教授)

コンピュータの医療への応用の一つに診断の支援があり、その最先端で活躍している方に講演をお願いした。

施設見学

9月13日 島津製作所 三条工場 工場見学

大学内の教育による知識を実際場で確認する施設見学の一つとして、放射線機器製作工場の見学を行った。また島津資料館を訪れ、我が国における医療用 X 線装置の歴史を知る貴重な展示資料を見学した。

教官研修

8月10～12日 中津川研修センター

教育を改善するためのワークショップが行われ、放射線技術科学専攻の約半数の教官が参加した。

4. 研究活動

個々の専攻教官独自の研究活動に加え以下のような専攻以外との共同の研究活動を行っている。

東海画像ゼミ

第5回：7月24、25日

画像の評価、処理などを目的とした放射線画像に関する研究を行っている東海地区の研究者を中心に集まり、互いの研究内容の発表や意見交換を行い、論文化を目指している。

放射線技術科学専攻：小寺、小山

放射線治療技術学

7月24日：名古屋大学医学部附属病院放射線治療棟にて特論実験

全身照射の線量計算のため、リニアックを用いて長 SCD で線量測定を行った。

放射線技術科学専攻：小幡、田伏、津坂、（手塚、都）

放射線計測学

6月24日：高エネルギー物理学研究所で単色 X 線による実験

放射光から得た単色 X 線で蛍光ガラス線量計とフィルムバッジを照射してその特性を製造メーカーと共同で調べた。

放射線技術科学専攻：田宮、田伏、小山、（下郷、吉岡）

7月1日、10月19日：名古屋大学医学部附属病院において X 線 CT スキャナの線量計測実験

管電流可変方式ヘリカル CT の線量特性調査、並びに新開発の多チャンネル PIN フォトダイオードポイント線量計を使って、新型マルチスライス CT スキャナによる胸部 CT 検査時における臓器別被曝線量を計測する実験を、名古屋大学医学部附属病院放射線治療部の協力で行った。

放射線技術科学専攻：小山、伊藤、青山

7月19日、3月8日：名古屋大学医学部附属病院において X 線 CT 透視による患者被曝線量計測実験

X 線 CT を透視条件で使用する場合における患者の被曝線量計測実験を、名古屋大学医学部附属病院放射線治療部と共同で行った。

放射線技術科学専攻：小山、青山（病院放射線部：石口）

2月13日：SPring 8 で単色 X 線による実験

放射光から得た単色 X 線で蛍光ガラス線量計、フィルムバッジ、ルクセルの個人被曝線量測定器を照射してその特性を製造メーカーと共同で調べた。

放射線技術科学専攻：田宮、小山、成田、田伏

（主任：田伏勝義）

検査技術科学専攻

検査技術科学専攻は、高度に専門化した医療に対応できる基礎力と応用力を備え、かつ医療人として不可欠な倫理観に裏付けられた豊かな人間性を備えた臨床検査技師、さらに検査技術科学を学問として追求する教育・研究者を育成することを目的として1997年10月に設置された。

1. 構成・運営

本専攻は2つの大講座によって構成されているが、講座の壁をなくし、専攻が一丸となって運営されている。

(1) 基礎検査学講座：人体から得られる、あらゆる情報を分析・整理・総合して、健康状態や病的状態を把握するために、生体情報発現のしくみ、生体情報修得のためのハードウェアおよび情報処理のソフトウェア、生体情報取得のための管理・運営と制度管理の方法、人体に関する外的病因を環境分析によって認識する方法等、科学的根拠の提供に必要な基礎知識および技術について教育・研究を行う。

(2) 病因・病態検査学講座：生体情報の基礎的理解に基き、病原体および病因を病原体側と宿主反応側から検索する方法、形態変化としての情報を認識する方法、生理機能の変化を情報として記録・認識する方法、体液・分泌物・排泄物等の検体物中の微量物質の変化を主として化学的・物理的に情報化する等、病的状態の把握や病因の解析に必要な知識および技術について教育・研究を行う。

4月には専任教官として病理組織細胞検査学担当の横井豊治教授と血液検査学担当の小嶋哲人助教授を迎え、教官の総数は15名となった。

検査技術科学専攻の空席であった3教授席について教授選考がなされ、村手隆助教授（血液検査学）が平成12年1月に教授に就任した。また、伊藤秀郎助教授（病原微生物検査学）と小嶋哲人助教授（血液検査学）を平成12年度4月から教授に昇格させる人事を決定した。

学年進行に伴い、本専攻に平成12年度から2名の助手の定員増が認められた。現在いる助手の専門分野は臨床生理検査学、臨床化学検査学、血液検査学であり、新たに免疫検査学、微生物検査学、病理検査学の分野に助手を配置することを決定した。今回は、免疫検査学と病理検査学の分野で助手を選考した。

専攻の運営は全教官が参加する専攻会議の決定に従って行なわれた。専攻会議は第2と第4水曜日の12時からおよび第1と第3水曜日の5時30分から開催された。

2. 教育

4月に第2期の入学生40名を迎えた。推薦入学生7名、前期試験入学生23名、後期試験入学生10名である。

4月の新入生ガイダンスには専攻の教官と学生が全員参加し、専攻の教育と学生生活のガイダンスおよび教官と学生の自己紹介が行われた。4月には検査技術科学専攻の2年生が中心になって教官と共に新入生歓迎会を開催し、体育館前でバーベキューパーティを楽しんだ。

学年進行に伴い、2年生の教育として臨床生理検査学Ⅰ、病理組織細胞検査学、血液検査学Ⅰ、臨床化学検査学、病原微生物検査学Ⅰ、免疫検査学Ⅰ、環境衛生検査学などの専門科目の教育を開始した。

全学共通教育の総合科目「生体情報と健康」を放射線技術科学専攻の教官と共同して担当した。

保健学科主催で教官の教育方法の改善のためにファカルティデヴェロップメント講習会が8月に2泊3日間かけて東海地区国立大学共同中津川研修センターで開催され、検査技術科学専攻から9名の教官が参加し、有意義な体験をした。

9月に第1回の3年次編入試験を行ない、5名の合格者を決定した（名古屋大学医療技術短期大学部3名と他大学医療技術短期大学部2名）。

3月には医療技術短期大学部衛生技術学科の最後の卒業生41名を社会に輩出した。卒業生の進路は病院20名、その他の保健・医療機関5名、医療関連企業3名、教育・研究機関4名、進学4名であった。

3. 研究

検査技術科学専攻は本業績集に記載されたように精力的に研究活動を行なった。

旧臨床血液学実習室を改修し、検査技術科学第2研究室としてスタートさせた。

定例の研究発表会を以下のように公開で開催し、研究交流を深めた。

高木健三教授：喘息における炎症性細胞の関与（2月3日）

長瀬文彦教授：リンパ球の生・死と蛋白チロシンのリン酸化シグナル（3月3日）

倉科正徳助教授：慢性甲状腺炎からの腫瘍発生（4月14日）

伊藤秀郎助教授：赤痢菌の乳糖遅分解機構の解明（5月12日）

高木健次助教授：胆汁酸分析と比較生物学（6月23日）

小嶋哲人助教授：ヘパラン硫酸プロテオグリカン Ryudocan の分子生物学（7月28日）

横井豊治教授：病理診断と研究・教育 - 私の場合 - （9月22日）

高木明助手：新しい血液凝固検査法の開発法からアポトーシスまで（10月27日）

北市清幸助手：細菌毒素による薬物体内動態の変化（11月24日）

野田明子助手：睡眠呼吸障害と循環動態（1月26日）

4. 対外的な、または社会と関わりのある活動

(1) 公開講座

平成11年度の保健学科公開講座「生活と環境 - 豊かな生活をめざして - 」を検査技術科学専攻の4人の教官で担当した。

9月11日：くすりと体のしくみ（長谷川高明教授）

生活習慣病としての高血圧（岩瀬三紀助教授）

9月25日：知っておきたいアレルギーの知識（高木健三教授）

環境ホルモンとは何か（柴田英治助教授）

(2) 国際交流

長谷川高明教授は名古屋大学学術振興基金および内藤記念財団外国人研究者招へい助成金により中国の華西医科大学から Wang 教授および Cai 助教授を迎え、多剤耐性癌細胞の克服薬の探索に関する共同研究を行った。平成11年7月、同教授は華西医科大学附属第一病院の国家的プロジェクトである GLP 適合漢方薬安全性研究所の建設に向けての技術提供ならびに華西医科大学の教官を長年指導してきたことに対して、華西医科大学長から名誉教授の称号を与えられた。

(3) 地域の病院との連携

1) 呼吸器病理コンサルテーション

横井豊治教授は専門の呼吸器疾患の病理診断学の知識と経験を生かし、日本病理学会の呼吸器コンサルタントとして、東海地方を中心とする多数の医療施設より病理診断のコンサルテーションを受け入れている。平成11年度は約70例のコンサルテーション症例を検討・報告し、各施設における呼吸器領域の診療・研究に貢献した。また、病理、検査、臨床の諸学会・団体より招かれ、呼吸器疾患の病理診断学の講演を行い、専門知識の啓蒙普及に努めた。

2) 睡眠呼吸障害外来（いびき外来）

古池保雄教授、高木健三教授により平成11年4月より大幸医療センターに睡眠呼吸障害外来（いびき外来）が開設された。これは将来、本学に隣接する大幸医療センターが、本学学生に高度医療技術を修得させるための教育および研究の場として発展することを願って、その活動が開始された。最近、睡眠呼吸障害は生活習慣病の一つと考えられており、本学と大幸医療センターとの協力によるこの外来は、東海地方の拠点の一つになることを目指し、その活動を進めている。

（主任：長瀬文彦）

理学療法学専攻

本専攻は、東海地区では唯一の学士課程を有する理学療法士の教育・研究機関である。平成10年の4月に第1期生20名を迎え、今年度は、第2期生20名を迎えた（推薦入学5名、前期試験入学11名、後期試験入学4名）。

本専攻の前身となった名古屋大学医療技術短期大学部理学療法学科は、昭和59年5月に第1期入学生を迎えたが、本年度の第14期生を卒業させて、その理学療法学科の歴史を終えた。昭和62年の第1期生以来、本学科が世に送り出した総学生数は272名（1期：15名、2期：17名、3期：20名、4期：19名、5期：19名、6期：19名、7期：18名、8期：23名、9期：19名、10期：21名、11期：20名、12期：22名、13期：21名、14期：19名）であった。

1. 運営

本専攻は、高度医療・技術を支える豊かな人間性の形成を基本とし、理学療法に必要な基礎・臨床医学的知識を機能と障害の観点から再編して、体系化し、機能と障害を生体の情報として分析・評価し、その回復や予防への科学的関連付けが可能となるよう教育・研究を行う。これにより新たな理学療法を理論的に構築し、より高度な知識と技術を身に付けた理学療法士の養成を行う。また、最近の運動生理学や運動代謝学の知識を基に、必要性が高まっているスポーツ障害リハビリテーションや生涯スポーツ医科学領域への道を開くとともに、高齢化社会に対応できるよう地域や高齢者に対する理学療法を強化する。さらに、理学療法研究法を重視して、物理療法や運動療法を学問として確立し、指導的役割を果たす教育・研究者の養成を目指す。

本専攻は、基礎理学療法学講座と病態理学療法学講座の2大講座により構成されているが、講座の壁はなく、一つの専攻として運営されている。

四月には講武芳英講師を神戸大学医学部保健学科理学療法学専攻より迎え、教官数は10名となった。

専攻の運営は毎週水曜日の昼食会を兼ねた専攻会議を通して行われている。

2. 教育活動

本専攻の教育課程の特色は、豊かな人間性の形成、生体の構造と機能を関連付けた人体機能の体系的教育の充実、障害に重点を置いた疾患の体系的教育の確立、生体反応と理学療法との理論的関連教育の充実、生涯健康とスポーツへの対応の強化、高齢化社会における地域リハビリテーション教育の充実、及び医療技術の情報化・国際化に対応した行為区の充実、である。

本年度の教育活動での特色は、医療短大時代の良き伝統の発展と、保健学科としての整備である。

4月14日に新入生ガイダンスを行い、医療技術短期大学部3年生、保健学科2年生を含む全学年と教官が参加した。土曜日の1日をかけて、医療技術短期大学部卒業生2名による講演、全員の自己紹介、スポーツレクリエーション、各指導教官との懇談、懇親会を行った。

5月15日(土)、16日(日)に、新入生18名、在校生有志32名、教官5名、職員1名の参加のもとに、中津川国立大学研修センターで厚生補導特別企画が実施された。この企画は、新入生がスムーズに快適で充実した大学生活を送れるようにするための導入部としての研修旅行であり、短期大学部時代から毎年実施してきたものである。今回は、1日目は新任の講武芳英講師の講演、スポーツ活動、懇親会、2日目は日本大正村へのバスハイイクが行われ、教官・学生、先輩・後輩が寝食を共に生活することにより、縦と横の強い人間関係が構築された。

6月の名大祭の第1日目には、作業療法学専攻の学生ともいっしょに、別館付近を会場に、バーベキューパーティーを行って交流を深めた。

7月10日(土)には、医療技術短期大学部最後の学年の卒業研究発表会を本学大講義室で行い、1、2年生も参加した。卒業研究の成果は「理学療法研究方法論報告集」の第8巻として発刊された。

8月のファカルティーディベロップメント研修には専攻教官7名が参加した。

9月に第1回の編入生選抜を行い5名の合格者を決定した。合格者の出身内訳は、名古屋大学医療技術短期大学部の過年度の卒業生2名と今年度卒業予定者3名であった。

9月の定期試験最終週の5日間、医療技術短期大学部に理学療法学科・作業療法学科が発足して以来継続している夏期特別実習（人体解剖実習）を、本年度も両専攻の教員の共同で行った（1年生のみ3日参加）。医学部主催の人体解剖トレーニングセミナー（1999.7.26-7.31）で解剖された遺体10体が提供され、医療技術短期大学部3年生8名、医学部保健学科2年生28名、1年生38名が参加した。うち1年生24名は11月の火葬にも参列した。正規の時間内では十分な時間がとれない人体解剖実習に参加することにより、人体構造への理解を深めた。

10月以降下記のような特別講義を行った。1)「拘縮の病態」沖田実(長崎大学医療技術短期大学部理学療法学科)10月29日。2)「動作筋電図」伊橋光二(東北大学大学院障害科学専攻運動機能再建分野)1月12日。3)「脊柱起立筋と脊髄の解剖」末永義圓(元北海道大学医療技術短期大学部)1月14日。4)「ゲノム研究、組み換え作物、デザイナー・チャイルド 人類の未来は?大量絶滅が来るか?」降旗千恵(青山学院大学理工学部、東京大学医科学研究所)2月2日。5)「リハビリテーション医療における音楽療法の実践」山崎郁子先生(茨城県立医療大学保健医療学部)3月1日。6)「人形劇で免疫学を勉強しよう 科学を学生・市民と共有する試み」徳田信子(山口大学医学部解剖学)3月18日。

新3年生を迎えるために、新しい科目の教育内容を検討した。卒業研究(3年後期、4年後期)については、先発校での卒業研究の調査を元に、下記のような本専攻での方針をまとめた。1)教育目標:それまでの学習内容をもとに、研究の諸過程(テーマの選択、文献調査、研究目的と方法の設定、データの収集と分析、結論の導出、口頭発表、論文作成)を学習体験する。2)達成目標:設定した研究テーマを明らかにするために文献調査やデータ収集などをおこない、口頭発表を行い、卒業論文を作成する。3)研究課題:学生1人1課題(学生1人1論文提出)を原則とする。4)全教官が指導教官となる(指導教官あたり2~5名の学生を担当)。5)単位の認定は全教官の協議による。

3月3日には、保健学科2年生が中心となって卒業祝賀会(追い出しコンパ)が行われ、全学年が参加した。医療技術短期大学部理学療法学科の最後の卒業生である第14期生19名の進路は、病院・医療施設15名、進学4名であった。卒業予定者は3月に理学療法士・作業療法士国家試験を受験し、全員合格した。

保健学科第3期の入学生22名を選抜した(推薦入学生7名、前期試験入学生11名、後期試験入学生4名)。

3. 研究活動

学内外での研究活動に加えて、本キャンパスでの研究室整備とともに、研究体制も具体化し、実験研究が始まった。

本専攻の研究は、以下の4分野を構築していく案がまとまり、すでにその一部では実験がスタートしている。

(1)リハビリテーションに関係した臨床系の研究(リハビリテーション研究室)河村守雄教授、猪田邦雄教授、鈴木重行教授、肥田朋子助手、河上敬介助手——骨・関節・高齢者の脊椎疾患のリハビリテーション、骨形成因子の特性など

(2)コラーゲン、筋線維等の微細構造に関係する研究(微細構造研究室)小林邦彦教授、猪田邦雄教授、河上敬介助手、石田和人助手——コラーゲン分子の超微形態、機械的刺激の培養細胞に対する影響、骨格筋の肉眼解剖学的研究、超音波画像診断装置による筋の評価、Dark neuronの予後、脳出血モデルによる運動療法の効果など

(3)物理療法機器の開発、効果判定等に関する研究(物理療法基礎研究室)木山喬博助教授、辻井洋一郎教授——超音波の皮膚や筋及び骨での反射・吸収・透過、軟部組織の軟化効果、近赤外線による血流上昇効果のメカニズム、トリガーポイントでの自発性筋活動、筋痛と関連痛など

(4)モデル動物を用いた基礎的研究(病態生理研究室)鈴木重行教授、講武芳英講師、河村守雄教授、辻井洋一郎教授、肥田朋子助手、石田和人助手——急性炎症時の一酸化窒素の動向、関節拘縮への他動運動の影響、女性尿失禁に対するバイオフィードバック療法の効果、慢性関節リウマチモデルでの交感神経刺激による血流動態、などである。

4. 対外的な、または社会と関わりのある活動

学生の臨床実習に関わる事柄を打ち合わせる臨床実習連絡協議会(スーパーバイザー会議)を6月26日に開いた。

その他、専攻の代表が本年度出席した学外関係会議は、臨床実習東海地区理学療法士養成施設連絡協議会(会場:専門学校愛知医療学院)全国理学療法士作業療法士学校養成施設連絡協議会(親会、理学及び作業療法部会、会場:鹿児島大学)国立大学理学療法士・作業療法士教育施設協議会(会場:神戸大学)であった。神戸大学で行われた第2回国立大学理学療法士・作業療法士教育施設協議会では、「コ・メディカルのための人体解剖実習条件整備」を昨年に引き続き要望した。

第34回理学療法士・作業療法士国家試験(1999.3.5実施)の問題に対する模範解答と解説の執筆を、理学療法専攻・作業療法専攻の全教官の協同でとりくんだ。担当者による文案のメールでの配信のあと、数回にわたり検討会を行った。「理学療法ジャーナル」「作業療法ジャーナル」誌に6回にわたって掲載された。

(主任:辻井洋一郎)

作業療法学専攻

1. はじめに

本専攻は基礎作業療法学講座と病態作業療法学講座からなっている。基礎作業療法学講座では作業療法の基礎学という視点から、人体機能学、精神機能学、障害分析学・評価学などが行われ、病態作業療法学では、作業療法の実践という視点から、作業療法学理論、作業療法評価学、作業治療学、地域作業療法学などが行われている。

また、本専攻の教官は、背景 discipline としてそれぞれ医学と作業療法学をもつ両分野の教官からなり、それぞれの背景分野を活かした研究活動を通して、共に作業療法学の発展に資することを目的としている。

研究分野は、対象疾患の種類により、身体障害領域、精神障害領域、発達障害領域、老年期障害領域を分けることができるが、包括的に人間を把握するという作業療法学の理念からすれば、必ずしもこうした領域の細分にとらわれる必要はないだろう。領域を越えた総合的な視点からの研究も要請されている。近年、重要視されている地域作業療法学などはそうした性質を持つものであろう。

高齢化社会の進展と共に、地域リハビリテーション活動や老年期障害に対する作業療法に注目が集まっているが、こうした活動には、特に、領域を越えた視点からの提言が必要となるだろう。機能訓練事業やヘルパー養成講座を通して、あるいは介護保険導入に伴って急務となっているケアマネージャーの養成、さらには認定審査委員会への参加などを通して、地域社会へ貢献していくこともわれわれの専攻が担う重要な任務と考えている。

2. 運営

本専攻の運営は、主に、月に二回行われる専攻会議を通して行われ、これを補う形で理学療法学専攻と共同で開く両専攻会議を月に一回持っている。予算委員会、教育委員会、学生生活委員会など学科全体の委員会への参加は、少人数教官（教官総数9名）の専攻であるだけに、講師以上の全教官が何らかの委員として関与する形になっている。また、専攻内で、就職委員、実習委員、卒業研究委員などいくつかの独自の委員を作り、細部にわたる円滑な運営を企図している。

平成11年度の人事上の動きとしては、平成11年4月に、加賀谷一助教授、寶珠山稔講師を、5月に伊藤恵美助手を迎え、大きな人事上の変化から始まった年度であった。平成12年3月には長年当専攻の中心的な教官として活躍されてきた柴田澄江教授が退官された。

建物の点では、保健学科全体の建物の将来構想が様々な困難を抱えて明確な見通しをもてない中、われわれの専攻も大幸医療センター二階部分の利用を開始し、やや離れた二つの棟の有効、かつ有機的な利用法の考案が急務となっている。

3. 教育

平成11年度は医療技術短期大学部最後の学年が卒業する年であった。従って、短期大学部と保健学科の両方が並存する最後の年度となった。

平成11年6月には、新入生ガイダンスを、2、3年生の参加も促して、犬山ユースホステルに一泊して行い、多くの教官の参加のもと、交流を深めることができた。3年生の参加があまり多くなかったが、医療技術短期大学部卒業の諸先輩との連携を密にしていくことは、保健学科学生の将来にとって極めて重要なことと考えられる。卒業生の方々の暖かい支援を期待したい。

平成12年3月には医療技術短期大学部の最後の卒業生23名を社会に送り出した。就職先の分野別の内訳は、身体障害分野15名、精神障害分野4名、発達障害分野1名、保健学科編入2名、その他1名であった。なお、この第14期卒業生の卒業研究の成果は卒業研究論文集第12巻としてまとめられ、平成12年3月に発行された。学生それぞれが自身の問題意識をもとに、研究として立ち上げ、論文の形としてまとめるという、教官からのお仕着せでない研究がほとんどで、そのテーマの多様性ひとつとっても極めて興味深い冊子となっている。

今年で二つのシラバス（短大と保健学科）を見ながら年度を送る生活は終わるわけだが、長年積み上げてきた短期大学部時代のカリキュラムに比べて、保健学科のカリキュラムにはまだ改善の余地がおおいにあると思われる。科目

相互の有機的なつながり、学生の理解のために最善の講義進行順序、無駄の少ない科目設定など、検討しなければならない課題は多いだろう。

4．研究

冒頭で述べたごとく、本専攻は医師と作業療法士の教官により構成されている。その研究分野も基礎研究から応用研究まで極めて広く、また方法においても多様である。そのテーマの一端を示すなら、以下のようなものがある。

- 1) 精神医学的な研究(鈴木ら)
- 2) 分裂病の精神病理学的研究(鈴木ら)
- 3) 精神科リハビリテーション研究会を組織、事務局を当専攻に置いた(柴田、山田ら)
- 4) 大脳機能の生理学的研究(宝珠山)
- 5) 身体機能の生理学的研究(美和)
- 6) ADL, APDL 研究(原、清水)
- 7) 地域作業療法研究(山田ら)
- 8) 老年痴呆の障害分析学的研究(杉村)
- 9) 神経難病のリハビリテーションに関する研究(杉村、美和)
- 10) 老年痴呆の行動評価法に関する研究(杉村)

なお教官同士がお互いの研究内容について一定の理解を得ることを目的に、専攻内の教官による研究会を毎月1回開き、各教官が自身の関心の深いテーマについて発表し、参加者全員がそれについて討論する形の会合とした。

現在のところ、教官同士の研究内容がそれほど有効につながらず、ひとりひとりが独自のテーマを抱える形の研究が多いが、今後はお互いの持てる方法論、興味を有機的に連携させ、共同で進める研究活動も増やしていくようにしたい。学生、院生が自然な形で研究活動に入っていきことのできる環境作りには、そうした活動が不可欠となるだろう。

5．卒後教育

本専攻は、短大卒業生を対象に、卒後2年間にわたり体系化された卒後教育を、これまで実施してきた。本年度もこれを継承し、卒業生の発表を中心とする年6回の研修会を開催した。

卒後教育の場面では、領域ごとにさらに突っ込んだ内容の研修を受けたいとの声もあり、全体をカバーする体系的な卒後教育だけでなく、現在勤務する施設でのニーズに直接合うような研修メニューを用意する必要があるのかもしれない。現代の社会では、生涯学習の機会がどの程度充実しているかによって、その職種への信頼度、職そのものの精神的充実度が大きく左右されると言っても過言ではないだろう。卒業後の長い職業活動の様々な場面で、少しずつでも頼りになる大学であることを目指したい。しかし、そうした活動には、当然ながら、大学だけでは担いきれない側面が多々あるだろう。この点に関しても、卒業生諸氏の様々な協力が大いに期待される場所である。

(主任：鈴木國文)

2 . 公 開 講 座

生活と環境 豊かな生活をめざして

名古屋大学医学部保健学科（前医療技術短期大学部）では、開かれた大学をめざして、昭和56年以来、健康問題や医療問題をテーマとする一般市民向けの公開講座を開催し、その成果をあげてきました。平成11年度名古屋大学医学部保健学科公開講座は、「生活と環境 豊かな生活をめざして」をテーマとして平成11年9月11日・25日（両日土曜日）の2回、名古屋大学医学部保健学科大講義室を会場に開催されました。今年度は、検査技術科学専攻が中心となり企画しました。生活と環境 豊かな生活をめざして をテーマとしましたのは、私たちをとりまく生活環境の変化は、一方でアレルギーによる病気や生活習慣病の増加をもたらし、また、最近では、新たな環境ホルモンという課題が提起されてきたからです。

実施要項

主 催：名古屋大学医学部保健学科

後 援：愛知県、名古屋市、愛知県医師会、名古屋市医師会、名古屋市教育委員会

開 催 日：平成11年9月11日（土）午後2時～4時

9月25日（土）午後2時～4時

開催場所：名古屋大学医学部保健学科大講義室

募集人員：150名

受 講 料：4,500円

修 了 証：3回以上出席の受講者に修了証を授与

講義題目（講義内容）と講師

第1回 9月11日 「くすりと体のしくみ」(長谷川高明教授)

くすりは病気や症状を良くしたり、あるいは不快な作用をおよぼしたりします。くすりは皆さんが日常摂取する栄養素と同じように小腸から吸収され、分解と再生、腎臓で排泄を基本とする複雑なしくみによって驚くべき速さと精密さで処理されます。ここでは、くすりの作用を強めたり、弱めたりする体のしくみについてお話します。

第2回 9月11日 「生活習慣病としての高血圧」(岩瀬三紀助教授)

高血圧は日常最も多い病気です。高血圧は慢性に経過し、血管を中心に、心臓、脳、腎臓などを障害します。最近になり、今までの成人病の代わりに生活習慣病という名前を使い、症状の改善および予防における生活習慣の重要性が注目されています。生活習慣病の代表的な高血圧の予防、改善に役立つ生活習慣についてお話します。

第3回 9月25日 「知っておきたいアレルギーの知識」(高木健三教授)

アレルギーは、異物が体内に入ることによりおきる病的な過程をさし、過敏症とほとんど同じです。体を守るしくみの有害な免疫反応といって良いものです。このアレルギーによる病気が最近増えています。これはヒトをとりまく環境の変化などによるものと考えられていますが、このアレルギーについてお話します。

第4回 9月25日 「環境ホルモンとは何か」(柴田英治助教授)

私たちの目の回りで使われているさまざまな化学物質は便利なものですが、これらの中には環境ホルモンとして、私たちの子孫に影響をおよぼすことが心配されているものがあります。環境ホルモンとは何か、何が問題なのかなどについて考えてみたいと思います。

今回の公開講座では、43名の方が受講されました。受講者の年齢別の内訳は、40歳代の方が多く、20歳代から80歳代の方まで幅広い年齢層におよんでいます。職業別では、会社員、栄養師など医療関係者、さらには、今回は教員など教育関係者の参加を得ることができました。公開講座受講者のアンケートを、1)受講後の感想、2)開設時期、曜日、場所、受講料等気づいた点、3)今後、希望するテーマで集計しています。その結果を簡単に紹介します。

1) 受講後の感想

環境ホルモンはじめ興味深いテーマと内容であるなど好評でしたが、講座の時間を長くてもよいなどの意見がありました。室内が暗くてメモがとれないという指摘は、大講義室の設備不備のためであり改善が望まれます。

2) 開設時期、曜日、場所、受講料等気づいた点

講義時間毎に選択性にして、時間を倍以上にしてほしい、講義の時間が足りないなどの回答が多いのですが、今のままでよいとの回答もありました。受講料がもう少し安くてもいいのではとか、もう少し便利な場所だといった感想は、現在の公開講座の枠組では解決できないものもありますが、保健学科周辺の交通をはじめとした環境整備が整えば、解消されます。

3) 今後、希望するテーマ

骨の老化現象と再生、神経の衰退と損傷部の再生、結核、食生活、生活文化に密着したテーマなど多数いただきました。学部を超えた企画を考えませんかという意見など、専攻科毎に実施している公開講座のあり方に参考とすべき提案もいただきました。

平成11年度名古屋大学医学部保健学科公開講座「生活と環境 豊かな生活を目指して」は、開かれた大学をめざして、健康問題や医療問題をテーマとする一般市民向けの公開講座として、その成果をあげることができました。

(平成11年度公開講座委員会 委員長：高木健三)

3. 業 績

凡 例

業績の収録期間は平成11年（1999）年1月～12月とした。

業績は下記の種別に分類した。

- * 著書
- * 原著論文
- * 総説・解説・その他
- * 科研費・班研究等
- * その他の印刷物等
- * 学会
- * 公開講座・講演会

掲載順位は ①専攻名，②論文種別，③著者のアルファベット順 とした。

看護学専攻

〔著書〕

ANDO Shoko, ONO Yuichiro, TAKEUCHI Yasuhiro, SHIBATA Eiji, ICHIHARA Gaku, KAMIJIMA Michihiro, SHIMAOKA Midori, HIRUTA Shuichi, HATTORI Yoji, HORI Fumiko
Complaints on workload and musculoskeletal symptoms among hospital nurses
HOFMANN Friedrich, MICHAELIS Martina et al. (eds.) : Occupational health care for health care workers ; 3 rd International Congress, Edinburgh 1997 (Progress in social and occupational medicine ; Vol. 2 - 2) Landsberg : Ecomed Verlagsgesellschaft 1999 .pp 126 128

後藤節子

絨毛性疾患・存続絨毛症

『今日の産婦人科治療指針』(武田佳彦, 武谷雄二編集) 医学書院, 1999 . pp 158 159

後藤節子, 岡本知光

各種婦人科腫瘍の画像診断 G. 絨毛性疾患

『婦人科腫瘍の画像診断』(西谷巖編集) 中山出版, 1999 . pp 245 264

後藤節子

母子相関

『新産科学』(友田豊, 寺尾俊彦, 藤本征一郎, 村田雄二編集) 南山堂, 1999 . pp 50 61

後藤節子

子宮内胎児死亡

『新産科学』(友田豊, 寺尾俊彦, 藤本征一郎, 村田雄二編集) 南山堂, 1999 . pp 172 174

後藤節子

胞状奇胎

『新産科学』(友田豊, 寺尾俊彦, 藤本征一郎, 村田雄二編集) 南山堂, 1999 . pp 175 179

後藤節子

第16回婦人科がん化学療法共同研究会総会記録 絨毛性疾患委員会 第2次研究の予後調査結果の解析について

『第16回婦人科婦人科がん化学療法共同研究会総会記録集』(野田起一郎編集) 株式会社トプロ, 1999 . pp 42 43

福岡秀興, 飯田美代子, 石黒彩子

『在宅ケアらくらく介護日記』

合同出版, 1999 . 48p

飯田美代子, 森田せつ子

『10年連用女性健康手帳』

合同出版, 1999 . 71p

村瀬吉郎, 林和徳, 金子鎮二, 空野晋司, 松井英夫, 土岐幸生, 奥村健二, 伊藤隆之

虚血プレコンディショニングによる心組織中の ceramide と 1,2 diacylglycerol の変化について

『心筋の構造と代謝 - 1998 - 』(心筋代謝研究会) 六法出版社, 1999 . pp 281 287

前川厚子

セクシュアルリハビリテーションと看護

『リハビリテーションと看護』改訂第2版(佐々木日出男,津曲裕次監修)中央法規,1999. pp 131-137

前川厚子

『ストーマとともに』改訂第3版

金原出版,1999. 315p

森島恒雄

新生児、乳児における母子感染の診断

『新女性医学体系 10 プライマリケア 女性と感染症』(川名 尚編集)中山書店,1999. pp 286-292

中木高夫

決断科学

『保健医療行動科学事典』(日本保健医療行動科学会監修)

メヂカルフレンド社,1999. pp 91-92

山中克己,豊嶋英明,石原伸哉,宮尾 克,古田真司,近藤高明,榑原久孝(共訳)

『ひとりで学べる CDC 疫学の実践』

日総研出版,1999. 500p

SAKAKIBARA Hisataka, IWASE Satoshi, MANO Tadaaki, WATANABE Takemasa, KOBAYASHI Fumio

Combined effects of noise and hand-arm vibration on skin sympathetic nerve activity in healthy subjects

CUSCHIERI Joseph, GLEGG Stewart, YONG Yan (eds): Proceedings of Inter-noise 99. Washington, DC: Institute of Noise Control Engineering, 1999. pp 929-932

渡邊順子

『すき・すき・スキル ナース若葉のケアナビ99』

学習研究社,1999. 224p

〔原著論文〕

安藤詳子,大下まさえ,高木啓子,久後郁美,梅山里枝,宋宮博子,山口政枝,渡邊憲子

医師を目指した青年の10ヶ月の闘い - 事例に学ぶターミナルケア -

臨床看護 25: 134-139,1999

小野雄一郎,島岡みどり,蛭田秀一,今枝敏彦,安藤詳子,堀 文子,巽あさみ,山田 宏,島 正吾,吉田 勉,

谷脇弘茂,長岡 芳,栗田秀樹

社会福祉施設における労働者の頸肩腕痛および腰痛の有訴率

総合保健体育科学 22: 69-78,1999

蛭田秀一,島岡みどり,小野雄一郎,堀 文子,安藤詳子,山田 宏,巽あさみ,服部洋兒,今枝敏彦

重量挙上作業における生体反応と体力との関係

総合保健体育科学 22 : 63 67 ,1999

安藤詳子, 渡邊あゆみ, 北川裕子, 松村悠子, 柿本美彩子, 深津まり子, 青山裕子
病院のハード環境改善の効果 (病棟施設編) - 患者による新旧病棟環境評価
患者満足 3 : 136 142 ,1999

安藤詳子, 渡邊あゆみ, 北川裕子, 松村悠子, 柿本美彩子, 深津まり子, 青山裕子
病院のハード環境改善の効果 (設備品編) - 患者による新旧病棟環境評価
患者満足 3 : 143 147 ,1999

浅野みどり, 石黒彩子, 三浦清世美
アトピー性皮膚炎に伴う育児困難感と適応感
日本小児看護学会誌 8(2): 6 13 ,1999

浅野みどり, 石黒彩子, 兼松百合子
アトピー性皮膚炎の乳幼児をもつ母親の育児困難感に関する研究
日本看護医療学会雑誌 1 : 9 18 ,1999

小畑直子, 神谷典男, 後藤節子
子宮体癌29例の臨床的検討
産婦人科治療 79 : 218 222 ,1999

吉川史隆, 井籠一彦, 後藤節子
妊娠に関する出血, 胞状奇胎, 絨毛癌
臨床婦人科産科 53 : 1379 1399 ,1999

後藤節子
絨毛性疾患委員会第2次研究の予後調査結果
Oncology & Chemotherapy 15 : 131 134 ,1999

竹内弘子, 飯田美代子, 鈴木和代, 森田せつ子, 石黒彩子, 榊原久孝
妊娠期間における母子健康手帳の利用状況について
愛知母性衛生学会 17 : 25 32 ,1999

石黒彩子, 浅野みどり, 酒井知子
小児看護の専門性を活かす記録の工夫・方法
小児看護 22 : 865 870 ,1999

OSANAI Hiroyuki, TOKI Yukio, NAKASHIMA Yoshihito, OKUMURA Kenji, ITO Takayuki, HAYAKAWA Tetsuo
Reduction of vascular tone by introduction of troglitazone to the canine coronary artery
Arzneimittel-Forschung 49 : 26 29 ,1999

NUMAGUCHI Yasushi, HARADA Mitsunori, OSANAI Hiroyuki, HAYASHI Kazunori, TOKI Yukio, OKUMURA Kenji, ITO Takayuki, HAYAKAWA Tetsuo

Altered gene expression of prostacyclin synthase and prostacyclin receptor in the thoracic aorta of spontaneously hypertensive rats

Cardiovasc Res 41 : 682 688 ,1999

NUMAGUCHI Yasushi, NARUSE Keiji, HARADA Mitsunori, OSANAI Hiroyuki, MOKUNO Shinji, MURASE Kichiro, MATSUI Hideo, TOKI Yukio, ITO Takayuki, OKUMURA Kenji, HAYAKAWA Tetsuo

Prostacyclin synthase gene transfer accelerates reendothelialization and inhibits neointimal formation in rat carotid arteries after balloon injury

Arterioscler Thromb Vasc Biol 19 : 727 733 ,1999

HIBINO Michitaka, OKUMURA Kenji, IWAMA Yoshio, MOKUNO Shinji, OSANAI Hiroyuki, MATSUI Hideo, TOKI Yukio, ITO Takayuki

Oxygen-derived free radical-induced vasoconstriction by thromboxane A2 in aorta of the spontaneously hypertensive rat

J Cardiovasc Pharmacol 33 : 605 610 ,1999

MORISHIMA Itsuro, OKUMURA Kenji, MATSUI Hideo, KANEKO Shinji, NUMAGUCHI Yasushi, KAWAKAMI Kei, MOKUNO Shinji, HAYAKAWA Makoto, TOKI Yukio, ITO Takayuki, HAYAKAWA Tetsuo

Zinc accumulation in adriamycin-induced cardiomyopathy in rats : effects of melatonin, a cardioprotective antioxidant

J Pineal Res 26 : 204 210 ,1999

KAMEKURA Isamu, OKUMURA Kenji, MATSUI Hideo, MURASE Kichiro, MOKUNO Shinji, TOKI Yukio, NAKASHIMA Yoshihito, ITO Takayuki

Mechanisms of hypoxic coronary vasodilatation in isolated perfused rat hearts

J Cardiovasc Pharmacol 33 : 836 842 ,1999

HARADA Mitsunori, TOKI Yukio, NUMAGUCHI Yasushi, OSANAI Hiroyuki, ITO Takayuki, OKUMURA Kenji, HAYAKAWA Tetsuo

Prostacyclin synthase gene transfer inhibits neointimal formation in rat balloon-injured arteries without bleeding complications

Cardiovasc Res 43 : 481 91 ,1999

NODA Toshiyuki, MINATOYUCHI Shinya, FUJII Kenshi, HORI Masatsugu, ITO Takayuki, KANMATSUSE Katsuo, MATSUZAKI Masunori, MIURA Tetsuji, NONOGI Hiroshi, TADA Michihiko, TANAKA Masaru, FUJIWARA Hisayoshi

Evidence for the delayed effect in human ischemic preconditioning : prospective multicenter study for preconditioning in acute myocardial infarction

J Am Coll Cardiol 34 : 1966 74 ,1999

河津芳子, 野村千文, 永谷早奈恵

人間対人間の看護への取り組み

システム看護学研究 2 : 34 40 ,1999

河津芳子, 清水千佳子, 山本智子

患者の思いを理解する

システム看護学研究 2 : 41 44 ,1999

松村悠子, 安藤詳子, 片岡秋子

看護記録の意識化 - 無駄なことと大切なこと

月刊ナースデータ 20 : 10 14 ,1999

上原すゞ子, 神谷 齊, 富樫武弘, 加藤達夫, 白木和夫, **森島恒雄**

わが国の小児インフルエンザ菌髄膜炎の疫学調査成績(1994年) - 細菌性髄膜炎との対比ならびに罹患率 -

日本小児科学会誌 102 : 656 665 ,1998

工藤寿子, 伊藤嘉規, 神谷裕文, 白井清隆, 大須賀民子, 岩瀬勝彦, **森島恒雄**

Glucagon-Insulin 療法が奏功した, インフルエンザウイルス感染症に伴った急性脳炎の1例

小児科臨床 51 : 43 49 ,1998

MORISHIMA Tsuneo, KUZUSHIMA Kiyotaka

A adoptive immune therapy for EB virus-associated lymphoproliferative disorders

Gann Monogr Cancer Res 45 : 175 185 ,1998

KAMIYA Hisashi, UEHARA Suzuko, KATO T, SHIRAKI Kazuo, TOGASHI Takehiro, MORISHIMA Tsuneo, GOTO Y, SATOH O, STANDAERT S.M.

Childhood bacterial meningitis in Japan

Pediatr Infect Dis J 17 : 183 5 ,1998

KIMURA Hiroshi, MORITA Makoto, YABUTA Yumi, KUZUSHIMA Kiyotaka, KATO Kouji, KOJIMA Seiji,

MATSUYAMA Takahiro, MORISHIMA Tsuneo

Quantitative analysis of the Epstein-Barr virus load using a real-time PCR assay

J Clin Microbiol 37 : 132 136 ,1999

ITO Yoshinori, ICHIYAMA Takashi, KIMURA Hiroshi, SHIBATA Motohiro, ISHIWADA N, KUROKI Haruo,

FURUKAWA S, MORISHIMA Tsuneo

Detection of influenza virus RNA by reverse transcription-PCR and proinflammatory cytokines in influenza-virus-associated encephalopathy

J Med Virol 58 : 420 425 ,1999

NISHIMURA Naoko, KIMURA Hiroshi, YABUTA Yumi, TANAKA Naoko, ITO Yoshinori, ISHIKAWA Kaoru,

SUZUKI Chizuko, MORISHIMA Tsuneo

Prevalence of maternal cytomegalovirus (CMV) antibody and detection of CMV DNA in amniotic fluid

Microbiol Immunol 43 : 781 784 ,1999

KUZUSHIMA Kiyotaka, HOSHINO Yo, FUJII K, YOKOYAMA N, FUJITA M, KIYONO T, KIMURA Hiroshi,

MORISHIMA Tsuneo, TSURUMI T

Rapid determination of Epstein-Barr virus specific CD8 + T cell frequencies by flow cytometry

Blood 94 : 3094 3100 ,1999

HOSHINO Yo, MORISHIMA Tsuneo, KIMURA Hiroshi, NISHIKAWA Kazuo, TSURUMI T, KUZUSHIMA Kiyotaka
Antigen-driven expansion and contraction of CD 8 + -activated T cells in primary EBV infection
J Immunol 163 : 5753 5740 ,1999

IRIYAMA Masahiro, KIMURA Hiroshi, NISHIKAWA Kazuo, YOSHIOKA K, WAKITA T, NISHIMURA Naoko,
SHIBATA Motohiro, OZAKI Takao, MORISHIMA Tsuneo
The prevalence of TT virus (TTV) infection and its relationship to hepatitis in children
Med Microbiol Immunol 188 : 83 89 ,1999

OZAKI Takao, MORISHIMA Tsuneo, HIROTA T, SUGIYAMA Kohachiro, ASANO Yoshizo
Pediatric admission for vaccine preventable diseases : a 5-year survey from 1994 to 1998 in Aichi Prefecture
Jpn J Infect Dis 52 : 208 213 ,1999

SHIBATA Motohiro, EZAKI T, HORI M, NAGASHIMA M, MORISHIMA Tsuneo
Isolation of a Kawasaki disease-associated bacterial sequence from peripheral blood leukocytes
Pediatr Int 41 : 467 437 ,1999

KAMEI Satoshi, TAKASU Toshiaki, MORISHIMA Tsuneo, YOSHIHARA T, TETSUKA T
Comparative study between chemiluminescence assay and two different sensitive polymerase chain reactions on the
diagnosis of serial herpes simplex virus encephalitis
J Neurol Neurosurg Psychiatry 67 : 596 601 ,1999

MORISHIMA Tsuneo
Progress in diagnosing herpesvirus infections
Nagoya J Med Sci 62 : 83 97 ,1999

TSUGE Ikuya, MORISHIMA Tsuneo, MORITA Makoto, KIMURA Hiroshi, KUZUSHIMA Kiyotaka,
MATSUOKA Hiroshi
Characterization of Epstein-Barr virus (EBV)-infected natural killer (NK) cell proliferation in patients with severe
mosquito allergy ; establishment of an IL-2-dependent NK-like cell line.
Clin Exp Immunol 115:385 392 ,1999

馬場良子, 早川由香理, 森田せつ子, 加藤芳枝, 鈴木和代, 飯田美代子
看護学生の経口避妊薬(ピル)に対する意識
愛知母性衛生学会 17 : 17 24 ,1999

篠原昌恵, 森田せつ子, 野田みや子
家族の立ち会い出産とその効果的な援助について
愛知母性衛生学会 17 : 33 42 ,1999

堀井美恵子, 森田せつ子, 鈴木和代, 加藤芳枝
分娩第1期におけるいきみへの援助家族の立ち会い出産とその効果的な援助について
愛知母性衛生学会 17 : 56 66 ,1999

中木高夫

看護データ体系 看護情報の標準化

第107回医療情報システム研究会資料集 資料 No.107 012 : 1 13 ,1999

中木高夫

看護用語とその分類における課題

看護研究 32 : 367 375 ,1999

任 和子, 中井義勝, 元村直靖, 柳井 勉

入院患者のストレスとストレス反応に影響を及ぼす要因について

日本保健医療行動科学会年報 14 : 150 166 ,1999

奥村太志

寛解過程における看護のあり方に関する研究 (その1) - 患者さんの状態と看護者の認識のずれについて -
精神科看護 76 : 42 49 ,1999

奥村太志

寛解過程における看護のあり方に関する研究 (その2) - 患者さんの状態と看護者の認識のずれについて -
精神科看護 77 : 41 47 ,1999

奥村太志

寛解過程における看護のあり方に関する研究 - 患者さんの状態と看護者の認識のずれについて -
精神科看護 78 : 41 48 ,1999

TAKAGI Ayumi, ISHIHARA Shin'ya, KONDO Takaaki, SAKAKIBARA Hisataka, TOYOSHIMA Hideaki, KONO Kazuhiko, IGUCHI Akihisa, YOSHIDA Futoshi, MIYAO Masaru

Age effects on pupil dilation among Alzheimer's patients

J Am Geriat Soc 47 : 257 258 ,1999

TAKAGI Ayumi, MIYAO Masaru, ISHIHARA Shin'ya, KONO Kazuhiko, IGUCHI Akihisa, SAKAKIBARA Hisataka, KONDO Takaaki, TOYOSHIMA Hideaki

Sensitive pupil response of early-onset Alzheimer's patients to a dilute mixture of cholinergic antagonist and α -adrenergic stimulant

Environ Health Prev Med 4 : 49 53 ,1999

HIRATA Mamoru, SAKAKIBARA Hisataka, YAMADA Shin'ya, HASHIGUCHI Toshinori, TOIBANA Norikuni, KOSHIYAMA Hiroshi, HIRANO Hirokazu

Medial plantar nerve conduction velocities among patients with vibration syndrome due to chain-saw work

Int Arch Occup Environ Health 72 : 551 554 ,1999

YAMADA Shin'ya, SAKAKIBARA Hisataka

The evaluation of vibration exposure in the operation of chain saws and bush cutters

J Low Freq Noise Vib 18 : 173 182 ,1999

SUZUKI Kazuyo, KOBOYASHI Miya, SHIRAIISHI Yosuke, SUGIURA Yasuo, KOBAYASHI Kunihiko, GOTO Setsuko
Placental histology in twin-twin transfusion syndrome (TTTS) in the mouse
Trophobl Res 13 : 485-491, 1999

玉里八重子

母性看護実習の自己評価にみる実習状況と学習効果について
京都市立看護短期大学紀要 24 : 25-33, 1999

吉田久美子

若年女性の骨量測定と食生活における検討
滋賀県立大学看護短期大学部学術雑誌 3 : 9-14, 1999

〔総説・解説・その他〕

浅野みどり

第25回日本看護研究学会学術集会印象記
日本看護研究学会会報 51 : 4, 1999

飯田美代子

「10年連用女性健康手帳」についての取組
女性教養 599 : 8-9, 1999

石黒彩子

21世紀に向けての船出
日本看護医療学会雑誌 1 : 1, 1999

石黒彩子

アレルギー看護からケアシステムの構築へ
日本看護医療学会雑誌 1 : 27-31, 1999

伊藤隆之

高血圧の予防と上手なつきあい方
健康文化振興財団紀要 23 : 15-20, 1999

前川厚子, 神里みどり, 安藤詳子

がん看護学の伝統と新たな課題を抱いて
月刊ナーシング 19(8) : 60-64, 1999

神里みどり, 前川厚子, 安藤詳子

がん看護における新しい伝統への構築
がん看護 4 : 409-411, 1999

前川厚子

書評：高齢者機能評価ハンドブック
週刊医学界新聞 2339号：5,1999

前川厚子

書評：高齢者機能評価ハンドブック
看護学雑誌 63：249,1999

前川厚子

第39回東海ストーマリハビリテーション研究会
消化器外科ナーシング 4：43,1999

前川厚子

創傷・オストミー・失禁領域の根拠に基づく看護実践
Expert Nurse 15(11)：30-34,1999

前川厚子

ICN100年の確かな歩みを未来へ
月刊ナーシング 19(11)：12-15,1999

森島恒雄

サイトメガロウイルス
ペリネイタルケア 219：32-41,1999

森島恒雄

単純ヘルペスウイルス
小児感染免疫 11：407-410,1999

森島恒雄

慢性活動性 EB ウイルス感染症とその治療
臨床と微生物 26：487-491,1999

森島恒雄

ウイルスの母子感染
現代医学 47：189-195,1999

森島恒雄

ヘルペス感染症治療法の進歩
化学療法の領域 15：19-22,1999

森島恒雄

インフルエンザ脳炎・脳症
化学療法の領域 15：42-46,1999

森島恒雄

新生児ヘルペス

臨床と研究 76 : 29 32 ,1999

森島恒雄

ヘルペス脳炎の髄液診断

Modern Physician 19 : 1371 1374 ,1999

森田せつ子

愛知県周産期医療における母子健康手帳

愛知県衛生部ノート 44(17): 2 3 ,1999

中木高夫

連載「なあ～んだ！ 看護診断って」第1回：「わたしらの時代にはなかった」は禁句にしよう！

月刊ナーシング 19(4): 100 103 ,1999

中木高夫

連載「なあ～んだ！ 看護診断って」第2回：《交換パターン》がNANDA 分類法Ⅰの評判を落としている？

月刊ナーシング 19(6): 96 99 ,1999

中木高夫

連載「なあ～んだ！ 看護診断って」第3回：《身体調節の変調》に関する診断グループ

月刊ナーシング 19(7): 94 97 ,1999

中木高夫

連載「なあ～んだ！ 看護診断って」第4回：《交換パターン》をじっくりと読み解く

月刊ナーシング 19(8): 82 85 ,1999

中木高夫

連載「なあ～んだ！ 看護診断って」第5回：《交換パターン》をじっくりと読み解く（その2）

月刊ナーシング 19(9): 76 79 ,1999

中木高夫

連載「なあ～んだ！ 看護診断って」第6回：《交換パターン》をじっくりと読み解く（その3）

月刊ナーシング 19(10): 74 77 ,1999

中木高夫

連載「なあ～んだ！ 看護診断って」第7回：《交換パターン》をじっくりと読み解く（その4）

月刊ナーシング 19(11): 86 89 ,1999

中木高夫

連載「なあ～んだ！ 看護診断って」第8回：《交換パターン》をじっくりと読み解く（その5）

月刊ナーシング 19(12): 82 85 ,1999

中木高夫

連載「なァ～んだ！ 看護診断って」第9回：《交換パターン》をじっくりと読み解く（その6）
月刊ナーシング 19(13): 88-91, 1999

中木高夫

シリーズ「看護診断への誘い」第3回：メリディーン・マース先生の足跡
月刊ナーシング 19(13): 76-79, 1999

中木高夫，立岩真也，山内豊明

特別編集・鼎談：看護の質の保証と専門性 - 改めて看護の「専門性」を問う
週刊医学界新聞 2336号，1999

中木高夫

看護診断のゲートウェイ(2) - 看護診断分類の持つ意味
週刊医学界新聞 2352号，1999

中木高夫

看護診断へのゲートウェイ(5) - 看護診断とクリティカルパス
週刊医学界新聞 2364号，1999

任 和子

急性骨髄性白血病で入院し含嗽をしていない患者への看護介入
クリニカルスタディ 2(4): 53-60, 1999

任 和子

コミュニケーションの鉄則 Rule 1 コミュニケーションは一方通行禁止
プチナース 8(4): 8-13, 1999

任 和子

コミュニケーションの鉄則 Rule 7 沈黙は禁？じゃなくて金！
プチナース 8(12): 8-13, 1999

任 和子

なぜ？がわかる看護技術 LESSON 書評－チェック方式で自己管理学習ができる
月刊ナーシング 19(12): 65, 1999

〔科研費・班研究等〕

岩井郁子，石田昌宏，香春知永，小谷野康子，佐藤紀子，辻本好子，鳥羽克子，豊増佳子，**中木高夫**，樋口範雄，小林洋子，勝山貴美子，下谷恵美
医療への患者参加を促進する情報公開と従事者教育の基盤整備に関する研究
平成10年度厚生省政策科学推進研究事業研究報告書 pp 43-46, 1999

榊原久孝，豊嶋英明，大坪光次，八坂貴宏，中道親昭，白浜 敏，古川正人
ヘリコバクター・ピロリ感染と肝内結石症
厚生省特定疾患に関する疫学研究班平成10年度研究業績集 pp 155 158 ,1999

榊原久孝，前田節雄，近藤高明，豊嶋英明
末梢神経機能評価における温冷覚閾値測定の変動障害検診での有効性の検討
平成9 10年度科学研究費補助金（基盤研究(C) 2）研究成果報告書 1冊，1999

〔その他の印刷物等〕

安藤詳子

米国における癌看護分野の教育と研究の実態調査
研究助成成果報告集1999（財団法人安田記念医学財団）pp 108 109 ,1999

江藤真紀，兵藤敬一郎，坂下仁志，三重野英子
動画像と注視点の関係の調査研究 - 人間工学及び生活文化の調査研究 -
大分県産業科学技術センター pp 29 32 ,1999

藤井千恵，**榊原久孝**

若年男性の健康状態と生活習慣の関連 - 長野県松川町消防団の健康診断の結果からの報告 -
平成10年度長野県松川町総合健康指導事業報告書 1冊，1999

森田せつ子，岩田 豊，荻野任子，川淵孝一，小林武彦、清水弘子，竹田 学，平塚良子，廣 房子，村上圭子
今後の看護施策のあり方
愛知県衛生部 1冊，1999

森田せつ子，金光英子，長澤いつ子，星野真理子，日紫喜信子、新美恭子，村上圭子，
平成10年度教育評価集
愛知県看護協会 1冊，1999

森田せつ子

愛知県の周産期医療における母子健康手帳の活用実態と今後の問題点 - 平成10年度愛知県周産期医療協議会調査研
究事業報告書
愛知県周産期医療協議会 1冊，1999

永田量子

天祐・天助 - 桜の移植が許されました -
名古屋大学医学部附属看護学校同窓会だより 28号 pp 1 2 ,1999

榊原久孝

長野県松川町の総合検診での高血糖者に対する保健予防活動の効果について
平成10年度日本看護協会地域保健モデル事業報告書 1冊，1999

榊原久孝，藤井千恵

住民健康診断結果からみた健康課題の解析

平成10年度長野県松川町総合健康指導事業報告書 1冊，1999

【学会発表】

堀 文子，**安藤詳子**，巽あさみ

ベッドから車椅子への移動介助に関する実験的検討 - 患者役評価 - (抄録集 p 24 ,1999)

第3回日本看護研究学会東海地方会，1999 .1 (名古屋)

安藤詳子，片岡秋子，渡邊憲子，堀 文子，巽あさみ

職場における腰痛対策 - 腰痛の有無による比較 - (抄録集 p 25 ,1999)

第3回日本看護研究学会東海地方会，1999 .1 (名古屋)

安藤詳子

「がん看護論」の教授内容の構築に関する一考察 (日本がん看護学会誌 13 (臨時増刊号) : 94 ,1999)

第13回日本がん看護学会学術集会，1999 2 (東京)

小野雄一郎，島岡みどり，蛭田秀一，今枝敏彦，**安藤詳子**，堀 文子，巽あさみ，山田 宏，島 正吾，

吉田 勉，谷脇弘茂，長岡 芳，栗田秀樹

保育所調理員の運動器症状に対する自動食器洗浄機導入の効果について (産業衛生学雑誌 41 (臨時増刊号) : 387 ,1999)

第72回日本産業衛生学会，1999 5 (東京)

巽あさみ，小野雄一郎，西谷直子，中西栄里，**安藤詳子**，堀 文子，加藤保夫，大城 一，大谷直子，

加藤幸久，水野やよい

某工場における交替勤務者のストレス - に関する検討 (産業衛生学雑誌 41 (臨時増刊号) : 671 ,1999)

第72回日本産業衛生学会，1999 5 (東京)

堀 文子，**安藤詳子**，巽あさみ

ベッドから車椅子への移動介助に関する実験的検討 - 介助者と患者役の自覚的評価 - (日本看護研究学会誌 22 : 273 ,1999)

第25回日本看護研究学会，1999 .7 (浜松)

安藤詳子，片岡秋子，渡邊憲子，松村悠子，青山裕子

改築による病院環境改善状況の検討(1)- ユーザーの主観的環境評価による新旧病棟比較 - (日本看護研究学会誌 22 : 342 ,1999)

第25回日本看護研究学会，1999 .7 (浜松)

青山裕子，**安藤詳子**，片岡秋子，渡邊憲子，松村悠子

改築による病院環境改善状況の検討(2)- 物理的環境測定による新旧病棟比較 - (日本看護研究学会誌 22 : 343 ,1999)

第25回日本看護研究学会，1999 .7 (浜松)

安藤祥子, 片岡秋子, 渡邊憲子, 岩崎弥生

作業環境が看護スタッフのメンタルヘルスに及ぼす影響 (講演集 pp 520 521,1999)
第19回日本看護科学学会学術集会, 1999 .12 (静岡)

ASANO Midori

A Study of the relationships between the mothers' competence for home care and the difficulties resulting from Child-Rearing. (Abstract. p 113,1999)
2nd Biennial Womens and Childrens' Health Issues ; A Grobal Perspective, 1999 8 (Maui,USA)

浅野みどり, 宮崎輝美

口唇口蓋裂の幼児をもつ母親の困難な体験とその援助 - Pilot study - (抄録集 p 30,1999)
第5回千葉看護学会, 1999 9 (千葉)

浅野みどり, 兼松百合子

アトピー性皮膚炎の乳幼児をもつ母親の看護職サポート活用の経験の認識 (抄録集 p 27,1999)
日本家族看護学会第6回学術集会, 1999 9 (浜松)

三原 香, **江藤真紀**, 柴田 興

ある上肢全廃の在宅 ALS 患者における食行動とそれに伴う価値観の把握 (抄録集 p 126,1999)
第25回日本看護研究学会, 1999 7 (浜松)

藤井千恵, 榊原久孝

若年男性の高尿酸血症について 長野県 M 町消防団の健康診断の結果から (抄録集 pp 45 46,1999)
第45回東海公衆衛生学会, 1999 7 (名古屋)

藤井千恵, 三浦清世美, 石黒彩子

育児自主サークルに対する母親の期待と満足度 - アンケート調査から地域育児支援のあり方を考察する - (日本小児看護学会誌 8 : 66 67,1999)
第9回日本小児看護学会, 1999 7 (静岡)

飯田美代子, 大村いづみ, 杉浦太一, 山本洋子, 森田せつ子, 石黒彩子

療養時の日記利用に関する調査 (抄録集 p 45,1999)
第2回日本地域看護学会学術集会, 1999 6 (山梨県玉穂町)

飯田美代子, 前嶋七海, 後藤節子, 森田せつ子, 玉里八重子, 榊原久孝, 大村いづみ

母親の乳児に対する憎悪感情について (抄録集 p 190,1999)
第40回日本母性衛生学会学術集会, 1999 .11 (横浜)

橋本 剛, **飯田美代子**, 飯田弘之, 吉村 仁

内分泌攪乱物質による母乳汚染の理論的考察 (抄録集 p 234,1999)
第2回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウム, 1999 .12 (京都)

IIDA Miyoko, MORITA Setuko, TAMARI Yaeko, GOTO Setuko, IIDA Hiroyuki, YOSHIMURA Jin
A long term womans health note for near menopause women.(Abstract. pp 345 348,1999)

9 th International Menopause Society World Congress on the Menopause , 1999 .10 (Yokohama)

石黒彩子, 神戸俊夫, 杉浦太一, 鳥居新平

喘息患者宅の空中浮遊酵母叢と酵母のアレルゲン性の検討 - C.albicans マンナン特異 IgE 抗体の測定 - (要旨集 p 55 ,1999)

第26回日本防菌防黴学会, 1999 5 (豊中)

三浦清世美, **石黒彩子**, 杉浦太一, **藤井千恵**, **浅野みどり**

転地療養における喘息児の心の問題 - 描画とエゴグラムの分析より - (日本小児看護学会誌 8 : 84 85 ,1999)

第9回日本小児看護学会, 1999 .7 (静岡)

杉浦太一, 花木玲子, **石黒彩子**

クリーンルームのホルムアルデヒド消毒と骨髄移植患児の入室時期 (日本小児看護学会誌 8 : 138 139 ,1999)

第9回日本小児看護学会, 1999 .7 (静岡)

杉浦太一, **石黒彩子**

クリーンルームにおけるホルムアルデヒド消毒後の残留濃度 (日本看護研究学会雑誌 22 : 339 ,1999)

第25回日本看護研究学会, 1999 .7 (浜松)

金子鎮二, 村瀬吉郎, 空野晋司, 平 健司, 森島逸郎, 松井英夫, 土岐幸生, **伊藤隆之**, 奥村健二

ラット虚血再灌流心におけるメラトニンの効果

第108回日本循環器学会東海地方会 1999 2 (名古屋)

MORISHIMA Itsuro, SONE Takahito, OKUMURA Kenji, TSUBOI Hideyuki, KONDO Junichiro, MUKAWA Hiroaki, MATSUI Hideo, TOKI Yukio, ITO Takayuki

Angiographic no-reflow predicts long-term cardiac complications and mortality in patients with acute myocardial infarction

48th Annual Scientific Session of American College of Cardiology 1999. 3 (New Orleans, USA)

NUMAGUCHI Yasushi, TOMITA Takahito, HARADA Mitsunori, OSANAI Hiroyuki, MATSUI Hideo, TOKI Yukio, ITO Takayuki, OKUMURA Kenji, et al.

Prostacyclin synthase gene transfer protects renal function and attenuates the development of hypertension in spontaneously hypertensive rats

48th Annual Scientific Session of American College of Cardiology, 1999. 3 (New Orleans, USA)

NUMAGUCHI Yasushi, TOMITA Takahito, HARADA Mitsunori, MATSUI Hideo, TOKI Yukio, ITO Takayuki, OKUMURA Kenji

Continuous administration of prostacyclin analogue improves vascular remodeling and survival in pulmonary hypertensive rats

48th Annual Scientific Session of American College of Cardiology, 1999. 3 (New Orleans, USA)

空野晋司, 早川 誠, 長内宏之, 沼口 靖, 平健 司, 金子鎮二, 村瀬吉郎, 松井英夫, 土岐幸生, 奥村健二, **伊藤隆之**

ラット Langendorff 心における灌流液の粘性変化に対する冠灌流量調節の検討 - 特に NO の関与について -

第63回日本循環器学会総会・学術集会，1999 3（東京）

森島逸郎，松井英夫，空野晋司，沼口 靖，土岐幸生，奥村健二，曾根孝仁，坪井英之，近藤潤一郎，武川博昭，**伊藤隆之**

初回急性心筋梗塞再灌流後の Angiographic No Reflow - 長期予後予測因子としての検討 -
第63回日本循環器学会総会・学術集会，1999 3（東京）

沼口 靖，富田崇仁，原田光徳，長内宏之，空野晋司，村瀬吉郎，松井英夫，土岐幸生，奥村健二，**伊藤隆之** 他
prostacyclin(PGI₂)合成酵素遺伝子導入はバルーン傷害動脈において再内皮化を促進し新生内膜増殖を抑制する
第63回日本循環器学会総会・学術集会，1999 3（東京）

MATSUI Hideo, MORISHIMA Itsuro, HAYASHI Kazunori, KANEKO Shinji, NUMAGUCHI Yasushi, TOKI Yukio,
ITO Takayuki, OKUMURA Kenji

Dietary fish oil increases mortality and myocardial ceramides/1,2-diacylglycerol ratio in adriamycin-induced
cardiomyopathy in rats

第63回日本循環器学会総会・学術集会 国際セッション，1999 3（東京）

原田光徳，沼口 靖，長内宏之，土岐幸生，奥村健二，**伊藤隆之**

ラット頸動脈バルーン傷害後の新生内膜形成に対する prostacyclin 合成酵素遺伝子局所導入の効果 - beraprost
sodium 全身投与との比較 -

第63回日本循環器学会総会・学術集会，1999 3（東京）

沼口 靖，富田崇仁，原田光徳，長内宏之，空野晋司，村瀬吉郎，松井英夫，土岐幸生，奥村健二，**伊藤隆之** 他
内因性 prostacyclin の過剰発現が循環動態・血液学的因子に与える影響について - 高血圧自然発症ラットにおける検
討 -

第63回日本循環器学会総会・学術集会，1999 3（東京）

富田崇仁，沼口 靖，松井英夫，土岐幸生，奥村健二，**伊藤隆之**

5 / 6 腎摘ラットにおける，プロスタサイクリン合成酵素発現の病的意義に関する検討

第109回日本循環器学会東海地方会，1999 6（岐阜）

内田貴典，長内宏之，金子鎮二，林 和徳，原田光徳，松井英夫，土岐幸生，奥村健二，**伊藤隆之**

フルクトース負荷高血圧ラットにおける血管のインシュリン抵抗性に対する ACE 阻害薬の効果

第109回日本循環器学会東海地方会，1999 6（岐阜）

片岡秋子，三浦昌子

気道熱傷患者の重症度予測(1)- 呼吸傷害を予測する因子（抄録集 p 166 ,1999）

第 1 回日本救急看護学会学術集会，1999 .11（大阪）

片岡秋子，三浦昌子

気道熱傷患者の重症度予測(2)- 手法の検討（抄録集 p 167 ,1999）

第 1 回日本救急看護学会学術集会，1999 .11（大阪）

片岡秋子, 安藤詳子, 渡邊憲子

気道熱傷患者における受傷早期の重症度予測 (抄録集 pp 476 - 477 ,1999)
第19回日本看護科学学会, 1999 .12 (静岡)

河津芳子, 清水みどり

ケアの概念に関わる看護教育の基本的指導事項について
第10回教育目標・評価学会大会, 1999 .10 (京都)

前川厚子

特別講演: オストメイトへの継続ケア
第3回山梨県ストーマリハビリテーション研究会, 1999 .1 (山梨)

水堀利絵, **前川厚子**, 光永恭子, 西三代子, 丸山 洋, 星野直明
イレオストミー再建時の位置決めの要点 (抄録集 p 5 ,1999)
第27回東京ストーマ研究会, 1999 3 (東京)

小林文子, 渡辺富美子, 高橋美栄子, 伊能恵美子, 丹野美子, **前川厚子**, 平塚秀雄
コロストミー患者における術前から健康回復期までの心理過程の分析 (抄録集 p 7 ,1999)
第27回東京ストーマ研究会, 1999 3 (東京)

前川厚子, 神里みどり

オストメイト用トイレ設置運動とバリアフリーのリフレクション (抄録集 p 11 ,1999)
第27回東京ストーマ研究会, 1999 3 (東京)

前川厚子, 吉田和枝

オストミーライフスパンにおけるストーマ装具代金の推計
第39回東海ストーマリハビリテーション研究会, 1999 .7 (浜松)

吉田和枝, 前川厚子

仙骨巨細胞腫切除手術患者の退院計画
第39回東海ストーマリハビリテーション研究会, 1999 .7 (浜松)

吉田和枝, 前川厚子, 武田尚代, 吉田久美子, 永田量子, 榊原久孝

Creutzfeldt Jakob 病 (疑) に仙骨部褥創を併発した患者のケア
第1回日本褥瘡学会, 1999 9 (東京)

渡邊裕子, 古澤恭子, 前川厚子, 西三代子, 頼永八洲子

癌再発による臀部潰瘍をもつ終末期患者のケアの課題
第28回東京ストーマ研究会, 1999 9 (東京)

水堀利絵, 古澤恭子, 前川厚子, 下田和世, 西三代子, 鈴木 明

筒状アプリケーションを用いた尿管皮膚瘻装具交換の方法
第28回東京ストーマ研究会, 1999 9 (東京)

前川厚子

ストーマケアの基本

埼玉ストーマリハビリテーション研究会，1999 9（川口）

古川久美子，**前川厚子**，作間久美，佐野正子

東海地区における非粘着式ストーマ装具使用者の実態調査

第40回東海ストーマリハビリテーション研究会，1999 .11（岐阜）

前川厚子，吉田和枝，中里博昭

東海ストーマリハビリテーション研究会誌論文のメタ分析

第40回東海ストーマリハビリテーション研究会，1999 .11（岐阜）

吉田和枝，**前川厚子**

ストーマ保有1年以上の相談者の継時的心理

第40回東海ストーマリハビリテーション研究会，1999 .11（岐阜）

前川厚子

Stoma care in Japan

International Symposium of Enterostomy，1999 .11(Hangzhou, China)

前川厚子，中里博昭

Educational change of ET to WOCN

International Symposium of Enterostomy，1999 .11(Hangzhou, China)

水溪雅子，石黒彩子，**奥村太志**，堀 文子，藤井恵子

臨床看護実習における家族システムへの介入 - 円環的質問の活用とその指導 -（抄録集 p 82 ,1999）

第6回日本家族看護学会，1999 9（浜松）

木村 宏，星野 洋，葛島清隆，**森島恒雄**

EBV 関連 lymphoproliferative disorders(LPD)の早期診断と治療・予防法の確立

平成10年度厚生省「免疫低下防止班」班会議、1999 2（東京）

MORISHIMA Tsuneo, ITO Yoshinori, KUROKI Hiroshi, KUROSAKI T

Influenza associated encephalopathy in Japan

US JAPAN Cooperative Medical Science Program，1999 3(Kyoto)

尾崎隆男，**森島恒雄**，廣田貴久，杉山幸八郎，浅野着造

愛知県におけるワクチン予防可能疾患の実態調査

第102回日本小児科学会，1999 4（東京）

伊藤嘉規，市山高志，星野洋，田中直子，杵山正浩，木村 宏，柴田元博，石和田稔彦，黒木春郎，古川 漸，**森島恒雄**

1997 98シーズンのインフルエンザ関連脳炎・脳症の検討

第102回日本小児科学会学術集会，1999 4（東京）

星野 洋, 木村 宏, 田中直子, 葛島清隆, 鶴見達也, **森島恒雄**

EBV 関連 lymphoproliferative disorders (LPD) における EBV 特異的 CD8T 細胞の動態解析
第40回日本臨床ウイルス学会, 1999 5 (千里)

原 紳也, 星野 洋, 木村 宏, 祖父江文子, 山本光章, 西川和夫, **森島恒雄**

伝染性単核球症および EBV-AHS 患者の血清中の sell-fvee EBV-DNA のモニタリング
第 9 回 EB ウイルス感染症研究会, 1999 5 (東京)

MORISHIMA Tsuneo

Special lecture : Update knowledge of hepatitis in children
11th International Symposium TSPGN , 1999 9(Taipei,Taiwan)

MORISHIMA Tsuneo

Invited lecture : Relapse of herpes simplex encephalitis
9 th International Conference on the Immunobiology and Prophylaxis of Human Herpesvirus Infections , 1999 9
(Lucca, Italy)

森島恒雄 (シンポジスト)

単純ヘルペスウイルスおよびまとめ

第31回日本小児感染症学会 シンポジウム「急性神経系疾患へのウイルス感染への関与」,1999 .10 (福島)

木村 宏, 原 紳也, 星野 洋, 山本光章, 西川和夫, **森島恒雄**

EB 初感染患者血清中の cell-free EBV-DNA のモニタリング
第47回日本ウイルス学会, 1999 .11 (横浜)

森島恒雄 (シンポジスト)

インフルエンザ脳炎・脳症

第 3 回日本ワクチン学会 シンポジウム「インフルエンザ」,1999 .11 (名古屋)

馬場良子, **森田せつ子**, 加藤芳枝, **鈴木和代**

看護学生の経口避妊薬(ピル)に対する意識 (抄録集 p 8 ,1999)
第17回愛知母性衛生学会, 1999 5 (名古屋)

篠原昌恵, **森田せつ子**

家族立ち会い出産とその効果的な援助について (抄録集 p 9 ,1999)
第17回愛知母性衛生学会, 1999 5 (名古屋)

福島見佳, 篠原昌恵, **森田せつ子**

産後 1 週間における排尿困難の分析 (抄録集 p 13 ,1999)
第17回愛知母性衛生学会, 1999 5 (名古屋)

下畑佳代, **森田せつ子**, **鈴木和代**

事例分析からみた産後一か月の食事摂取状況 (抄録集 p 13 ,1999)
第17回愛知母性衛生学会, 1999 5 (名古屋)

堀井恵美子, 森田せつ子

分娩第1期におけるいきみへの対処方法について(抄録集 p 11,1999)
第17回愛知母性衛生学会, 1999 5(名古屋)

宮下和子, 小林佳代, 森田せつ子, 鈴木和代, 加藤芳枝
産褥期における容姿変化の意識調査(抄録集 p 12,1999)
第17回愛知母性衛生学会, 1999 5(名古屋)

中木高夫, 石黒彩子, 松村悠子, 渡邊憲子, 渡邊順子, 浅野みどり, 任 和子, 大村いづみ, 野村千文, 杉浦太一
名古屋大学医学部保健学科における「看護診断」関連科目(看護診断 4:125-126,1999)
第5回日本看護診断学会, 1999 7(横浜)

大村いづみ, 中木高夫, 渡邊順子, 野村千文
高齢者における看護アセスメントツールの再考(抄録集 p 295,1999)
第25回日本看護研究学会学術集会, 1999 7(浜松)

任 和子, 中井義勝, 森本昌親
糖尿病に関連した日常生活のストレスと糖尿病燃えつき状態について(糖尿病 4X suppl.1): S119,1999)
第42回日本糖尿病学会, 1999 5(東京)

山口曜子, 岩間令道, 任 和子
初回の生活指導内容と検査値の関連について(糖尿病 4X suppl.1): S270,1999)
第42回日本糖尿病学会, 1999 5(東京)

任 和子, 白田久美子, 中嶋律子, 守本とも子, 池谷茂隆, 辻下守弘
看護職者の睡眠状況と精神健康との関連(日本健康教育学会誌 7X suppl.1): 124-125,1999)
第8回健康教育学会, 1999 6(大阪)

白田久美子, 任 和子, 守本とも子, 中嶋律子, 辻下守弘, 池谷茂隆
看護職者の健康状態の意識と精神健康の実態(日本健康教育学会誌 7X suppl.1): 122-123,1999)
第8回健康教育学会, 1999 6(大阪)

中嶋律子, 守本とも子, 任 和子, 田久美子, 池谷茂隆, 辻下守弘
看護職者における月経前症候群の実態(日本健康教育学会誌 7X suppl.1): 126-127,1999)
第8回健康教育学会, 1999 6(大阪)

守本とも子, 中嶋律子, 白田久美子, 任 和子, 辻下守弘, 池谷茂隆
看護職者における腰痛の実態(日本健康教育学会誌 7X suppl.1): 118-119,1999)
第8回健康教育学会, 1999 6(大阪)

任 和子, 谷口 中, 津田謹輔, 中井義勝, 酒井正彦, 福島光夫, 古賀美穂, 宮城美紀
糖尿病患者の体験する困難な状況とその対処について(糖尿病 43:496-2000)
第36回日本糖尿病学会近畿地方会, 1999 .11(京都)

山口曜子, 任 和子, 西沢秀子, 岩間令道
効果的な生活指導を行うための要因(糖尿病 43: 499, 2000)
第36回日本糖尿病学会近畿地方会, 1999 .11 (京都)

服部律子, 任 和子
女子学生の月経時の不定愁訴についての介入研究(抄録集 p 604 605, 1999)
第19回日本看護科学学会学術集会, 1999 .12 (静岡)

榊原久孝

振動障害患者の電流知覚閾値(current perception threshold)
日本産業衛生学会東海地方会第12回振動障害研究会, 1999 3 (名古屋)

平田 衛, 樋端規邦, 榊原久孝, 阿部充満
振動障害患者における視覚誘発事象関連電位 P300への影響(産業衛生学雑誌 41(臨時増刊号): 473, 1999)
第72回日本産業衛生学会, 1999 5 (東京)

榊原久孝, 平田 衛, 樋端規邦
振動障害患者の末梢神経障害と電流知覚閾値(産業衛生学雑誌 41(臨時増刊号): 474, 1999)
第72回日本産業衛生学会, 1999 5 (東京)

樋端規邦, 平田 衛, 榊原久孝
振動障害における温冷覚閾値測定の意義(産業衛生学雑誌 41(臨時増刊号): 475, 1999)
第72回日本産業衛生学会, 1999 5 (東京)

SAKAKIBRA Hisataka, TOIBANA Norikuni, HIRATA Mamoru
Thermal perception thresholds in patients with hand-arm vibration syndrome (Proceedings. pp 115-123, 1999)
7th Japan Group Meeting on Human Response to Vibration 1999, 1999 .7(Wakayama)

榊原久孝, 藤井千恵, 近藤高明
高血糖者に対する訪問保健指導について(抄録集 pp 93 94, 1999)
第45回東海公衆衛生学会, 1999 .7 (名古屋)

鈴木和代, 小林身哉, 宮川篤子, 杉浦康夫, 小林邦彦, 後藤節子
生体組織の保護膜としての羊膜の微細構造, 特に細胞外マトリックスに注目して(Placenta 20: A4, 1999)
第7回日本胎盤研究会学術集会, 1999 .10 (東京)

玉里八重子, 伊藤良子, 森田せつ子, 飯田美代子, 前嶋七海
産褥体操の実態とその課題に対する検討(抄録集 p 232, 1999)
第40回日本母性衛生学会, 1999 9 (横浜)

渡邊順子, 野村千文
連続14日間のベッドレストにおける就床環境の検討 ~ 体圧分布状況の比較 ~ (抄録集 p 402, 1999)
第25回日本看護研究学会学術集会, 1999 .7 (浜松)

安田道子

手帳を見ながら話す女子学生（第32回全国学生相談研究会議東京（検見川）シンポジウム報告書 pp 105 118 ,1999）
第32回全国学生相談研究会議，1999 .1（千葉）

安田道子，中島玲子

養護教諭とスクール・カウンセラーの連携をめぐって（学校保健研究 41(suppl.) : 125 ,1999）
第46回日本学校保健学会，1999 .11（名古屋）

〔公開講座・講演会〕

浅野みどり

思春期の子どもの心理と対応
豊明市第2回中央家庭教育学級，1999 .6（豊明）

GOTO Setsuko

Recent treatment for gestational trophoblastic disease in Japan, especially for choriocarcinoma cases in our department
Lecture at Tu Du Obstetrical and Gynaecological Hospital , 1999 .11(Ho Chi Minh, Vietnam)

伊藤隆之

循環器疾患とNO
名古屋市南区医師会学術講演会，1999 .5（名古屋）

伊藤隆之

心疾患と高脂血症
第169回各務原市医師会勉強会，1999 .7（各務原）

伊藤隆之

最新の高血圧治療 - 血管内皮と循環調節
渥美郡医師会講演会，1999 .11（愛知県田原町）

伊藤隆之

不整脈 - その診断と治療
東濃学術講演会（恵那、土岐、多治見市医師会）,1999 .12（土岐）

河津芳子

看護観を育てる
愛知医科大学病院看護部研修，1999 .2（愛知県長久手町）

前川厚子

障害原論
ストーマリハピリテーション講習会 上級コース理論編，1999 .6（東京）

前川厚子

性学概論

ストーマリハビリテーション講習会 上級コース理論編，1999 .6（東京）

前川厚子

内部障害者の生活ニーズ

厚生省障害者ケアマネージャー養成指導者研修，1999 .7（横浜）

前川厚子

ドイツの老人保健施設における創傷ケア

第47回床ずれ勉強会，1999 .7（東京）

永田量子

老人と看護・介護

日本福祉用具供給協会研修会，1999 .2（名古屋）

永田量子

家族介護を考える

愛知県豊山町家族介護教室，1999 .3（愛知県豊山町）

永田量子

介護概論

めいきん生協福祉事業部 2 級ヘルパー養成研修講座，1999 .5（名古屋）

永田量子

在宅介護・看護の実際

一宮市社会福祉協議会，尾張地域福祉を考える会介護講座，1999 .5（一宮）

永田量子

在宅介護の現状と問題点

愛知県病院薬剤師会尾張西地区研修会，1999 .6（稲沢）

永田量子

介護概論

南医療生活協同組合 2 級ホームヘルパー養成研修講座，1999 .6（名古屋）

永田量子

在宅看護方法論

めいきん生協福祉事業部 2 級ヘルパー養成研修講座，1999 .6（名古屋）

永田量子

介護技術 - 体位・姿勢の変換

めいきん生協福祉事業部 2 級ヘルパー養成研修講座，1999 .6（名古屋）

永田量子

すぐできる家庭介護

名古屋市名東区豊が丘コミュニティセンター・ピッピの会，1999.6（名古屋）

永田量子

老人介護と折り紙（実践講座）

愛知県私立高等学校愛知サマーセミナー，1999.7（名古屋）

永田量子

もしも家族が倒れたら

名古屋市名東区豊が丘コミュニティセンター・ピッピの会，1999.7（名古屋）

永田量子

緊急時の看護法

めいきん生協福祉事業部 2 級ヘルパー養成研修講座，1999.7（名古屋）

永田量子

療養者の生活範囲を広げる介護

めいきん生協福祉事業部 2 級ヘルパー養成研修講座，1999.7（名古屋）

永田量子

痴呆高齢者への対応

めいきん生協福祉事業部 2 級ヘルパー養成研修講座，1999.7（名古屋）

永田量子

介護概論

南医療生活協同組合 2 級ホームヘルパー養成研修講座，1999.9（名古屋）

永田量子

在宅看護論 - 在宅ケアの実際 -

愛知県看護教員養成研修講座，1999.10（名古屋）

永田量子

在宅ケアを地域で考える

愛知県看護教員養成研修講座，1999.10（名古屋）

永田量子

在宅における寝たきり者・痴呆患者の QOL について

愛知県看護教員養成研修講座，1999.10（名古屋）

永田量子

訪問看護の展開のプロセスについて

愛知県看護教員養成研修講座，1999.11（名古屋）

永田量子

医療依存度の高い療養者について
愛知県看護教員養成研修講座，1999 .11（名古屋）

永田量子

寝たきり者を二度おこし法でおこす技術
愛知県看護教員養成研修講座，1999 .11（名古屋）

永田量子

介護概論
愛知県高齢者協同組合 2 級ヘルパー養成講座，1999 .11（名古屋）

永田量子

透析療法直後の立ちくらみを予防する方法（二度おき法）
安城市腎友会文化祭「健康と環境を考える」,1999 .11（安城）

永田量子

「寝たきりにならない・しない介護技術」
法研中部介護セミナー，1999 .11（豊田）

永田量子

在宅看護の基礎知識
愛知県高齢者協同組合 2 級ヘルパー養成講座，1999 .12（名古屋）

永田量子

介護保険と在宅看護
愛知県看護教員養成研修講座，1999 .12（名古屋）

永田量子

介護保険と在宅サービス，施設サービスについて
愛知県看護教員養成研修講座，1999 .12（名古屋）

榊原久孝

厚生省糖尿病患者調査をふまえ、松川町における基本検診での20年間の高血糖・糖尿病患者の実態について
日本看護協会平成10年度地域保健モデル事業における研修会，1999 .1（長野）

榊原久孝

第 8 回国際手腕振動学会について
高知振動障害研究会，1999 3（中村）

榊原久孝

生活習慣病について
恵那保健所平成11年度はつらつ健康セミナー，1999 8（岐阜県蛭川村）

榊原久孝

生活習慣病の予防について

上矢作地域保健福祉セミナー，1999 .12（岐阜県上矢作町）

鈴木和代

おへそたいばん

名古屋市科学館だから・からだゼミナール，1999 .1（名古屋）

安田道子

児童生徒の心の発達の特徴と課題

平成11年度保健室相談活動研修会，1999 .12（名古屋）

放射線技術科学専攻

〔著書〕

AOYAMA Takahiko, KOYAMA Shuji, MAEKOSHI Hisashi

A scintillator-optical fiber detector with photodiode readout for dosimetry in small irradiation fields

KAPPAS Constantin, Del GUERRA Alberto, KOLITSI Zoi, DAMILAKIS Yannis and THEODOROU Kiki (eds) : Patras medical physics 99 ; 6th International Conference on Medical Physics. Bologna : Monduzzi Editore , 1999 . pp 117 122

鈴木昇一, 小山修司, 福本善巳, 重谷 昇, 山口和也

X線診断領域における実用的な患者被曝線量の測定法

『血管撮影領域における放射線被曝と防護』(粟井一夫編集) 日本放射線技術学会, 1999 . pp 18 40

小幡康範

病巣位置と線質

『臨床放射線科のコツと落とし穴 4 治療』(小塚隆弘編集) 中山書店, 1999 . pp 172 173

小幡康範

対向2門・回転照射法における照射野の設定

『臨床放射線科のコツと落とし穴 4 治療』(小塚隆弘編集) 中山書店, 1999 . pp 194 195

〔原著論文〕

AOYAMA Takahiko, KOYAMA Shuji, MAEKOSHI Hisashi

Small scintillation and PIN-photodiode dosimeters for measuring the doses delivered by transmission X-ray computed tomography

KEK Proc 99 8 : 1 8 ,1999

ISOMURA Takayuki, ITOH Shigeki, ENDO Tokiko, AKIYAMA Seiji, MARUYAMA Kunihiro, ISHIGUCHI Tsuneko, ISHIGAKI Takeo, TAKAGI Hiroshi

Efficacy of gastric blood supply redistribution by transarterial embolization : preoperative procedure to prevent anastomotic leaks following esophagoplasty for esophageal carcinoma

Cardiovasc Intervent Radiol 22 : 119 123 ,1999

KATAGIRI Hirohisa, TAKAHASHI Mitsuru, INAGAKI Jiro, SUGIURA Hideshi, ITOH Shigeki, IWATA Hisashi

Determining the site of the primary cancer in patients with skeletal metastasis of unknown origin

Cancer 86 : 533 537 ,1999

YAMAMOTO Susumu, SAWAGUCHI Shoichi, FUKUCHI Takeo, KANAZAWA Hiroaki, HASHIZUME Hiroya, ABE Haruki

Three dimensional appearance of Bowman's layer after radial keratotomy

J Cataract Refract Surg 25 : 363 367 ,1999

USHIKI Tatsuo, HITOMI Jiro, YAMAMOTO Susumu, KANAZAWA Hiroaki, SHIGENO Masatsugu

Imaging of living cultured cells of an epithelial nature by atomic force microscopy
Arch Histol Cytol 62 : 47 55 ,1999

YOSHIE Sumio, YOKOSUKA Hiroyuki, KANAZAWA Hiroaki, FUJITA Tsuneo
The existence of Merkel cells in the lingual connective tissue of Surinam caiman, *Caiman crocodilus crocodilus* (Order Crocodilia)
Arch Histol cytol 62 : 97 106 ,1999

小山修司, 青山隆彦, 前越 久
シンチレーションファイバ線量計を使用した X 線 CT 被曝線量計の開発
日本放射線技術学会雑誌 55 : 1027 1035 ,1999

磯村高之, 遠藤登喜子, 広藤善章, 加藤力雄, 小山修司, 津坂昌利, 前越 久, 伊藤茂樹, 伊東清信, 藤原寿照, 石垣武男
CT 透視法における施術者の被曝線量率の測定 : ディスポーザブル鉗子を用いた被曝軽減の試み
Interventional Radiology 14 : 443 448 ,1999

MIYAHARA Hiroshi, NAGATA Hideaki, FURUSAWA Takayoshi, MURAKAMI Naotaka, MORI Chizuo, TAKEUCHI Norio, GENKA Tsuguo
Standardisation of ^{169}Yb and precise measurement of gamma-ray emission probabilities
Nucl Instrum Meth A420 : 155 161 ,1999

MORI Chizuo, GOTOH Junichi, URITANI Akira, MIYAHARA Hiroshi, IKEDA Yuichiro, KASUGAI Yoshimi, KANEKO Junichi, SASAO Mamiko, SAKUMA Yoichi, KUDO Katsuhisa, TAKEDA Naoto, IIDA Toshiyuki
High-energy resolution spectrometer with proportional counter and Si-detector telescope type for 14 MeV neutrons in plasma diagnostics
Nucl Instrum Meth A422 : 75 78 ,1999

MORI Chizuo, URITANI Akira, MIYAHARA Hiroshi, IGUCHI Tetsuo, SHIROYA Seiji, KOBAYASHI Keiji, TAKADA Eiji, FLEMING Ronald, DEWARAJA Yuni, STEUNKEL David, KNOLL Glenn
Measurement of neutron and γ -ray intensity distributions with an optical fiber-scintillator detector
Nucl Instrum Meth A422 : 129 132 ,1999

HAYASHI Nobuo, MIYAHARA Hiroshi, HARA Kei, MORI Chizuo, FLEMING Ronald, DEWARAJA Yuni, LUDINGTON Martin
Highly accurate determination of γ -ray emission probabilities for ^{27}Mg
Nucl Instrum Meth A422 : 493 497 ,1999

MORI Chizuo, SUMI Tetsuo, MIYAHARA Hiroshi, URITANI Akira, NISHINA Kojiro
Natural radioactivity distribution images and their educational uses
JAERI-Conf 99 011 : 271 274 ,1999

NADA MARNADA, NAGATA Hideaki, UEDA Naoyoshi, IKEDA Keiichi, HAYASHI Nobuo, MORI Chizuo, MIYAHARA Hiroshi

Precise measurement of gamma-ray emission probabilities for ^{187}W by using a two-dimensional $4\pi\beta\gamma$ coincidence system

J Nucl Sci Technol 36 : 1119 1124 ,1999

KATOH Toshio, NAKAMURA Shoji, HARADA Hideo, OGATA Yoshimune

Measurement of thermal neutron capture cross section and resonance integral of the reaction $^{127}\text{I}(n, \gamma)^{128}\text{I}$

J Nucl Sci Technol 36 : 223 231 ,1999

OGATA Yoshimune, NISHIZAWA Kunihide

Stirring system for radioactive waste water storage tank

Health Phys 77 : 89 96 ,1999

SAWAKI Akiko, SHIMAMOTO Kazuhiro, SATAKE Hiroko, ISHIGAKI Takeo, KOYAMA Shuji, OBATA Yasunori, IKEDA Mituru

Breast ultrasonography : diagnostic efficacy of a computer-aided diagnostic system using fuzzy inference

Radiat Med 17 : 41 45 ,1999

〔 総説・解説・その他 〕

澤木明子, 伊藤茂樹, 高士ひとみ, 佐竹弘子, 丸山邦弘, 石垣武男

動脈塞栓術が有効であった副中結腸動脈瘤破裂の1例

画像診断 19 : 532 536 ,1999

近藤宗平, 川崎富作, 小寺吉衛

科学教育の在り方

日本放射線技術学会雑誌 55 : 1 7 ,1999

小寺吉衛

CRT 診断はどこまで可能か

新医療 292 : 92 94 ,1999

煎本正博, 宮崎 茂, 江口陽一, 酒井幸雄, 小寺吉衛

21世紀の Digital Imaging - 最先端医療の現場レポート座談会 : X線平面検出器をめぐって

日本放射線技術学会雑誌 55(9号付録) : 2 9 ,1999

小山修司

信頼できる皮膚吸収線量評価法を探る

日本放射線技術学会計測分科会誌 7(1) : 10 15 ,1999

小山修司

CTにおける線量評価法の技術と問題

日本放射線技術学会近畿部会誌 5(1) : 37 40 . 1999

宮原 洋, 林 信夫

HPGe 検出器の相対 γ 線検出効率の超精密決定とその応用

Tracer 25 : 3 5 ,1999

宮原 洋

日本における放射能測定研究に思う

Isotope News 547 : 22 23 ,1999

友光達志, 川勝 充, 北山 彰, **成田憲彦**, 増田一孝, 鹿沼成美, 東田善治, 森田陸司, 山本逸雄, 日本骨代謝学会, 財団法人骨粗鬆症財団, 日本画像医療システム工業会

胸・腰椎 X 線撮影法と骨塩定量法の基準化 - dual-energy x-ray absorptiometry (DXA)における骨塩量の標準定量法と装置の基本性能評価法 -

日本放射線技術学会雑誌 55 : 165 187 ,1999

島本佳寿広

超音波検査と若い女性をめぐって

健康文化振興財団紀要 23 : 36 39 ,1999

島本佳寿広

デジタル時代を乗り越えるための基礎知識 8 超音波についての基礎知識

臨床画像 15 : 1146 1153 ,1999

石垣武男, 加藤克彦, 岩野信吾, **島本佳寿広**, 池田 充

医用画像の診断論理解析とCRT 診断における画像処理の最適化に関する研究

INNERVISION 14 : 49 ,1999

津坂昌利

最近の医学・医療関係インターネット

健康文化振興財団紀要 23 : 29 35 ,1999

津坂昌利, 長嶋宏和, 市橋卓司, 江本 豊, 辻村善樹, 高橋正樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (34): ネットワークに対する攻撃

臨床放射線 44 : 223 224 ,1999

津坂昌利, 長嶋宏和, 市橋卓司, 江本 豊, 辻村善樹, 高橋正樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (35): ネットワークとハードウェア(その11) VPN による遠隔医療実験

臨床放射線 44 : 285 286 ,1999

津坂昌利, 長嶋宏和, 市橋卓司, 江本 豊, 辻村善樹, 高橋正樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (36): ネットワークとハードウェア(その12) 放射線科ネットワーク Q&A

臨床放射線 44 : 389 390 ,1999

津坂昌利, 長嶋宏和, 市橋卓司, 江本 豊, 辻村善樹, 高橋正樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (37): ネットワークとハードウェア(その13) Q&A : パソコンで DICOM 画像を見る

臨床放射線 44 : 495 496 ,1999

津坂昌利，長嶋宏和，市橋卓司，江本 豊，辻村善樹，高橋正樹，古賀佑彦
インターネット入門 (38): CyberRad '99 Net の概要

臨床放射線 44 : 621 622 ,1999

長嶋宏和，**津坂昌利**，市橋卓司，江本 豊，高橋正樹，古賀佑彦
インターネット入門 (39): 身近なセキュリティ(その1)

臨床放射線 44 : 723 724 ,1999

長嶋宏和，**津坂昌利**，市橋卓司，江本 豊，高橋正樹，古賀佑彦
インターネット入門 (40): 身近なセキュリティ(その2)

臨床放射線 44 : 833 834 ,1999

津坂昌利，長嶋宏和，市橋卓司，江本 豊，辻村善樹，高橋正樹，古賀佑彦
インターネット入門 (41): Q&A : DICOM サーバとビューワー

臨床放射線 44 : 951 952 ,1999

津坂昌利，長嶋宏和，市橋卓司，江本 豊，辻村善樹，高橋正樹，古賀佑彦
インターネット入門 (42): Q&A : DICOM ネットワーク

臨床放射線 44 : 1047 1048 ,1999

津坂昌利，長嶋宏和，市橋卓司，江本 豊，辻村善樹，高橋正樹，古賀佑彦
インターネット入門 (43): Q&A : 院内ネットワークをインターネットに安全につなぐには？

臨床放射線 44 : 1181 1182 ,1999

津坂昌利，長嶋宏和，市橋卓司，江本 豊，辻村善樹，高橋正樹，古賀佑彦
インターネット入門 (44): Q&A : スイッチング・ハブについての疑問

臨床放射線 44 : 1563 1564 ,1999

津坂昌利，長嶋宏和，市橋卓司，江本 豊，辻村善樹，高橋正樹，古賀佑彦
インターネット入門 (45): Q&A : 中規模病院のネットワーク

臨床放射線 44 : 1677 1678 ,1999

津坂昌利，長嶋宏和，市橋卓司，江本 豊，辻村善樹，高橋正樹，古賀佑彦
インターネット入門 (46): 北米放射線学会をささえる RSNA net

臨床放射線 45 : 240 243 ,2000

〔その他の印刷物等〕

宮原 洋，上田直由，鶴田隆雄，大澤孝明，丹羽健夫，橋本憲吾
近畿大学原子炉の炉特性の測定と利用

近畿大学原子炉等利用共同研究経過報告書 pp9 14 ,1999

MIYAHARA Hiroshi, NADA MARNADA, UEDA Naoyoshi, IKEDA Keiichi, HAYASHI Nobuo
Precise measurement of gamma-ray emission probabilities for ^{187}W
KURRI Progress Report 1998 p 51 ,1999

MIYAHARA Hiroshi, NADA MARNADA, UEDA Naoyoshi, IKEDA Keiichi, HAYASHI Nobuo, SAKAMA Minoru,
HABA Mitsuhiro, NISHINAKA Ichiro, TSUKADA Kazuaki, NAGAME Yuichiro, ICHIKAWA Shin-ichi
Source preparation for γ -ray emission probability measurement of proton-rich nuclei
JAERI Review 99 028 . p 46 ,1999

TABUSHI Katsuyoshi, TAMIYA Tadashi, TSUZAKA Masatoshi, KOYAMA Shuji, NARITA Norihiko, MAEKOSHI
Hisashi, OBATA Yasunori
Energy characteristics of radiophotoluminescence glass dosimeter
Japan Synchrotron Research Institute Spring8 User Experiment Report No.3 (課題番号 1999A0335 NOM np) p
25 ,1999

【学会発表】

青山隆彦, 小山修司, 前越 久
PIN フォトダイオード線量計による X 線 CT 被曝線量の精密測定
研究会「放射線検出器とその応用」,1999 .2 (つくば)

金澤寛明, 吉江紀夫, 藤田恒夫
味蕾直下の神経と血管 (解剖学雑誌 74 : 138 ,1999)
第104回日本解剖学会総会・全国学術集会, 1999 3 (東京)

小田嶋真由美, 穴戸 健, 上田昌宏, **小寺吉衛**, 稲津 博, 飯山清美
画像解析を用いた骨粗鬆症診断の研究
日本放射線技術学会第34回中部部会, 1999 .10 (浜松)

小寺吉衛 (パネラー)
最近の医療情報の動向
第55回日本放射線技術学会総会学術大会, 1999 4 (東京)

小寺吉衛
医用 X 線画像系の画質と感度に関する研究
第55回日本放射線技術学会総会学術大会, 1999 4 (東京)

小山修司, 青山隆彦, 前越 久
シンチレーションポイント線量計による X 線 CT 装置の患者皮膚吸収線量調査 (日本放射線技術学会第55回総会学術
大会一般研究発表後抄録 p 442 ,1999)
日本放射線技術学会第55回総会学術大会, 1999 4 (東京)

小山修司, 青山隆彦, 成田憲彦, 前越 久

PIN フォトダイオード線量計を用いたヘリカル CT における臓器被曝線量計測 (日本放射線技術学会第27回秋季学術大会一般研究発表後抄録 p 157, 1999)

日本放射線技術学会第27回秋季学術大会, 1999 .10 (久留米)

小山修司, 田宮 正, 津坂昌利, 成田憲彦, 青山隆彦, 前越 久

X 線 CT における FOV 各位置での実効エネルギー変化 (日本放射線技術学会中部部会雑誌 1 : 44-45, 2000)

日本放射線技術学会第34回中部部会, 1999 .10 (浜松)

前田尚利, 土屋整也, 江本順一

心壁運動の定量化 (ポアソン方程式解法) 抄録集 p 616, 1999)

第39回日本核医学会総会, 1999 .10 (秋田)

前田尚利, 土屋整也, 久礼憲一, 江本順一, 水野貴之, 三島 聡, 森本秀樹, 水口 敬

正常群と冠動脈疾患群への QSFP の応用の試み - 第2報 -

東海核医学研究会, 1999 .12 (名古屋)

上田直由, 宮原 洋, 森千鶴夫, 竹内紀男

4π NaI(Tl) γ 線検出器によるマルチ γ 線放出核種の崩壊率測定とその応用 (予稿集 p 221, 1999)

日本原子力学会1999年春の年回, 1999 .3 (東広島)

NADA MARNADA, MIYAHARA Hiroshi, UEDA Naoyoshi, IKEDA Keiichi, HAYASHI Nobuo, MORI Chizuo

Precise measurement of emission probabilities for γ -rays emitted from the decay of ^{76}As by a $4\pi\beta\gamma$ coincidence system (予稿集 p 222, 1999)

日本原子力学会1999年春の年回, 1999 .3 (東広島)

林 信夫, 宮原 洋, 森千鶴夫, 竹内紀男, 岩本清吉, 石川 勇

超精密相対 γ 線検出効率を用いた ^{38}Cl の相対 γ 線強度の決定 (予稿集 p 223, 1999)

日本原子力学会1999年春の年回, 1999 .3 (東広島)

MIYAHARA Hiroshi, GATOT WURDIYANTO, NAGATA Hideaki, YOSHIDA Atsushi, YANAGIDA Katsuo, MORI Chizuo

Precise measurement of gamma-ray emission probabilities for ^{186}Re and ^{188}Re

12th International Conference on Radionuclide Metrology and its Applications, 1999 .6 (Prague, Czech)

MIYAHARA Hiroshi, HAYASHI Nobuo, MORI Chizuo, TAKEUCHI Norio, IWAMOTO Seikichi, ISHIKAWA Isamu

Highly accurate measurements of relative detection efficiency curve and determination of the gamma ray emission probabilities of ^{38}Cl

12th International Conference on Radionuclide Metrology and its Applications, 1999 .6 (Prague, Czech)

池田圭一, 宮原 洋, ナダマルナダ, 上田直由, 林 信夫

短寿命低 γ 線放出率核種である ^{70}Ga の崩壊率測定 (要旨集 p 14, 1999)

第36回理工学における同位元素研究発表会, 1999 .7 (東京)

NADA MARNADA, MIYAHARA Hiroshi, UEDA Naoyoshi, IKEDA Keiichi, HAYASHI Nobuo
Precise emission probability measurement of principal γ -rays for ^{159}Gd by $4\pi\beta\gamma$ coincidence system (予稿集 p
19 ,1999)

日本原子力学会1998年秋の大会，1999 9 (柏崎)

藤木一雄，林 信夫，宮原 洋，竹内紀男，岩本清吉，石川 勇

相対 γ 線検出効率の超精密測定(2) 要旨集 p 23 ,1999)

日本原子力学会中部支部第31回研究発表会，1999 .12 (名古屋)

成田憲彦，小山修司，津坂昌利，田宮 正，田伏勝義，前越 久

ハイドロキシアパタイト含有骨等価材料の骨密度測定 (抄録集 p 283 ,1999)

第55回日本放射線技術学会総会学術大会，1999 4 (東京)

廣田昌大，佐瀬卓也，緒方良至，西澤邦秀

イメージングプレートを用いる甲状腺 ^{131}I インビボモニタリングの可能性について (要旨集 p 97 1999)

日本保健物理学会第34回発表会，1999 5 (大分)

廣田昌大，佐瀬卓也，緒方良至，西澤邦秀

イメージングプレートによる ^{131}I 甲状腺モニタリングにおける検出限界からみた最適関心領域 (要旨集 p 116 1999)

第36回理工学における同位元素研究発表会，1999 .7 (東京)

島本佳寿広

画像ワークステーションの機能および診断環境と診断能

第 1 回日本画像認知研究会，1999 .1 (名古屋)

島本佳寿広

画像ワークステーションの機能及び読影環境と診断能

第 1 回放射線研究セミナー，1999 4 (名古屋)

島本佳寿広

主題「画像診断と外科」乳腺疾患の外科と画像診断

日本外科学会生涯教育セミナー，1999 9 (名古屋)

ISHIHARA Shunichi, SHIMAMOTO Kazuhiro, IKEDA Mitsuru, KATO Katsuhiko, ISHIGAKI Takeo,

ISHIGUCHI Tsuneco

Subtle pulmonary disease : influence of CRT luminance and room illuminance on image perception (Radiology 213
(P) : 503 ,1999)

85th Scientific Assembly and Annual Meeting, Radiological Society of North America , 1999 .11 (Chicago, USA)

KATO Katsuhiko, SHIMAMOTO Kazuhiro, IKEDA Mitsuru, ISHIHARA Shunichi, ISHIGAKI Takeo,

ISHIGUCHI Tsuneco

Subtle pulmonary disease : impact of image processing technique in computed radiography (Radiology 213(P) :
503 ,1999)

85th Scientific Assembly and Annual Meeting, Radiological Society of North America, 1999 .11 (Chicago, USA)

ISHIGAKI Takeo, ISHIHARA Shunichi, KATO Katsuhiko, SHIMAMOTO Kazuhiro, ISHIGUCHI Tsuneo
Soft-copy image interpretation: Is the special training needed?
11th European Congress of Radiology, 1999 3 (Vienna, Austria)

中村 謙, 田伏勝義, 渡辺義也, 榎戸義浩, 上原 晃, 佐藤恭二, 加藤眞吾, 楮本智子, 砂倉瑞良
最適化治療計画による RALS 治療 2 年間の臨床経験 (抄録集 p 81, 1999)
第77回日本医学放射線物理学大会, 1999 4 (東京)

田伏勝義, 田宮 正, 小山修司, 成田憲彦, 津坂昌利, 前越 久, 宇留賀朋哉
蛍光ガラス線量計のエネルギー特性について (抄録集 p 61, 1999)
第77回日本医学放射線物理学大会, 1999 4 (東京)

TABUSHI Katsuyoshi, TAMIYA Tadashi, KOYAMA Shuji, NARITA Norihiko, SHIMOZATO Tomohiro,
YOSHIOKA Setsu, TSUZAKA Masatoshi, OBATA Yasunori, URUGA Tomoya, TANIDA Hajime, BAN Shuichi,
NAMITO Yoshihito, SAKAGUCHI Hiroharu
An evaluation of characteristics of film badge using monochromatic X-ray (Jpn J Med Phys (放射線医学物理) 19 Suppl.
61): 320-322, 1999)
2nd Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics, 1999 .11 (Tokyo)

SHIMOZATO Tomohiro, TABUSHI Katsuyoshi, TAMIYA Tadashi, KOYAMA Shuji, NARITA Norihiko,
YOSHIOKA Setsu, TSUZAKA Masatoshi, OBATA Yasunori, URUGA Tomoya, TANIDA Hajime, BAN Shuichi,
NAMITO Yoshihito
Linearity of radiophotoluminescence glass dosimeter based on monochromatic X-ray (Jpn J Med Phys (放射線医学物
理) 19 Suppl. 61): 327-329, 1999)
2nd Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics, 1999 .11 (Tokyo)

YOSHIOKA Setsu, TABUSHI Katsuyoshi, TAMIYA Tadashi, SHIMOZATO Tomohiro, TSUZAKA Masatoshi,
OBATA Yasunori, AOYAMA Yuuichi
An evaluation of water equivalent phantoms in photon beams (Jpn J Med Phys (放射線医学物理) 19 Suppl. 61): 296-
298, 1999)
2nd Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics, 1999 .11 (Tokyo)

下郷智弘, 吉岡 撰, 田伏勝義, 田宮 正, 小幡康範, 津坂昌利, 小山修司
光子フルエンスと線量当量の蛍光ガラス線量計における線形性の検討 (日本放射線技術学会中部部会雑誌 1: 96-
97, 2000)
日本放射線技術学会第34回中部部会, 1999 .10 (浜松)

TAMIYA Tadashi, TABUSHI Katsuyoshi, KOYAMA Shuji, TSUZAKA Masatoshi, NARITA Norihiko,
OGATA Yoshimune, OBATA Yasunori, URUGA Tomoya, TANIDA Hajime, BAN Shuichi, NAMITO Yoshihito,
IKEGAMI Toru, SAKAGUCHI Hiroharu
Mixed low energy characteristics of radiophotoluminescence glass dosimeter (Jpn J Med Phys (放射線医学物理) 19
(Suppl. 61): 323-326, 1999)
2nd Japan-Korea Joint Meeting on Medical Physics, 1999 .11 (Tokyo)

津坂昌利, 小山修司, 成田憲彦, 小幡康範, 長嶋宏和

VPN とインターネットを利用した DICOM 画像の遠隔通信実験について (日本放射線技術学会中部部会雑誌 1 : 37
38 2000)

日本放射線技術学会第34回中部部会, 1999 .10 (浜松)

吉岡 撰, 下郷智弘, 田伏勝義, 小幡康範, 津坂昌利, 青山裕一

水等価ファントムの比較検討 (日本放射線技術学会中部部会雑誌 1 : 100 101 2000)

日本放射線技術学会第34回中部部会, 1999 .10 (浜松)

HARA Takeshi, FUKUOKA Daisuke, TSUZAKA Masatoshi, FUJITA Horoshi, ENDO Tokiko

Automated detection and classification of ultrasonographic breast tumors and 3D construction technique from 2D
tomograms. (Radiology 213(P) : 498 ,1999)

85th Scientific Assembly and Annual Meeting, Radiological Society of North America , 1999 .12 (Chicago, USA)

〔公開講座・講演会〕

青山隆彦

放射線のはなし (日本原子力文化振興財団, 第401回高校生のための放射線実習セミナー)

長野県立伊那北高等学校, 1999 2 (伊那)

青山隆彦

放射線のはなし (日本原子力文化振興財団, 第405回高校生のための放射線実習セミナー)

私立滝高等学校, 1999 3 (江南)

青山隆彦

放射線のはなし (日本原子力文化振興財団, 第420回高校生のための放射線実習セミナー)

沖縄県立開邦高等学校, 1999 .7 (那覇)

青山隆彦

放射線と放射能 (目で見る放射線教室)

静岡県環境放射線監視センター, 1999 8 (静岡県浜岡町)

小寺吉衛

SN 比と信号検出

第 1 回医用画像認知研究会, 1999 .1 (名古屋)

小寺吉衛

ノイズ特性 - 実技編 1

第 9 回京都画像研究会, 1999 2 (京都)

小寺吉衛

DQE とデジタル画像の画質との関係

日本放射線技術学会第27回東京部会セミナー, 1999 2 (東京)

小寺吉衛

SN 比と信号検出

松山放射線画像研究会，1999 3（松山）

小寺吉衛

デジタル画像の画質評価法

DDIS シンポジウム，1999 5（福岡）

小山修司

X 線 CT における被曝線量 - どのように考えどのように測るか -

日本放射線技術学会中部部会第 3 回 CT 研究会第 4 回放射線防護研究会，1999 3（金沢）

宮原 洋

エックス線の管理

エックス線作業主任者勉強会講習会，1999 2（名古屋）

宮原 洋

放射線と RI の安全取扱の基礎

平成11年度放射線業務従事者教育訓練講習会，1999 5（名古屋）

宮原 洋

エックス線の管理

エックス線作業主任者勉強会講習会，1999 6（名古屋）

宮原 洋

放射線の精密測定

中部原子力懇談会調査研究委員会第二部会，1999 6（名古屋）

宮原 洋

放射線と放射能

平成10年度エネルギー研究会，1999 9（名古屋）

宮原 洋

放射線と放射能

CAC エネルギー研究会・みえ，1999 9（津）

津坂昌利

DICOM とネットワーク技術

第 4 回 MIM 研究会 日本医学写真学会関西支部公開講演会，1999 8（大阪）

津坂昌利

DICOM 規格の概要

日本放射線技術学会中部部会 第 8 回画像研究会第 6 回コンピュータ応用技術研究会合同研究会，1999 .10（浜松）

津坂昌利

VPN の技術動向と最新導入事例

大阪 COMMUNET'99 ソリューションセミナー，1999.9（大阪）

津坂昌利，小山修司，越田吉郎

一般撮影，乳房撮影，X線 CT 撮影時の被曝線量評価の実際

日本放射線技術学会計測分科会 第3回医療被曝測定セミナー，1999.11（金沢）

検査技術科学専攻

〔著書〕

長谷川高明，鍋島俊隆

喘息

『クリニカル・ファーマシーのための疾病解析』 第6版 (Eric T. Herfindal, Dick R. Gourley 編 福地坦ほか訳)
医薬ジャーナル社，1999 . pp 690 725

長谷川高明，灘井雅行

薬物動態の変動要因、薬力学とトキシコキネティクス

『新しい図解 薬剤学』(長谷川高明、灘井雅行 他編) 南山堂，1999 . pp 463 522

古池保雄

起立性低血圧，無汗症

『わかりやすい内科学』(井村裕夫編集主幹) 文光堂，1999 . pp 1052 1055

小野田嶺雄、**古池保雄**

亜急性硬化性全脳炎 (SSPE)

『臨床睡眠医学』(太田龍朗、大川匡子、塩澤全司編) 朝倉書店 1999 . pp 297 300

古池保雄、高橋 昭

シャイ - ドレーガー症候群 (SDS)

『臨床睡眠医学』(太田龍朗、大川匡子、塩澤全司編) 朝倉書店 1999 . pp 309 314

村手 隆，内田俊樹

骨髄異形成症候群と p15ink 4 B 遺伝子のメチル化

『Annual Review 血液1999』(高久史磨 他編) 中外医学社，1999 . pp 89 96

横田充弘，**野田明子**

『心臓超音波検査法 技術と診断』

ライフメディコム，1999 283p

野田明子

眠気の自覚的評価法

『臨床睡眠医学』(太田龍朗、大川匡子、塩澤全司編) 朝倉書店，1999 . pp 98 102

野田明子

睡眠感調査

『臨床睡眠医学』(太田龍朗、大川匡子、塩澤全司編) 朝倉書店，1999 . pp 102 107

野田明子

生活習慣についての自記式評価法

『臨床睡眠医学』(太田龍朗、大川匡子、塩澤全司編) 朝倉書店，1999 . pp 107 114

野田明子

睡眠日誌法

『臨床睡眠医学』(太田龍朗, 大川匡子, 塩澤全司編) 朝倉書店 1999 . pp 114 119

ANDO Shoko, ONO Yuichiro, TAKEUCHI Yasuhiro, SHIBATA Eiji, ICHIHARA Gaku, KAMIJIMA Michihiro, SHIMAOKA Midori, HIRUTA Shuichi, HATTORI Yoji, HORI Fumiko

Complaints on workload and musculoskeletal symptoms among hospital nurses

HOFMANN Friedrich, MICHAELIS Martina et al. (eds.) : Occupational health care for health care workers ; 3rd International Congress, Edinburgh 1997 (Progress in social and occupational medicine ; Vol. 2 - 2) Landsberg : Ecomed Verlagsgesellschaft 1999 . pp 126 128

高木健三

気管支喘息

『臨床看護事典』 第2版 (高久史磨 他編) メジカルフレンド社, 1998 . pp 311 315

高木健三、馬場研二

徐放性テオフィリンの位置づけ

『プラクティカル内科シリーズ 5 気管支喘息』(中川武正 他編) 南江堂, 1999 . pp 76 81

高木健三

COPD

『認定医・専門医のための内科学レビュー99』(酒井 紀 他編) 総合医学社, 1999 . pp 7 10

高木健三

抗アレルギー薬

『喘息がわかる本』(宮本昭正編) 日本評論社, 1999 . pp 143 150

【原著論文】

NAKAO Makoto, OGURA Yozo, HASEGAWA Takaaki, SATAKE Syousuke, ITO Izumi, YOSHIMINE Noboru, IGUTI Akihisa, TAKAGI Kenji, NAKANE Shigeki, ISHIZUYA, Osamu, NABESHIMA Toshitaka
Usefulness of weight dispersing mattresses in preventing pressure sores at the sacral bone in elderly patients
J Appl Ther Res 2 : 177 185 ,1999

ITO Hideo, NAITO Setsuko, ARAKAWA Yoshichika, SASAKI Kyoyu, KATO Nobuo
Crystallization of lipopolysaccharide from a *Salmonella typhimurium* semi rough (SR) mutant
Microbiol Immunol 43 : 759 763 ,1999

INAGAKI Masahumi, YOKOTA Mitsuhiro, IZAWA Hideo, ISHIKI Ryouji, NAGATA Kozo, IWASE Mitsunori, YAMADA Yoshiji, KOIDE Masafumi, SOBUE Toshikazu
Impaired force frequency relations in patients with hypertensive left ventricular hypertrophy
Circulation 274 : 1822 1830 ,1999

HITTINGER Luc, GHALEH Bijan, CHEN Jie, EDWARDS John G, KUDEJ Raymond K, IWASE Mitsunori,

KIM Song-Jung, VATNER Stephen F, VATNER Dorothy E

Reduced subendocardial ryanodine receptors and consequent effects on cardiac function in conscious dogs with left ventricular hypertrophy

Circ Res 84 : 999-1006, 1999

VATNER Dorothy E, ASAI Kuniya, IWASE Mitsunori, ISHIKAWA Yoshihiro, SHANNON Richard P, HOMCY Charles J, VATNER Stephen F

Beta-adrenergic receptor-G protein-Adenylyl cyclase signal transduction in the failing heart

Am J Cardiol 83 : 80H-85H, 1999

KITAICHI Kiyoyuki, WANG Li, TAKAGI Kenji, IWASE Mitsunori, SHIBATA Eiji, NADAI Masayuki, TAKAGI Kenzo, HASEGAWA Takaaki

Decreased antipyrine clearance following endotoxin administration : in vivo evidence of the role of nitric oxide

Antimicrob Agents Chemother 43 : 2697-2701, 1999

KITAICHI Kiyoyuki, DAY Jamie, QUIRION Remi

A novel M₄ antagonist provides further evidence of an autoreceptor for the muscarinic M₂ receptor sub-type

Eur J Pharmacol 383 : 53-56, 1999

KITAICHI Kiyoyuki, NODA Yukihiro, MIYAMOTO Yoshiaki, NUMAGUCHI Atsushi, OSAWA Hirokatsu, HASEGAWA Takaaki, FURUKAWA Hiroshi, NABESHIMA Toshitaka

Involvement of the serotonergic neuronal systems in phencyclidine-induced place aversion in rats

Behav Brain Res 103 : 105-111, 1999

KITAICHI Kiyoyuki, HORI Takafumi, SRIVASTAVA Lalit, QUIRION Remi

Antisense oligodeoxynucleotides against the muscarinic m₂, but not m₄, receptor supports its role as autoreceptors in the rat hippocampus

Mol Brain Res 67 : 98-106, 1999

長谷川康博, 白水重尚, **古池保雄**, 松岡幸彦, 高橋 昭

進行性核上性麻痺における起立性低血圧

自律神経 36 : 48-55, 1999

落合 淳, 片山泰司, 茂木禧昌, **古池保雄**, 楠 進

多相性 F 波を認めた Fisher 症候群の 1 例

神経内科 51 : 284-286, 1999

渡辺正樹, 岡田洋平, 馬淵直紀, 新美由紀, **古池保雄**

立ちくらみ患者における脳虚血病変 - 起立性低血圧と頭頸部大血管病変の意義 -

臨床神経 39 : 1015-1019, 1999

古池保雄

Shy-Drager 症候群の呼吸異常

神経内科 50 : 40-49, 1999

ARAHATA Yutaka, HIRAYAMA Masaaki, IEDA Toshiaki, KOIKE Yasuo, KATO Takashi, TADOKORO Masanori, IKEDA Mitsuru, ITO Kengo, SOBUE Gen

Parieto-occipital glucose hypometabolism in Parkinson's disease with autonomic failure

J Neurol Sci 163 : 119-126, 1999

KODAMA Yoshihisa, IEDA Toshiaki, HIRAYAMA Masaaki, KOIKE Yasuo, ITO Hiroki, SOBUE Gen

Auditory brainstem responses in patients with autonomic failure with Parkinson's disease and multiple system atrophy

J Auton Nerv Syst 77 : 184-189, 1999

NIIMI Yuki, IEDA Toshiaki, HIRAYAMA Masaaki, KOIKE Yasuo, SOBUE Gen, HASEGAWA Yasuhiro, TAKAHASHI Akira

Clinical and physiological characteristics of autonomic failure with Parkinson's disease

J Clin Auton Res 9 : 139-144, 1999

MIZUNO Hirokazu, EMI Nobuhiko, ABE Akihiro, TAKAHASHI Isamu, KOJIMA Tetsuhito, SAITO Hidehiko, SUMI Yukio, HATA Ken-ichiro, UEDA Minoru

Successful culture and sustainability in vivo of gene modified human oral mucosal epithelium

Hum Gene Ther 10 : 825-830, 1999

OHTA Hiroto, TAKAHASHI Isamu, KOJIMA Tetsuhito, TAKAMATSU Junki, SHIMA Midori, YOSHIOKA Akira, SAITO Hidehiko, KAMIYA Tadashi

Histocompatibility antigens and alleles in Japanese haemophilia A patients with or without factor VIII antibodies

Tissue Antigens 54 : 91-97, 1999

ISHIGURO Kazuhiro, KOJIMA Tetsuhito, TAGUCHI Osamu, SAITO Hidehiko, MURAMATSU Takashi, KADOMATSU Kenji

Syndecan-4 expression is associated with follicular atresia in mouse ovary

Histochem Cell Biol 112 : 25-33, 1999

YAMAMOTO Koji, SHIMOKAWA Takayoshi, KOJIMA Tetsuhito, LOSKUTOFF David J, SAITO Hidehiko
Regulation of murine protein C gene expression in vivo : effect of tumor necrosis factor- α , interleukin-1, and transforming growth factor- β

Thromb Haemost 82 : 1297-1301, 1999

KUNISHIMA Shinji, KOJIMA Tetsuhito, TANAKA Toshihiro, KAMIYA Tadashi, OZAWA Kazuo, NAKAMURA Yusuke, SAITO Hidehiko

Mapping of a gene for May-Hegglin anomaly to chromosome 22q

Hum Genet 105 : 379-383, 1999

倉科正徳, 越川 卓, 宇佐見由加

甲状腺未分化癌乏細胞型(Wan)の1例

日本臨床細胞学会雑誌 38 : 157-161, 1999

HANAMURA Akitoshi, KINOSHITA Tomohiro, KUROKAWA Toshiro, NAGAI Hirokazu, MURATE Takashi,

NAGASAKA Tetsuro, MORI Hisayoshi, SAITO Hidehiko

Molecular evaluation of bone marrow involvement in peripheral T-cell lymphoma with a PCR-mediated RNase protection assay

Int J Hematol 70 : 283-289, 1999

KOSUGI Hiroshi, TOWATARI Masayuki, HATANNO Sonoko, KITAMURA Kunio, KIYOI Hitoshi, KINOSHITA Tomohiro, TANIMOTO Mitsune, MURATE Takashi, KAWASHIMA Kouhei, SAITO Hidehiko, NAOE Tomoki

Histone deacetylase inhibitors are the protein inducer/enhancer of differentiation in leukemia: a new approach to anti-leukemia therapy

Leukemia 13 : 1316-1324, 1999

NAKAHARA Yousuke, SUZUKI Hitoshi, OHASHI Haruhiko, HATANNO Sonoko, TOMITA Akihiro, MURATE Takashi, SAITO Hidehiko, HOTTA Tomomitsu

Clonality analysis of granulocytes and T lymphocytes in healthy females by the PCR-based HUMARA method

Int J Hematol 69 : 237-243, 1999

NAGAI Hirokazu, KINOSHITA Tomohiro, SUZUKI Hitoshi, HATANNO Sonoko, MURATE Takashi, SAITO Hidehiko

Identification and mapping of novel tumor suppressor loci on 6p in diffuse large B-cell non-Hodgkin's lymphoma

Genes Chromosomes Cancer 25 : 277-283, 1999

SUZUKI Hitoshi, ASANO Haruhiko, OHASHI Haruhiko, KINOSHITA Tomohiro, MURATE Takashi, SAITO Hidehiko, HOTTA Tomohiro

Clonality analysis of refractory anemia with ring sideroblasts: simultaneous study of clonality and cytochemistry on bone marrow progenitors

Leukemia 13 : 130-134, 1999

片田雅子, **野田明子**, 鈴木雅博, 日高孝夫, 川添紀子, 祖父江俊和, 横田充弘, 小倉幸夫, 安井昭二

健康診断における心電図および心エコー図検査から検出された無症候性の心筋症

臨床病理 47 : 365-369, 1999

鈴木雅博, **野田明子**, 片田雅子, 日高孝夫, 川添紀子, 祖父江俊和, 横田充弘, 小倉幸夫, 安井昭二

健康診断において発見された無症候性の拡張型心筋症

日本臨床生理学雑誌 29 : 175-179, 1999

横山有見子, 川村 孝, 玉腰暁子, **野田明子**, 平井真理

加速度計による身体活動量の測定の妥当性

スポーツ医・科学 12 : 23-27, 1999

YU Xiaozhong, ICHIHARA Gaku, KITO Junzo, XIE Zhenlin, SHIBATA Eiji, KAMIJIMA Michihiro, ASAEDA Nobuyuki, HISANAGA Naomi, TAKEUCHI Yasuhiro

Effects of inhalation to 2-bromopropane on the nervous system in rats

Toxicology 135 : 87-93, 1999

YU Xiaozhong, KAMIJIMA Michihiro, ICHIHARA Gaku, LI Wenxin, KITO Junzo, XIE Zhenlin, SHIBATA Eiji,

HISANAGA Naomi, TAKEUCHI Yasuhiro

2 Bromopropane causes ovarian dysfunction by distracting primordial follicles and their oocytes in female rats
Toxicol Appl Pharmacol 159 : 185-193, 1999

UENO Satoru, HISANAGA Naomi, JONAI Hiroshi, SHIBATA Eiji, KAMIJIMA Michihiro

Association between musculoskeletal pain in Japanese construction workers and job, age, alcohol consumption, and smoking

Ind Health 37 : 449-456, 1999

酒井 潔, 久永直見, 児嶋昭徳, **柴田英治**, 竹内康浩

名古屋市の1地点における大気中石綿および非石綿繊維濃度の5年間の変動
大気環境学会誌 34 : 386-397, 1999

TAKEUCHI Masayuki, HAYAKAWA Akemi, TAKAGI Kenzo, HIRAMATSU Kenjyu, SHIMIZU Yasuo,
MATSUMOTO Shuichi, HIRAMATSU Tetuo, ITO Tasushi, KUME Hiroaki, SUZUKI Ryujiro, YAMAKI Kenichi

Theophylline induces apoptosis of IL-3 activated eosinophils of patients with bronchial asthma

Apoptosis 4 : 461-468, 1999

SHICHIJO Michitaka, SHIMIZU Yasuo, HIRAMATSU Kenju, TOGAWA Michinori, INAGAKI Naoki, TAKAGI Kenzo,
NAGAI Hiroichi

IPD-1151T (suplatast tosilate) inhibits interleukin (IL)-13 release but not IL-4 release from basophils

Jpn J Pharmacol 79 : 501-504, 1999

ITO Yasushi, KUME Hiroaki, YAMAKI Kenichi, TAKAGI Kenzo

Tetracyclines reduce Na⁺/K⁺ pump capacity in Calu-3 human airway cells

Biochem Biophys Res Commun 260 : 13-16, 1999

GOTOH Kunihiro, YATABE Yasushi, SUGIURA Takahiro, TAKAGI Kenzo, OGAWA Makoto, TAKAHASHI Takashi,
MITSUDOMI Tetsuya

Frameshift mutations in TGFβ2RII, IGF1R, BAX, hMSH3 and hMSH6 are absent in lung cancers

Carcinogenesis 20 : 499-502, 1999

KUME Hiroaki, TAKAGI Kenzo

Inhibition of beta-adrenergic desensitization by K_{Ca} channels in human trachealis

Am J Resp Crit Care Med 159 : 452-60, 1999

近藤康博, 谷口博之, 西山理, **横井豊治**, 鈴木隆二郎, 野田康信, 加藤聡之, 金子路江

Nonspecific interstitial pneumonia 症例における high-resolution CT 所見の検討

臨床放射線 44 : 93-98, 1999

小島英嗣, 松本修一, 平松哲夫, 青山昌広, 孫 政実, **横井豊治**

剥離性間質性肺炎(DIP)の3例

臨床放射線 44 : 99-107, 1999

JING Xuefeng, KAKUDO Kennichi, MURAKAMI Maki, NAKAMURA Yasushi, NAKAMURA Misa,
YOKOI Toyoharu, YANG Qifeng, OURA Shoji, SAKURAI Takeo
Intraductal spread of invasive breast carcinoma has a positive correlation with c-erbB-2 overexpression and vascular
invasion
Cancer 86 : 439 448 ,1999

〔 総説・解説・その他 〕

HASEGAWA Takaaki, TAKAGI Kenji, KITAICHI Kiyoyuki
Effects of bacterial endotoxin on drug pharmacokinetics
Nagoya J Med Sci 62 : 11 28 ,1999

伊藤秀郎

細菌の薬剤耐性獲得機序および測定法の現状と将来 - MRSA, VRE について -
生物試料分析 22 : 205 212 ,1999

ROWE Wayne, AUBERT Isabelle, KITAICHI Kiyoyuki, RICHARD Jean, DAY Jamie, MEANEY Michael J,
QUIRION Remi
Enhanced cognitive performance in aged memory-impaired rats treated with a selective muscarinic receptor
antagonist
Ann Psychiatr 7 : 319 330 ,1999

古池保雄

起床困難と低血圧
醫事新報 3935 : 107 108 ,1999

古池保雄、長谷川康博、平山正昭、白水重尚、家田俊明、伊藤宏樹
食事性低血圧 1998
自律神経 36 : 318 322 ,1999

MURATE Takashi, HAYAKAWA Taro
Multiple functions of tissue inhibitors of metalloproteinases (TIMPs) : new aspects in hematopoiesis
Platelets 10 : 5 6 ,1999

岡田 保, **野田明子**
睡眠時無呼吸症候群による起きる病態と予後
JOHNS 15 : 1741 1747 ,1999

高木健次, **北市清幸**
血清ジアミン酸化酵素測定法と臨床応用
臨床化学のつどい 15 : 6 11 ,1999

高木健三

喘息治療におけるロイコトリエンレセプター拮抗薬
日本胸部臨床 58 : 400 407 ,1999

伊藤 康, 久米裕昭, 山木健市, **高木健三**
テオフィリン製剤によるビタミン B₆ 欠乏症およびてんかん (成人気管支喘息患者での発症例)
アレルギーの臨床 19 : 55 59 ,1999

高木健三, 馬場研二
長期管理 徐放性テオフィリンの位置づけー
喘息 12 : 61 65 ,1999

島田 馨, **高木健三** 他
呼吸器感染症に対する pazufloxacin 注射薬の臨床第二相試験
日本化学療法学会雑誌 47(suppl. 1): 176 195 ,1999

高木健三
気管支喘息の予防について
健康文化振興財団紀要 24 : 26 29 ,1999

高木健三
喘息発作
臨床外科 54 : 66 68 ,1999

高木健三, 北市清幸, 灘井雅行
呼吸器疾患に使われる薬物の副作用シリーズ(10) 抗アレルギー薬
呼吸 801 : 1091 1097 ,1999 .

横井豊治, 中村栄男
肺の MALT リンパ腫(BALT リンパ腫)
病理と臨床 17 : 154 160 ,1999

谷口博之, 近藤康博, **横井豊治**, **高木健三**
特集 NSIP : 治療
分子呼吸器病 3 : 272 278 ,1999

〔 科研費・班研究等 〕

長谷川高明, **高木健三**, 柴田英治, 高木健次, 北市清幸
依存性薬物の脳内移行に関する研究 - マイクロダイアリシスによる検討 -
平成10年度厚生科学研究費補助金 (医薬品安全総合研究事業) 分担報告書 「 規制薬物の依存メカニズムと慢性精神
毒性に関する神経科学的研究」 pp 11 19 ,1999

古池保雄

平成10年度「高齢者の自律神経機能」研究班総括

平成10年度厚生省長寿科学総合研究「高齢者の自律神経機能」研究班報告書 1冊, 1999

古池保雄、伊藤宏樹、平山正昭、家田俊明、菱川 望 祖父江元

高齢男性の低血圧徐脈発作の筋交感神経活動による病態解析

平成10年度厚生省長寿科学総合研究「高齢者の自律神経機能」研究班報告書 1冊, 1999

高木健三、久米裕昭

喘息治療における気管平滑筋細胞 Ca^{2+} 依存性 K^+ チャネルの意義

平成9～10年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書 1冊, 1999

〔その他の印刷物等〕

長谷川高明、**北市清幸**

肝薬物処理能に及ぼすエンドトキシンの影響

平成9年度(財)今永医学振興会研究助成研究報告書 1冊, 1999

長谷川高明、**柴田英治**、**北市清幸**

生殖毒性を有する産業化学物質の生物学的モニタリングと肝薬物代謝酵素への影響

平成10年度愛知健康増進財団医学研究助成研究報告書 1冊, 1999

野田明子、**古池保雄**、**横田充弘**

神経・循環生理機能評価に関する検討

臨床検査精度管理奨励会研究報告書 pp 22-29, 1999

王 莉、**高木健次**、**北市清幸**、**長谷川高明**

エンドトキシンによる肝薬物代謝酵素 P450活性の低下に対する NO の関与

大幸財団第7回外国人来日研究助成研究報告書 1冊, 1999

高木健三

気管支喘息(成人)の診療ガイドライン

第28回臨床アレルギー講習会講演集(財)日本アレルギー協会東海支部) 1冊, 1999

〔学会発表〕

長谷川高明、**北市清幸**、**王 莉**、**高木健次**、**高木健三**、**灘井雅行**、**吉住秀夫**

エンドトキシンによる肝薬物代謝酵素 P450活性低下に対する NO の関与(要旨集 p 15)

第5回日本エンドトキシン研究会, 1999.11(別府)

伊藤秀郎、**荒川宜親**

bla_{IMP} 遺伝子保有グラム陰性桿菌におけるインテグラーゼ遺伝子($intI3$)等の検出(日本細菌学雑誌 54: 280, 1999)

第72回日本細菌学会総会, 1999.3(東京)

岩瀬三紀, 野田明子, 北市清幸, 長谷川高明, 長坂徹朗, 横田充弘
ラットエンドトキシンショックモデルにおける心エコー図所見
第12回日本超音波医学会東海地方会 1999 .1 (名古屋)

岩瀬三紀, 横田充弘, 石川義弘, 浅井邦也
心筋における刺激性 G 蛋白質 α サブユニット過剰発現の生理学的意義
第63回日本循環器学会学術集会, 1999 3 (東京)

岩瀬三紀, 野田明子, 王 莉, 北市清幸, 長谷川高明, 古池保雄, 長坂徹朗, 井澤英夫, 祖父江俊和, 横田充弘
心エコー図を用いたエンドトキシンショック時の心血管系動態評価 (超音波医学 26 : 576 ,1999)
第72回日本超音波医学会学術集会, 1999 .6 (札幌)

石木良治, 石原 均, **岩瀬三紀**, 祖父江俊和, 永田浩三, 井澤英夫, 稲垣将文, 武市康志, 曾村富士, 重村一成, 梅田久視, 河村大誠, 横田充弘
拡張型心筋症に伴う慢性心不全患者の左室収縮及び弛緩に対する低用量 Pimobendan の急性効果
第 6 回関西心不全研究会, 1999 .10 (大阪)

岩瀬三紀, 北市清幸, 長谷川高明, 野田明子, 西澤孝夫, 井澤英夫, 長坂徹朗, 横田充弘
エンドトキシンにより惹起された心臓の構造及び機能の経時的変容の心エコー図を用いた評価
第 3 回日本心不全学会学術集会, 1999 .10 (福岡)

IWASE Mitsunori, KITAICHI Kiyoyuki, WANG Li, HASEGAWA Takaaki, NODA Akiko, IZAWA Hideo, NAGASAKA Tetsuro, YOKOTA Mitsihiro
Importance of platelet-activating factor in endotoxin shock. (Abstracts. p 118 ,1999)
Scientific Conference on Molecular, Cellular and Integrated Physiological Approaches to the Failing Heart , 1999 8 (Salt Lake City, USA)

YOKOTA Mitsihiro, INAGAKI Masahumi, IZAWA HIDEO, Ishiki Ryouji, NAGATA Kozo, IWASE Mitsunori, YAMADA Yoshiji, KOIDE Masahumi
The biphasic force-frequency relation is a possible marker of the transition from physiological to pathological hypertrophy. (Circulation 100 : SI 23 ,1999)
73th Scientific Sessions, American Heart Association , 1999 .11 (Atlanta, USA)

北市清幸, QUIRION Remi
シンポジウム I 「行動薬理学の分子生物学的アプローチ」 アンチセンスノックアウト法 . (講演要旨集 pp 37 38)
第 5 回日本行動薬理研究会, 1999 8 (総社)

北市清幸
特別講演 : アンチセンスによる中枢高次機能の探索 .
第14回生物薬剤学セミナー , 1999 8 . (京都府京北町)

KITAICHI Kiyoyuki, WANG Li, HUI Cao S, TAKAGI Kenji, TAKAGI Kenzo, NADAI Masayuki, YOSHIZUMI Hideo, YOKOGAWA Koichi, MIYAMOTO Ken-ichi, HASEGAWA Takaaki
Reversal of anticancer drug resistance by macrolide antibiotics in vitro and in vivo. (Abstracts. p 61)

3rd International Conference on Drug Interaction , 1999 .10 (Hamamatsu)

HUI Cao S, WANG Li, FURUI Naho, KITAICHI Kiyoyuki, TAKAGI Kenji, TAKAGI Kenzo, NADAI Masayuki, YOSHIZUMI Hideo, MIYAMOTO Ken-ichi, HASEGAWA Takaaki

Erythromycin inhibits P-glycoprotein-dependent biliary secretion of doxorubisin in rats. (Abstracts. p 60)
3rd International Conference on Drug Interaction , 1999 .10 (Hamamatsu)

森田晃代, 灘井雅行, 北市清幸, 長谷川高明, 永井博弐

LPSによるセフォペラゾンの胆汁中排泄に対するデキサメサゾンおよび抗 PAF 薬の影響 . (日本薬理学雑誌 115 : 45P, 2000)

第96回日本薬理学会近畿部会, 1999 .11 (京都)

北市清幸, 高木健次, 柴田英治, 高木健三, 長谷川高明

依存性薬物メタンフェタミンの脳内移行に関する基礎的検討 . (日本薬理学雑誌 115 : 46P, 2000)

第96回日本薬理学会近畿部会, 1999 .11 (京都)

森田晃代, 灘井雅行, 北市清幸, 長谷川高明, 永井博弐

エンドトキシンが誘発する薬物胆汁中排泄低下に対する抗 PAF 薬および抗 LT 薬の効果 . (要旨集 p 13)

平成11年度日本薬学会東海支部例会, 1999 .12 (岐阜)

北市清幸, 王 莉, 岩瀬三紀, 城所春奈, 灘井雅行, 高木健次, 柴田英治, 高木健三, 長谷川高明

エンドトキシンによって誘発される肝薬物代謝酵素活性の低下における NO の役割 . (Jpn J Pharmacol 79 (suppl. I) : 125P, 1999)

第72回日本薬理学会年会, 1999 3 (札幌)

NADAI Masayuki, FURUI Naho, MORITA Akiko, NARUHASHI Kazumasa, KITAICHI Kiyoyuki, HASEGAWA Takaaki

Effect of ischemia-reperfusion on absorption of cephalexin in rat small intestine. (Abstracts. p 150)

Strategies For Optimizing Oral Drug Delivery : Scientific to Regulatory Approaches (ODD '99) ,1999 4 (Kobe)

古池保雄, 野田明子, 本多久美子, 伊藤宏樹, 家田俊明, 平山正昭, 今井 真, 粥川裕平, 太田龍朗

Shy-Drager 症候群 (SDS) における PSG 所見の特徴 - Sleep apnea syndrome (SAS) との比較 -

第10回東海睡眠時無呼吸研究会, 1999 8 (名古屋)

下川高賢, 山本晃士, 小嶋哲人, 中山享之, 中山由紀子, 松下 正, 齋藤英彦

マウス Protein S mRNA の組織内発現分布と LPS、TNF α 、IL 1投与による変化 (抄録集 p 244 ,1999)

第61回日本血液学会, 1999 4 (東京)

山本晃士, 松下 正, 小嶋哲人

「血液疾患に対する臨床検査の進歩」4 . 凝固・止血検査について 特に DIC の診断と治療の進歩

第18回日本臨床病理学会東海・北陸支部例会のシンポジウム, 1999 8 (名古屋)

YAMAMOTO Koji, SHIMOKAWA Takayoshi, KOJIMA Tetsuhito, SAITO Hidehiko, LOSKUTOFF David J

Extra hepatic expression and regulation of protein C in the mouse.(Abstract . p 274 ,1999)

17th Congress of International Society on Thrombosis and Haemostasis , 1999 8 (Washington, D.C., U.S.A)

KOJIMA Tetsuhito, KANBE Eiki, YANADA Masamitsu, NAKAYAMA Takayuki, SHIMIZU Atsuya, SHIMOKAWA Takayoshi, NAKAYAMA Yukiko, YAMAMOTO Koji, MATSUSHITA Tadashi, SAITO Hidehiko
Hypoxia treatment up-regulates ryudocan gene expression. (Abstract. P-III-II-3,1999)
International Conference on Molecular Interactions of Proteoglycans , 1999 8 (Hayama-cho, Kanagawa)

ISHIGURO Kazuhiro, KADOMATSU Kenji, KOJIMA Tetsuhito, TSUZUKI Shinobu, MURAMATSU Hisako, NAKAMURA Eishin, SAITO Hidehiko, MURAMATSU Takashi
Analysis of ryudocan/syndecan-4 function by means of gene targeting (Abstract. P-II-II-4,1999)
International Conference on Molecular Interactions of Proteoglycans , 1999 8 (Hayama-cho, Kanagawa)

柳田正光, 中山享之, 中山由紀子, 下川高賢, 山本晃士, 松下 正, 小嶋哲人, 齋藤英彦
出血が初発症状となった原発性アミロイドーシスの一例 (抄録集 p 915 ,1999)
第41回日本臨床血液学会, 1999 .10 (秋田)

山本晃士, 下川高賢, 柳田正光, 中山享之, 中山由紀子, 松下 正, 小嶋哲人, 齋藤英彦
後天的に血栓傾向を呈する疾患モデルマウスにおけるプロテイン C の組織内発現以上 (抄録集 p 346 ,1999)
第22回日本血栓止血学会学術集会, 1999 .12 (宇都宮)

内田俊樹, 大橋春彦, 青木恵津子, 村手 隆, 齋藤英彦, 木下朝博
造血器腫瘍の遺伝子診断 HUMARA-MSP 法による X 染色体不活化パターンの解析 (抄録集 p 68 ,1999)
第61回日本血液学会総会, 1999 4 (東京)

磯谷千穂, 永井宏和, 弓削征章, 村手 隆, 齋藤英彦, 木下朝博
非ホジキンリンパ腫における Nibrin 遺伝子の変異 (抄録集 p 157 ,1999)
第61回日本血液学会総会, 1999 4 (東京)

弓削征章, 永井宏和, 村手 隆, 齋藤英彦, 木下朝博
リンパ系腫瘍における hSNF 5 の遺伝子変異 (抄録集 p 157 ,1999)
第61回日本血液学会総会, 1999 4 (東京)

AOKI Etsuko, UCHIDA Toshiki, OHASHI Haruhiko, KINOSHITA Tomohiro, MURATE Takashi, SAITO Hidehiko
Methylation of the p15 gene in progenitor and peripheral blood cells in myelodysplastic syndromes (抄録集 p 259 ,1999)
第61回日本血液学会総会アジア血液セッション, 1999 4 (東京)

木下朝博, 村手 隆, 大津智子, 五十嵐忠彦, 佐々木康綱, 小椋美智則, 鏡味良豊, 森島泰雄, 奈良林至, 小林幸夫, 飛内賢正, IDEC-C2B8 (rituximab) 臨床研究グループ
リンパ系腫瘍の新しい治療方法, マウスーヒトキメラ型 CD20モノクローナル抗体 IDEC-C2B8 (rituximab) の日本における臨床第 1 相試験 (抄録集 p 50 ,1999)
第39回日本リンパ網内系学会総会, 1999 5 (名古屋)

永井宏和, 木下朝博, 弓削征章, 内田俊樹, 村手 隆, 齋藤英彦
B 細胞性リンパ腫における染色体第 6 番短腕の新規癌抑制遺伝子座の同定と物理地図 (抄録集 p 78 ,1999)
第39回日本リンパ網内系学会総会, 1999 5 (名古屋)

弓削征章, 永井宏和, **村手 隆**, 齋藤英彦, 木下朝博

IDEC-C2B8 (rituximab) 治療をおこなった B 細胞性リンパ腫の一症例における CD20プロモーター領域の塩基配列解析 (抄録集 p 80 ,1999)

第39回日本リンパ網内系学会総会, 1999 5 (名古屋)

内田俊樹, 大野稔人, 大橋春彦, 永井宏和, **村手 隆**, 齋藤英彦, 木下朝博

多発性骨髄腫における p15 及び p16遺伝子のメチル化 MSP 法による検討 (抄録集 p 89 ,1999)

第39回日本リンパ網内系学会総会, 1999 5 (名古屋)

MURATE Takashi, KOIZUMI T Keioko, TAKAGAI Akira, OHASHI Haruhiko, NAGAI Hirokazu, UCHIDA Toshiki,

KINOSHITA Tomohiro, AKAO Yukihiko, YOSHIDA Shonen, SAITO Hidehiko

Sphingosine-1-phosphate is elevated in the serum of thrombocytosis: Its possible role in fibrosis(Abstract p 89 ,1999)

28th Annual meeting of the International Society for the Experimental Hematology 1999 .7(Monte Carlo, Monaco)

青木恵津子, 大橋春彦, 内田俊樹, **村手 隆**, 木下朝博, 齋藤英彦

白血病細胞株及び MDS における DNA methyltransferase mRNA の発現: real-time RT-PCR による定量的検討 (抄録集 p 1000 ,1999)

第41回日本臨床血液学会総会, 1999 .10 (秋田)

杜 軍, 鈴木春彦, **長瀬文彦**, 中島 泉

Mathylglyoxal により誘導される細胞死のメカニズム (抄録集 p 177 ,1999)

第29回日本免疫学会総会・学術集会, 1999 .12 (京都)

野田明子, 岩瀬三紀, 前野信久, 横田充弘

虚血性心疾患患者における運動時の左室流入動態評価

第12回日本超音波医学会東海地方会, 1999 .1 (名古屋)

野田明子, 八木朝子, 本多久美子, 池松亮子, **古池保雄**, 横田充弘

いびき症と睡眠時無呼吸症候群における昼間の眠気と交通事故(日本臨床生理学会雑誌 29(臨時増刊号)): 102 ,1999)

第36回日本臨床生理学会総会, 1999 .1 (千葉)

浜口裕美, **野田明子**, **岩瀬三紀**, **古池保雄**, 八木朝子, 本多久美子, 前野信久, 伊藤理恵子, 山田 廣, 横田充弘

健康人における Valsalva 試験による自律神経機能評価(日本臨床生理学会雑誌 29(臨時増刊号)): 95 ,1999)

第36回日本臨床生理学会総会, 1999 .1 (千葉)

野田明子

パネルディスカッション「ルチン検査における心機能評価」

第12回日本超音波医学会東海地方会, 1999 .1 (名古屋)

野田明子, 安間文彦, 岡田 保

睡眠時無呼吸症候群における換気再開に伴う覚醒反応と血圧概日リズム(日本呼吸器学会雑誌 37(増刊号)): 224 ,1999)

第24回日本呼吸器学会, 1999 3 (横浜)

稲垣将文, 河村大誠, 曾村富士, 武市康志, 石木良治, 井澤英夫, 永田浩三, 祖父江俊和, 平井真理, **野田明子**,
岩瀬三紀, 横田充弘, 石川義弘, 浅井邦也
高血圧性肥大心における二相性心拍 - 収縮関係
第63回日本循環器学会学術集会, 1999 3 (東京)

八木朝子, **野田明子**, 伊藤理恵子, 山田 廣
睡眠時無呼吸症候群の重症度とおよび肥満度と呼吸機能所見との関係 (医学検査 48:494,1999)
第48回日本臨床衛生検査学会, 1999 5 (広島)

本多久美子, 八木朝子, **野田明子**
女性におけるいびきと睡眠呼吸障害 (医学検査 48:489,1999)
第48回日本臨床衛生検査学会, 1999 5 (広島)

堤ちあき, 伊藤理恵子, 島袋由美, 今井順子, **野田明子**, 山田 廣
拡張型および肥大型心筋症の標準12誘導心電図所見および心エコー図所見の対比 (医学検査 48:469,1999)
第48回日本臨床衛生検査学会, 1999 5 (広島)

八木朝子, **野田明子**, 本多久美子, 岡田 保, **古池保雄**
睡眠時無呼吸症候群の重症度と閉塞型、中枢型および混合型の出現様式 (抄録集 p 209,1999)
第24回日本睡眠学会, 1999 6 (広島)

野田明子, 池松亮子, **古池保雄**, 岡田 保, 本多久美子, 森田せつ子, 粥川裕平, 太田龍朗, 下方 薫, 八木朝子,
伊藤理恵子, 山田 廣, **岩瀬三紀**, 横田充弘
いびき症と睡眠時無呼吸症候群における交通事故 (抄録集 1999)
第23回睡眠呼吸障害研究会, 1999 7 (東京)

FUJII Yumi, YAGI Tomoko, NODA Akiko, HONDA Kumiko, HAMAGUCHI Hiromi, SUZUKI Ayako,
IWASE Mitsunori, KOIKE Yasuo, ITO Rieko, YAMADA Hiroshi, YOKOTA Mitsuhiro
Morningness-eveningness in human circadian rhythm and life habits.(Abstracts. p 44,1999)
International Congress on Chronobiology, 1999 8 (Washington, D.C., USA)

IZAWA Hideo, YOKOTA Mitsuhiro, SOMURA Fuji, ISHIKI Ryouji, NAGATA Kohzo, SOBUE Toshikazu, NODA
Akiko, IWASE Mitsunori
Attenuated inotropic and/or lucitropic responses to adrenergic stimulation in patients with hypertrophic
cardiomyopathy. (Abstracts. p 119,1999)
Scientific Conference on Molecular, Cellular and Integrated Physiological Approaches to the Failing Heart, 1999 8
(Salt Lake City, USA)

稲垣将文, 石木良治, 井澤英夫, 永田浩三, 曾村富士, 平井真理, 西澤孝夫, **野田明子**, **岩瀬三紀**, 横田充弘
高血圧性肥大心患者における Force-Frequency 関係の障害
第3回日本心不全学会学術集会, 1999 .10 (福岡)

兪 小忠, 上島通浩, 市原 学, **柴田英治**, 山田哲也, 王 海蘭, 竹内康浩
2 プロモプロパンによる卵巣障害機序の検討 (産業衛生学雑誌 41 (臨時増刊号) : 511,1999)

第72回日本産業衛生学会，1999 5（東京）

市原 学，兪 小忠，鬼頭純三，**柴田英治**，朝枝伸幸，山田哲也，王 海蘭，謝 振麟，熊沢俊彦，岩井久和，前多敬一郎，東村博子，竹内康浩

1 プロモプロパン曝露ラットの神経、生殖器の病理組織学的変化と血液生化学所見（産業衛生学雑誌 41（臨時増刊号）：513,1999）

第72回日本産業衛生学会，1999 5（東京）

久保田 均，孫 健，久永直見，中村国臣，**柴田英治**，上島通浩，竹内康浩

建設労働者の死因に関するコホート研究 3（産業衛生学雑誌 41（臨時増刊号）：454,1999）

第72回日本産業衛生学会，1999 5（東京）

王 海蘭，市原 学，山田哲也，兪 小忠，上瀬玲子，山田嵩史，**柴田英治**，竹内康浩

1 プロモプロパン急性曝露による生殖器、神経系への影響（産業衛生学雑誌 41（臨時増刊号）：306,1999）

第72回日本産業衛生学会，1999 5（東京）

酒井 潔，兪 日在，林 鉉述，久永直見，**柴田英治**，竹内康浩

1 プロモプロパン急性曝露による生殖器、神経系への影響（産業衛生学雑誌 41（臨時増刊号）：334,1999）

第72回日本産業衛生学会，1999 5（東京）

柴田英治，杉浦真理子，早川律子，山木健市，竹内康浩

過敏性肺臓炎集団発生のパッチテストによる原因の検討（産業衛生学雑誌 41（臨時増刊号）：359,1999）

第72回日本産業衛生学会，1999 5（東京）

柴田英治，久永直見，酒井 潔

木材取り扱い時における粘膜刺激症状。（講演集 pp 72-73,1999）

平成11年度日本産業衛生学会東海地方会学会，1999.11（名古屋）

高木 明，**小嶋哲人**，**村手 隆**，国島伸治，齋藤英彦

血小板膜糖蛋白 Ib α の遺伝子多型解析（抄録集 p 410,1999）

第22回日本血栓止血学会学術集会，1999.12（宇都宮）

藤元亜希子，田川容子，大橋恭子，平野京子，国島伸治，**高木 明**，**村手 隆**

GC rich 領域における PCR 効率向上の試み（抄録集 p 152,1999）

第38回中部医学検査学会，1999.10（名古屋）

HIRANO Yukinobu, SUZUKI Shigeyuki, TAKAGI Kenji

A middle frequency current flow changed acute edema formation in rats. (Abstracts. p 355)

13th International Congress of the World Confederation for Physical Therapy, 1999 5 (Yokohama)

高木健次，**北市清幸**，**柴田英治**，**高木健三**，**長谷川高明**，松本隆利

カラス麦実生ポリアミン酸化酵素を用いた血球ポリアミン微量測定法（臨床化学 28：69p, 1999）

第39回日本臨床化学学会年会，1999 9（京都）

宮本伸二，葉玉哲生，重光 修，穴井博文，迫 秀則，卜部省悟，和田朋之，岩田英里子，泥谷直紀，**高木健次**，中尾 誠

成分栄養剤による腹部大動脈瘤周術期管理（要旨集 p 250）

第61回日本臨床外科学会，1999 .11（東京）

谷口博之，近藤康博，鈴木隆二郎，野田康信，鈴木 清，加藤聡之，小川賢二，松本修一，松本浩平，森 智弘，山木健市，**高木健三**，**横井豊治**

外科的肺生検を施行した原因不明の間質性肺炎症例の検討（日本呼吸器学会雑誌 37(増刊号)：109 ,1999）

第39回日本呼吸器学会総会，1999 3（横浜）

近藤康博，谷口博之，鈴木隆二郎，野田康信，鈴木 清，加藤聡之，小川賢二，松本修一，松本浩平，森 智弘，山木健市，**高木健三**，**横井豊治**

外科的肺生検を施行し HRCT 上蜂巢肺所見を認めない UIP と NSIP 症例の比較検討（日本呼吸器学会雑誌 37（増刊号）：275 ,1999）

第39回日本呼吸器学会総会，1999 3（横浜）

高木健三

教育セミナー「気管支喘息での正しい吸入療法」日本呼吸器学会雑誌 37（増刊号）：85 ,1999）

第39回日本呼吸器学会，1999 3（横浜）

高木健三（シンポジスト）鈴木隆二郎

シンポジウム「喘息予防管理ガイドライン マニュアル化を防ぐ普及の方法と残された問題点」適切、個別的な使い方 患者に応じた薬物によるコントロール 患者への個別アプローチとは：内科（アレルギー 48：247 ,1999）

第11回日本アレルギー学会春季臨床大会，1999 3（大阪）

高木健三，馬場研二，吉田和仁

ポスターワークショップ「テオフィリンの正しい使い方 乳児から老人まで」成人におけるテオフィリンの使い方（アレルギー 48：296 ,1999）

第11回日本アレルギー学会春季臨床大会，1999 3（大阪）

YOSHIDA Norio, HIRAMATSU Kenjyu, KUME Hiroaki, YAMAKI Kenichi, TAKAGI Kenzo, MIYAMOTO Kenichi
Effect of xanthine derivatives on inhibition of the production of tumor necrosis factor- α , interleukin-6 and interleukin 8 by human peripheral blood mononuclear cells. (Abstracts. p A40)

1999 American Lung Association/ American Thoracic Society , 1999 4 (San Diego, USA)

MIZUTANI Hiroshi, KUME Hiroaki, ITO Yasushi, SUZUKI Ryujiro, YAMAKI Kenichi, TAKAGI Kenzo
Relaxant effect of procaterol after continuous and repeated exposure to β -agonists in guinea-pig trachealis. (Abstracts. p A395)

1999 American Lung Association/ American Thoracic Society , 1999 4 (San Diego, USA)

ITO Yuko, TAMAKOSHI Akiko, WAKAI Kenji, KUME Hiroaki, YAMAKI Kenichi, TAKAGI Kenzo, OHNO Yoshiyuki
Descriptive epidemiology of bronchial asthma in Japan. (Abstracts. p A133)

1999 American Lung Association/ American Thoracic Society ,1999 4 (San Diego, USA)

TAKEUCHI Masayuki, HIRAMATSU Kenju, SHIMIZU Yasuo, KUME Hiroaki, YAMAKI Kenichi, TAKAGI Kenzo
Involvement of IL-3 with prolongation of circulating eosinophil survival in the human peripheral blood. (Abstracts. p A 94)

1999 American Lung Association/ American Thoracic Society ,1999 4 (San Diego, USA)

ITO Satoru, KUME Hiroaki, ITO Yasushi, SUZUKI Ryujiro, YAMAKI Kenichi, TAKAGI Kenzo
Prolongation of Gs activity inhibits subsequent reduction in β adrenergic relaxation after exposure to β agonists. (Abstracts. p A396)

1999 American Lung Association/ American Thoracic Society ,1999 4 (San Diego, USA)

BABA Kenji, HATTORI Tsutomu, SAKAKIBARA Ayako, KOBAYASHI Tadashi, TAKAGI Kenzo
The usefulness of pranlukast or seratrodist for step-down of inhaled corticosteroid therapy in adult chronic asthma. (Abstracts. p A626)

1999 American Lung Association/ American Thoracic Society ,1999 4 (San Diego, USA)

高木健三, 鈴木隆二郎, 久米裕昭

シンポジウム「小児喘息と成人喘息の病態と重症度」気道過敏性、呼吸機能から見た重症度(アレルギー 48 : 874 ,1999)
第49回日本アレルギー学会総会, 1999 .10 (広島)

馬場研二, 服部 努, 丹羽さやか, 榊原綾子, 八木健郎, 小石川功, 吉田和仁, **高木健三**

慢性成人気管支喘息患者における BDP 吸入量減量の長期予後について (アレルギー 48 : 1032 ,1999)
第49回日本アレルギー学会総会, 1999 .10 (広島)

中谷行雄, 松原 修, 中村宣生, 真鍋俊明, 黒田 誠, 大林千穂, 水島睦枝, **横井豊治**, 河野尚美, 稲山嘉明

Hermansky Pudluk 症候群(HPS)における間質性肺炎は2型肺胞上皮の特徴的な泡沫状腫大/変性を呈する (日本病理学会会誌 88 : 174 ,1999)

第88回日本病理学会総会, 1999 4 (東京)

楊 其峰, 宇都宮洋才, 単 良, 中村靖司, 吉村吾郎, 荊 雪楓, 唐 衛華, **横井豊治**, 桜井武雄, 覚道健一

Up-regulation of thymidine phosphorylase expression in invasive breast cancer (日本病理学会会誌 88 : 193 ,1999)
第88回日本病理学会総会, 1999 4 (東京)

宇都宮洋才, 村上真紀, 楊 其峰, 唐 衛華, 尾浦正二, 桜井武雄, 中村靖司, **横井豊治**, 覚道健一

乳癌組織における Pyrimidine Nucleoside Phosphorylase の免疫組織化学、免疫電顕的解析 (日本病理学会会誌 88 : 193 ,1999)

第88回日本病理学会総会, 1999 4 (東京)

尾崎 敬, 瀬川直樹, 宇都宮洋才, **横井豊治**, 覚道健一, 谷口 武

Sertoli Leydig 細胞への分化を示した男性化腫瘍の1症例 (日本病理学会会誌 88 : 202 ,1999)

第88回日本病理学会総会, 1999 4 (東京)

単 良, 中村靖司, 村上真紀, 内藤明広, 川原勝彦, 宇都宮洋才, **横井豊治**, 覚道健一

Clonality of uremic parathyroid hyperplasia is not related to MEN1 gene abnormality (日本病理学会会誌 88 : 217 ,1999)

第88回日本病理学会総会，1999 4（東京）

谷口恵美子，布引珠代，布引 治，中村靖司，**横井豊治**，覚道健一
乳腺細胞診 Grade 分類の試み（日本臨床細胞学会雑誌 38 suppl. 1）：216 ,1999）
第40回日本臨床細胞学会総会，1999 6（東京）

小泉智子，谷口恵美子，佐藤三佐子，鍵弥朋子，布引 治，中村靖司，**横井豊治**，中村美砂，森 一郎，覚道健一
乳腺管状腺腫の1例（日本臨床細胞学会雑誌 38 suppl. 2）：449 ,1999）
第38回日本臨床細胞学会秋期大会，1999 .11（名古屋）

横井豊治

肺生検の病理：TBLB でわかること、わからないこと
第44回日本病理医協会中部支部交見会，1999 .12（名古屋）

〔公開講座・講演会〕

長谷川高明

くすりと体のしくみ『生活と環境 - 豊かな生活をめざして - 』pp 1 10）
平成11年度名古屋大学医学部保健学科公開講座，1999 9（名古屋）

岩瀬三紀

循環器専門医からみた治療上の注意点
ED セミナー，1999 4（名古屋）

岩瀬三紀

虚血性心疾患の治療 - 負荷試験よりみた治療効果の判定
日本循環器学会第109回東海地方会教育セッション，1999 6（岐阜）

岩瀬三紀

循環器医からみた高脂血症 - 薬物相互作用を考慮して
紀北、紀南医師会学術講演会，1999 7（尾鷲）

岩瀬三紀

生活習慣病としての高血圧『生活と環境 - 豊かな生活をめざして - 』pp 11 16）
名古屋大学医学部保健学科公開講座，1999 9（名古屋）

古池保雄

睡眠障害と”いびき”について
平成11年度大幸医療センター健康講座，1999 . 11（名古屋）

小嶋哲人，柳田正光，中山享之，清水敦哉，下川高賢，中山由紀子，山本晃士，松下 正，齋藤英彦
虚血組織傷害に伴うヘパラン硫酸プロテオグリカン・ryudocan の発現制御
東海血管&内皮研究会，1999 9（名古屋）

小嶋哲人

血液凝固異常症

日進東郷豊明薬剤師会研修会，1999 .11（日進）

柴田英治

環境ホルモンとは何か（『生活と環境 - 豊かな生活をめざして - 』 pp 23 30 ,1999）

平成11年度名古屋大学医学部保健学科公開講座，1999 9（名古屋）

柴田英治

有害業務管理 - 有機溶剤取扱作業 - 1．作業管理と環境管理，2．有機則に基づく健康管理

日本医師会認定産業医研修会，1999 .11（春日井）

高木健三

知っておきたいアレルギーの知識（『生活と環境 - 豊かな生活をめざして - 』 pp 17 22）

平成11年度名古屋大学医学部保健学科公開講座，1999 9（名古屋）

理学療法学専攻

〔著書〕

河上敬介，辻井洋一郎

筋系の解剖・生理学的基礎

『系統別・治療手技の展開』（奈良 勲，黒澤和生，竹井仁編集）協同医書出版社，1999．pp 151 164

小林邦彦

第II部 細胞と細胞器官 第16章 細胞の種類

『わかりやすい分子生物学』（菊池韶彦，村松 喬，榊 佳之編）丸善，1999．pp 85 91

小林邦彦

第II部 細胞と細胞器官 第17章 細胞の構造から機能へ

『わかりやすい分子生物学』（菊池韶彦，村松 喬，榊 佳之編）丸善，1999．pp 92 98

小林邦彦

第5章 人体解剖－医学教育の源 コ・メディカル学生の場合

『人，ヒトにであう - 全国標本展示ガイドブック』（坂井建雄，小林身哉編）風人社，1999．pp 142 154

鈴木重行，肥田朋子，井神玲子，影山滋久，古谷森二

『ID ストレッチング』（鈴木重行編集）

三輪書店，1999．197p

鈴木重行

ID ストレッチング

『疼痛の理学療法（理学療法 MOOK 3）』（鈴木重行，黒川幸雄編集）三輪書店，1999．pp 66 76

辻井洋一郎（監訳）

『筋膜リリース・マニュアル』（Carol J. Manheim 著）

医道の日本社，1999．208p

辻井洋一郎

マイオセラピー

『系統別・治療手技の展開』（奈良勲，黒澤和生，竹井仁編集）協同医書出版社，1999．pp 165 186

辻井洋一郎

マイオセラピー

『疼痛の理学療法（理学療法 MOOK 3）』（鈴木重行，黒川幸雄編集）三輪書店，1999．pp 77 91

辻井洋一郎（監訳）

『複合運動でわかる脊柱の検査と治療』（Brian C. Edwards 著）

医道の日本社，1999．126p

〔原著論文〕

杉浦博基, 清水卓也, 近藤精司, 高橋成夫, 三嶋真爾, 長谷川幸治, **猪田邦雄**

小児期膝蓋骨脱臼における非手術側の経過について

東京膝関節学会会誌 19 : 146 149 ,1999

ISHIDA Kazuto, UNGUSPARKORN Chutcharin, HIDA Hideki, AIHARA Noritaka, IDA Kunio, NISHINO Hitoo

Argyrophilic dark neurons distribute with a different pattern in the brain after over hours treadmill running and swimming in the rat

Neurosci Lett 277 : 149 152 ,1999

ISHIDA Kazuto, HIDA Hideki, OIWA Takanori, AIHARA Noritaka, BABA Hiroko, IDA Kunio, NISHINO Hitoo

Appearance of argyrophilic dark neurons in the hippocampus after microinjection of ibotenic acid

Adv Neurotrauma Res 11 : 5 7 ,1999

SUZUKI Kazuyo, KOBAYASHI Miya, SHIRAIISHI Yosuke, SUGIURA Yasuo, KOBAYASHI Kunihiro, GOTO Setsuko

Placental histology in twin twin transfusion syndrome (TTTS) in the mouse

Trophobl Res 13 : 485 491 ,1999

NAKAJIMA Koh, CHIBA Shoji, KOBAYASHI Kunihiro, WAKATUKI Eizo, KUMAKI Katsuji, HOSHINO Takeshi

A rare muscular anomaly in the upper arm - the chondroepitrochlearis muscle with an aberrant type of the muscular arch of axilla

Acta Anat Nipponica 74 : 209 213 ,1999

河添将明, 西田寛之, 渡邊久美, 古橋健二, 赤木充宏, **鈴木重行**

長期人工呼吸器装着患者の離脱を目標においた一症例

愛知県理学療法士会誌 11 : 40 41 ,1999

〔総説・解説・その他〕

河上敬介

筋のかたちとストレッチング

理学療法学 26 : 85 89 ,1999

鈴木重行

泌尿器科領域への挑戦

理学療法 16 : 601 ,1999

鈴木重行

結合組織の可塑性

理学療法学 26 : 335 336 ,1999

鈴木重行

理学療法評価のコツ - 疼痛 -

理学療法ジャーナル 33 : 520 ,1999

〔科研費・班研究等〕

坂井建雄, 小林身哉, 高橋常男, 北村弥生, **小林邦彦**, 外崎 昭, 半田康延
大学における人体標本展示施設の実体と解剖学教育に果たす役割に関する調査研究
平成10年度文部省科学研究費補助金(基盤研究C 企画調査)報告書 1冊, 1999

〔その他の印刷物等〕

河村守雄

四十の手習い

健康文化振興財団紀要 25 : 17-20 ,1999

小林邦彦

わたしのからだ(医用画像集) 脳、MR

<http://www.met.nagoya-u.ac.jp/KOBAYASHI/mybody/MR980907B.html>, 1999 3

小林邦彦

コラーゲンの基礎知識

<http://www.met.nagoya-u.ac.jp/ECM/basic.html>, 1999 4

小林邦彦

名古屋大学医学部保健学科での人体構造学関連授業(1999)

<http://www.met.nagoya-u.ac.jp/KOBAYASHI/anatomy/hes99/index.html>, 1999 4

小林邦彦

実習見学参加者の感想/感謝の気持ち

<http://www.met.nagoya-u.ac.jp/KOBAYASHI/anatomy/thanks.html>, 1999 .10

小林邦彦

コ・メディカルの学生は、どうして人体解剖実習ができるのか?

<http://www.met.nagoya-u.ac.jp/KOBAYASHI/anatomy/co-med-student.html>, 1999 .10

小林邦彦

第19回人体解剖トレーニングセミナー前後

第19回人体解剖トレーニングセミナー(1999)報告書 pp 46-47, 1999

〔学会発表〕

石田和人, 飛田秀樹, 西野仁雄

Argyrophil III 陽性ニューロンの出現とその予後 (予稿集 p 173, 1999)

第76回日本生理学会大会, 1999 3 (長崎)

石田和人, 飛田秀樹, 猪田邦雄, 西野仁雄

運動ストレス負荷により脳内に出現する Argyrophil III 陽性ニューロン (予稿集 p 61, 1999)

第46回中部日本生理学会, 1999 .10 (名古屋)

加賀富士枝, 長谷川竜也, 石田和人, 木山喬博

針痛覚検査における痛覚閾値の検討 (学会誌 p 122, 1999)

第15回東海北陸理学療法士学会, 1999 .11 (浜松)

石田和人, 飛田秀樹, 西野仁雄

運動ストレス負荷およびイボテン酸投与により出現する Argyrophil 陽性ニューロンの解析

第11回神経損傷の基礎シンポジウム, 1999 .12 (東京)

河上敬介, 辰巳仁史, 曾我部正博

接着斑形成過程におけるインテグリン動態のライブ観察

第37回日本生物物理学会年会, 1999 .10 (和光)

河上敬介, 辰巳仁史, 曾我部正博

近接場光蛍光顕微鏡を用いたインテグリン動態のライブ観察 (理学療法の医学的基礎 3 : 10, 1999)

第4回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 1999 5 (相模原)

KAWAKAMI Keisuke, TATSUMI Hitoshi, SOKABE Masahiro

Dynamic processes of integrin clustering at adhesion contact in endothelial cells studied by internal reflection microscopy. (Mol Biol Cell 10(suppl): 63a, 1999)

39th American Society for Cell Biology Annual Meeting, 1999 .12 (Washington, D.C., USA)

小林邦彦

インターネットセッション わたしのからだ (医用画像集 解剖学雑誌 74 : 147, 1999)

第104回日本解剖学会全国学術集会, 1999 3 (三鷹)

藤田芳和, 田中 稔, 岩本 融, 小林身哉, 小林邦彦

電子顕微鏡および原子間力顕微鏡による II 型コラーゲン分子集合体 (SLS) の観察 (電子顕微鏡 34(suppl.): 139, 1999)

第55回日本電子顕微鏡学会学術講演会, 1999 5 (名古屋)

服部 宇, FERTALA Andrzej, SIERON Aleksander L., 水谷英樹, 上田 実, 小林邦彦, PROCKOP Darwin J.

リコンビナントプロコラーゲン合成のための cDNA カセットシステム - D 周期欠損タイプ I プロコラーゲン変異体について (抄録集 p 23, 1999)

第46回マトリックス研究会大会, 1999 6 (瀬戸)

鈴木和代, 小林身哉, 宮川篤子, 杉浦康夫, **小林邦彦**, 後藤節子
生体組織の保護膜としての羊膜の微細構造, 特に細胞外マトリックスに注目して(Placenta 20: A4, 1999)
第7回日本胎盤研究会学術集会, 1999 .10 (東京)

浅井友詞, 神谷昌孝, **鈴木重行**, **猪田邦雄**
健常者ベッドレストによる呼吸代謝機能の変化 (予稿集 p 310, 1999)
第54回日本体力医学会, 1999 .3 (熊本)

SUZUKI Shigeyuki, KOEDA Tomoko
Development of equipment for small animal experiment (Proceedings. p 617, 1999)
13th International Congress of the World Confederation for Physical Therapy, 1999 .10 (Yokohama)

HIRANO Yukinobu, SUZUKI Shigeyuki, HASEGAWA Yuichi
A middle frequency current flow changed acute edema in rats (Proceedings. p 355, 1999)
13th International Congress of the World Confederation for Physical Therapy, 1999 .10 (Yokohama)

HASEGAWA Yuichi, SUZUKI Shigeyuki, TAKAGI Kenji, Hirano Yukinobu, Asai Yuji
Effect of low amplitude pulsed current on traumatic edema formation in rats (Proceedings. p 356, 1999)
13th International Congress of the World Confederation for Physical Therapy, 1999 .10 (Yokohama)

YANAGIDA Mituteru, SUZUKI Shigeyuki, HIRANO Yukinobu, HASEGAWA Yuichi, SHIBAYAMA Yasuo,
SANO Tetsuya
Change of unaffected foot volume by middle frequency current to traumatic foot edema in rats (Proceedings. p 673, 1999)
13th International Congress of the World Confederation for Physical Therapy, 1999 .10 (Yokohama)

田中千陽, 高橋成夫, 神谷昌孝, 浅井友詞, 内藤令子, **鈴木重行**, 松田 輝, **猪田邦雄**
14日間のベッドレストにおける筋力変化 (抄録集 p 76, 1999)
第15回東海北陸理学療法士学会, 1999 .10 (浜松)

神谷昌孝, 小林孝誌, 田中千陽, 高橋成夫, 浅井友詞, 内藤令子, **鈴木重行**, 松田 輝, **猪田邦雄**
6° Head Down Tilt Bed Rest がヒトの筋厚と周径に及ぼす影響 (抄録集 p 82, 1999)
第15回東海北陸理学療法士学会, 1999 .10 (浜松)

〔公開講座・講演会〕

猪田邦雄
最近のリハビリテーションの現状と保険診療について
国保診療報酬審査委員会委員研修会, 1999 3 (津)

猪田邦雄
リハビリテーションにおける医療の経済性を考える
東三河リハビリテーション研究会, 1999 8 (豊橋)

猪田邦雄

「21世紀に向けての理学療法の展望」日本における教育の現状と将来
愛知県厚生連リハビリ研修会，1999.9（安城）

猪田邦雄

「骨・関節・脊椎の読影セミナー」機能と解剖
日本放射線技師会生涯教育研修，1999.9（鈴鹿）

猪田邦雄

肩関節の機能解剖とリハビリテーション
第16回中部技師研究会，1999.9（犬山）

石田和人

理学療法士のための統計学講座
社団法人岐阜県理学療法士会研修会，1999.6（岐阜）

石田和人

理学療法の科学性・研究
愛知県理学療法士会新人教育プログラム，1999.7（名古屋）

石田和人

「21世紀に向けての理学療法の展望」理学療法領域における最先端の研究動向
愛知県厚生連リハビリ研修会，1999.9（安城）

石田和人

筋電図による神経・筋機能の評価
社団法人日本理学療法士協会第434回短期現職者講習会，1999.11（愛知県長久手町）

河村守雄

頸椎症・肩こり・しびれの治療とリハビリテーション
岡崎外科整形外科医会講演会，1999.2（岡崎）

河村守雄

腰痛の治療とリハビリテーション
名東区医師会学術講演会，1999.4（名古屋）

河村守雄

骨・関節・脊椎の読影
日本放射線技師会研修講演，1999.9（鈴鹿）

河村守雄

腰痛の予防と対策について
大幸医療センター市民健康講座，1999.10（名古屋）

鈴木重行

世界の理学療法の動向

愛知県理学療法士会新人教育プログラム，1999 .1（名古屋）

鈴木重行

「21世紀に向けての理学療法の展望」協会で考える PT の将来像と生涯学習

愛知県厚生連リハビリ研修会，1999 9（安城）

鈴木重行

拘縮の病態と個別的筋ストレッチングの実際

第5回骨・関節系専門理学療法部会，1999 .10（三原）

鈴木重行

拘縮の病理

平成11年度現職者講習会，1999 .10（相生）

作業療法学専攻

〔著書〕

原 和子, 田原美智子, 清水英樹, 斎藤さわ子, 杉村公也, 奥村庄次, 平山 隆

『実習 ADL/APDL : 学生のためのワークブック』

協同医書出版社, 1999 . 218p

SAKUMA Kenji, KAKIGI Ryusuke, KANEOKE Yoshiki, HOSHIYAMA Minoru, WATANABE Shoko,
KOYAMA Sachiko

Odorant evoked magnetic fields using spatio-temporal source analysis

YOSHIMOTO T., KOTANI M., KURIKI S., KANBE N. and NAKASATO N. (eds) : Recent advantages in

biomagnetism. Tohoku University Press ,1999 .pp 609 612

MAEDA Kazuaki, KAKIGI Ryusuke, HOSHIYAMA Minoru, KOYAMA Sachiko

Activities in secondary somatosensory cortex following stimulation of various part of the body :

magnetoencephalographic studies

YOSHIMOTO T., KOTANI M., KURIKI S., KANBE N. and NAKASATO N. (eds) : Recent advantages in

biomagnetism. Tohoku University Press ,1999 .pp 197 201

安藤一也, 杉村公也

『リハビリテーションのための神経内科学』

医歯薬出版, 1999 . 307p

菱田 愛, 今井浪加, 山田浩子, 平尾奈緒美, 杉村公也

小山田式痴呆行動評価表による痴呆の評価

『地域リハビリテーション最前線』(大田仁史, 伊佐治 隆, 大仲功一, 安岡利一編集) 医歯薬出版, 1999 . pp 53 54

鈴木國文

ラカン学派 - 構造と力動 -

『臨床精神医学講座第15巻 精神療法』(岩崎徹也, 小出浩之編) 中山書店, 1999 . pp 85 102

鈴木國文

夢と精神分析 - 夢の臍とは何か -

『心とコミュニケーション』(武市明弘, 渡辺雄三, 早川 勇編) 勁草書房, 1999 . pp 96 103

鈴木國文

ラカン - パラノイア論から精神分析へ -

『精神医学群像』(藤縄 昭, 大東祥孝, 新宮一成編著) アカデミア出版, 1999 . pp 363 382

〔原著論文〕

MAEDA Kazuaki, KAKIGI Ryusuke, HOSHIYAMA Minoru, KOYAMA Sachiko

Topography of the secondary somatosensory cortex in humans : a magnetoencephalographic study

Neuroreport 10 : 301 306 ,1999

NAKA Daisuke, KAKIGI Ryusuke, HOSHIYAMA Minoru, YAMASAKI Hiroshi, OKUSA Tomohiro
Structure of the auditory evoked magnetic fields during sleep
Neuroscience 93 : 573 583 ,1999

HOSHIYAMA Minoru, KAKIGI Ryusuke
Changes of somatosensory evoked potentials (SEP) during writing with dominant and non-dominant hands
Brain Res 833 : 10 19 ,1999

HOSHIYAMA Minoru, KAKIGI Ryusuke
Shortening of the cortical silent period following transcranial magnetic brain stimulation during an experimental paradigm for generating contingent negative variation (CNV)
Electroencephalogr Clin Neurophysiol 110 : 1394 1998 ,1999

HOSHIYAMA Minoru, KAKIGI Ryusuke, NAGATA Osamu
Peripheral nerve conduction recorded by a micro gradiometer system (micro-SQUID) in human
Neurosci Lett 272 : 199 202 ,1999

HOSHIYAMA Minoru, SHEEAN Geoffrey
Changes of somatosensory evoked potentials after decision of voluntary movement
Electroencephalogr Clin Neurophysiol Suppl 49 : 68 72 ,1999

GUNJI Atsuko, HOSHIYAMA Minoru, KAKIGI Ryusuke
Vocalization related potential during complete masking of own voice
Clin Neurophysiol 111 : 214 219 ,1999

竇珠山稔, 柿木隆介
CNV 誘発課題における Cortical silent period の変化
臨床脳波 41 : 713 717 ,1999

白井康臣, 楠 進, 千葉厚郎, **竇珠山稔**, 向山昌邦
1995年(平成7年)春から夏に一地域に多発した Guillain-Barre 症候群の6症例
神経内科 51 : 534 541 ,1999

加賀谷一, 古谷恵美
作業療法における行為障害 - 精神分裂病に対する作業療法の立場から
作業療法 18 : 185 188 ,1999

美和千尋, 佐藤美和子, 田村好弘, 井神隆憲, **清水英樹**
作業課題が血圧, 心拍数および精神性発汗に与える影響
作業療法 18 : 32 37 ,1999

美和千尋, 高田政夫, **清水英樹**, 柴田澄江, 杉村公也
スモン患者の下肢関節運動と歩行
総合リハビリテーション 21 : 57 61 ,1999

美和千尋，井神隆憲，安藤陽子，森利佳子
愛精病院における陶芸作業
愛知作業療法 7：15 18 ,1999

森利佳子，井神隆憲，**美和千尋**
援護寮利用者と単身生活患者の生活調査
愛知作業療法 7：3 7 ,1999

美和千尋，岩瀬 敏，小出陽子，杉山由樹，松川俊義，間野忠明
入浴時の浴室温が循環動態と体温調節に及ぼす影響
総合リハビリテーション 27：353 358 ,1999

美和千尋，岩瀬 敏，間野忠明
41 入浴時のミスト暖房が体温調節機能に及ぼす影響
自律神経 36：478 484 ,1999

吉岡眞吾，西岡和郎，**鈴木國文**，村上靖彦
多重人格（不全型）の一例 - 解離と分裂
精神科治療学 14：213 220 ,1999

田中 聡，西岡和郎，**鈴木國文**
分裂病を「かわし損なった」男性例
精神科治療学 14：565 571 ,1999

鈴木國文
精神分裂病の前駆期と発症 - 欲望と他者という問題系
精神科治療学 14：497 505 ,1999

丸山誠一，西岡和郎，**鈴木國文**
分裂病軽症圏の症例検討 - 少量の向精神薬でほぼ寛解が維持され比較的社会的適応良好な一症例
精神科治療学 14：791 799 ,1999

鈴木國文
精神分裂病の病前，前駆期，発症
精神神経学雑誌 101：892 897 ,1999

山田恭子，柴田澄江
特別養護老人ホームでの作業療法症例報告 - 介護スタッフとの連携から成功した症例 -
愛知作業療法 7：11 14 ,1999

〔総説・解説・その他〕

原 和子

上肢装具のバイオメカニクスを考える意義

日本義肢装具学会誌 15 : 117 118 ,1999

原 和子

介助犬によって軽減できる障害の範囲

日本介助犬アカデミーニュースレター 2 : 2 3 ,1999

鈴木國文

精神の科学 - この多様な未踏の地, 解題

こころの科学 86 : 8 9 ,1999

鈴木國文

時代が病むということ 1 ; シュルレアリズムと女性画家 1

こころの科学 87 : 10 17 ,1999

鈴木國文

時代が病むということ 2 ; シュルレアリズムと女性画家 2

こころの科学 88 : 114 123 ,1999

牛島定信, 鈴木國文, 林直樹, 奥村雄介, 神庭重信

人格障害概念をめぐる諸問題 - 症例を中心に -

臨床精神医学 28 : 1313 1338 ,1999

Yamada Takako, Naruse Keiji, Sokabe Masahiro

Cyclic stretch induced cAMP mobilization in human endothelial cells

Jpn J Physiol 48 : S27 ,1998

〔科研費・班研究等〕

原 和子

身体障害者に対する介助犬の作業療法的有用性と課題 - 作業遂行過程における関係 -

平成10年度厚生科学研究障害保健福祉総合事業 介助犬の基礎的調査研究報告集「介助犬の実態と身体障害者への応用に関する研究」pp 37 54 ,1999

杉村公也, 美和千尋, 清水英樹, 高田政夫, 柴田澄江, 伊藤恵美

スモン患者の基本動作時間と下肢関節運動時間との関係

厚生省特定疾患スモン調査研究班平成11年度研究報告書(印刷中) 1冊, 1999

〔その他の印刷物等〕

伊藤恵美

第19回人体解剖トレーニングセミナーに参加して

第19回人体解剖トレーニングセミナー報告書（名古屋大学医学部）p 25 ,1999

〔学会発表〕

HARA Kazuko, TAKAYANAGI Tomoko, SHIMIZU Hideki

Usefulness and issues related to service dogs assisting physically disabled persons: relationship in the occupational performance process

2nd Asia-Pacific Occupational Therapy Congress , 1999 .9 (Taipei,Taiwan)

原 和子, 高柳友子, 高柳哲也

身体障害者に対する介助犬の作業療法的有用性と課題（作業療法 18（特別号）: 401 ,1999）

第33回日本作業療法学会, 1999 .6（弘前）

福田高子, **原 和子**, 清水英樹

身体障害者の ADL 遂行過程における介助犬介在の実際（作業療法 18（特別号）: 407 ,1999）

第33回日本作業療法学会, 1999 .6（弘前）

寶珠山稔, 柿木隆介

末梢神経活動磁界：多チャンネル微小磁界計測装置（micro-SQUID）による記録

第76回日本生理学会大会, 1999 .3（長崎）

HOSHIYAMA Minoru, KAKIGI Ryusuke

The new smallest multi-channel gradiometer : application for peripheral conduction

11th International Congress of Electromyography and Clinical Neurophysiology , 1999 .9 (Prague, Czech)

寶珠山稔, 柿木隆介

利き手・非利き手による書字中の SEP

第40回日本神経学会総会, 1999 .11（東京）

寶珠山稔, 柿木隆介

随意運動と誘発脳反応

第29回日本脳波筋電図学会シンポジウム, 1999 .11（東京）

美和千尋, 杉村公也, 杉浦友美

作業療法活動がヒトに与える心理反応（作業療法 18（特別号）: 107 ,1999）

第33回日本作業療法学会, 1999 .6（弘前）

森利佳子, 井神隆憲, **美和千尋**

援護寮利用者と単身生活者の生活調査（作業療法 18（特別号）: 126 ,1999）

第33回日本作業療法学会，1999 .6 (弘前)

柴田澄江，山田恭子，来島修志，岩井和子，渡辺章由，遠藤浩之，渡辺雅行

地域作業療法学の構築に向けて - 何をどのように教えるか -

第33回日本作業療法学会，1999 .6 (青森)

清水英樹，齋藤洋典

課題の自己関連性が特性形容詞の照合判断に及ぼす影響 - P300を用いた検討から - (発表論文集 p 420 ,1999)

第63回日本心理学会大会，1999 .9 (名古屋)

杉村公也，井田真夕美，山本智恵子

痴呆の進行は発達過程の逆をたどるか (リハビリテーション医学 36 : 824 ,1999)

第36回日本リハビリテーション医学会学術集会，1999 .5 (鹿児島)

杉村公也，古池保雄，洪 尚樹，榊原文彦，中村二郎，堀田 饒

糖尿病患者の末梢神経伝導速度検査の測定神経の選択について (糖尿病合併症 13(suppl. 1) : 63 ,1999)

第14回日本糖尿病合併症学会，1999 .10 (大津)

中川雅弘，原 宏美，林 佳世，**杉村公也**

老年期痴呆における言語崩壊過程の研究 (抄録集 p226 ,1999)

リハビリテーション・ケア研究大会 '99，1999 .10 (神戸)

NISHIOKA Kazuo, QIAO Hong, SUZUKI Kunifumi, MURAKAMI Yasuhiko

Comparative study of social phobia between Japan and inner Mongolia

5 th International Congress of International Society of Adolescent Psychiatry Personality and Conduct Disorders in Adolescence: Developmental and Psychosocial Perspectives , 1999 .7 (Aix en Provence, France)

SUZUKI Kunifumi

Schizotypal personality disorder and onset of schizophrenia

5 th International Congress of International Society of Adolescent Psychiatry Personality and Conduct Disorders in Adolescence: Developmental and Psychosocial Perspectives , 1999 .7 (Aix en Provence, France)

竹内英理子，**山田恭子**

幼児における上下肢のボディイメージについて - 筒を使つての検討

第7回愛知県作業療法学会，1999 .4 (名古屋)

山田恭子，小林邦彦

大胸筋を起始にもつ上腕二頭筋の accessory head の存在

第33回日本作業療法学会，1999 .6 (青森)

山田恭子，**柴田澄江**，岩井和子，浅野敬子，来島修志，藤部百代，埜口義広

作業療法士からみた介護保険モデル事業 - 判定の観点から

第33回日本作業療法学会，1999 .6 (青森)

〔公開講座・講演会〕

山田恭子

障害児の作業療法について
安城市サルビア学園，1999.4（安城）

山田恭子

乳幼児の発達 - 神経生理学的な観点から
日進市立保育園保育士研修会，1999.9（日進）

山田恭子

丈夫な子に育てるために
名古屋市高岳児童館主催子育て支援講演，1999.10（名古屋）

山田恭子

こころとからだのりハビリ
日進市主催「やさしい介護セミナー」，1999.12（日進）

編集後記

名古屋大学医学部保健学科「教育・研究年報」第3巻を発行するのはこびになりました。この第3巻には昨年度(1999年度)の各専攻の教育・研究活動の報告、1999年の1月から12月までの1年間に発表した各専攻教官の教育・研究業績リストを収録し、また昨年度の保健学科の公開講座のまとめも掲載しました。

保健学科が発足して2年経ち、この間に教官数も増えていますが、巻を追うごとに収録業績数が増加しているのは喜ばしいことです。ちなみに第1巻(1997年)314件、第2巻496件(1998年)、第3巻は677件(1999年)であり、とくに原著論文、学会発表の増加が目立っています。

第3巻を発行するにあたり、編集委員会では、保健学科の発展のために年報のはたす役割について何回も議論を重ね、各専攻にもフィードバックし、上記の掲載内容を決めました。

年報が保健学科の自己点検・外部評価の一つの大きな柱であることは明らかです。保健学科の完成後に行われるであろう自己点検・外部評価のために、年度(年)ごとの資料を作っておくことは大切です。また年報の発行は、何年後かの評価の材料となるにとどまらず、現在の保健学科の研究と教育の交流を活発にするための役割もあります。専攻を越えて研究・教育を共同して行うために役に立つもの、あるいは卒業研究や大学院学生のテーマ選択などの参考になるもの、さらに対外的には各専攻の教育・研究活動をアピールし、就職活動や実習依頼の際にも使えるものとしての役割もあります。これらのことを期待して、第3巻では各専攻の教育・研究活動の報告を充実させました。

年報という形で年に一度、印刷物にまとめることは重要ですが、国民に開かれた大学として、国民から求められることの中には、もっと早く知りたいもの(入学試験や公開講座などの情報)、もっと詳しく知りたいもの(研究の内容、成果など)もあるでしょう。これらは別のメディア、例えばインターネットによる公開の努力が必要でしょう。

保健学科の活動の積み重ねの一環として、第2巻で試みられた学科内の各種委員会の報告を充実させることを検討しました。第1回の編集委員会では、主な委員会のみを抽出するのではなく全委員会について、委員会の回数、委員の構成などに加えて、取り組んだ課題、残された問題などを含めた委員会報告を掲載する、という提案をしました。どの委員会もそれぞれ重要な委員会であり、その活動を年に一度は総括し、反省課題も明らかにし、全体として委員会が活性化することを目指したものです。しかし、委員会の決定事項の各専攻へのフィードバックのあり方を含めて、委員会制度については年報委員会の範囲を越える課題が多いと判断し、年報への掲載は取り止めました。

このほかに教官の教育研究活動に関連することとして、研究教育用の設備・備品や建物の状況、事務機構、予算などの問題や、管理運営に関わることなどがありますが、これらの資料の収集・保管・公表の方法についても、広報委員会や自己点検・外部評価委員会等でも検討していただくようお願いしています。

なお、業績部分について第2巻までと異なる点としては、欧文論文に関して、項目の配列を含めて「医学部欧文業績集」と記述スタイルを統一したこと、和文論文も含め原著論文の抄録を割愛したことです。

第3巻は第2巻より1ヶ月早く11月に発行することができそうです。

「教育・研究年報」第3巻が、保健学科のメンバーにとっては今後の教育・研究の活性化に役立つことを、また、学外の方には、私たち名古屋大学医学部保健学科のことを知っていただき、共同の機会ができるきっかけになることを期待します。ご意見ご批判をお寄せください。

(文責 小林 邦彦)

年報編集委員会

看護学専攻	吉田 久美子
放射線技術科学専攻	小林 嘉雄
検査技術科学専攻	野田 明子
理学療法学専攻	小林 邦彦(委員長)
作業療法学専攻	加賀谷 一
保健学情報掛	八田 和子

名古屋大学医学部保健学科教育・研究年報 第3巻

2000年11月11日 発行

発 行 名古屋大学医学部保健学科

〒461 8673 名古屋市東区大幸南一丁目1番20号

TEL(052)719 1504

印 刷 (株)荒川印刷

〒460 0012 名古屋市中区千代田2丁目16番38号

TEL(052)262 1006(代表)
